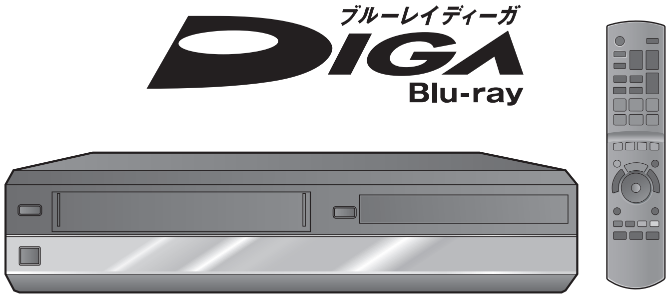
Panasonic

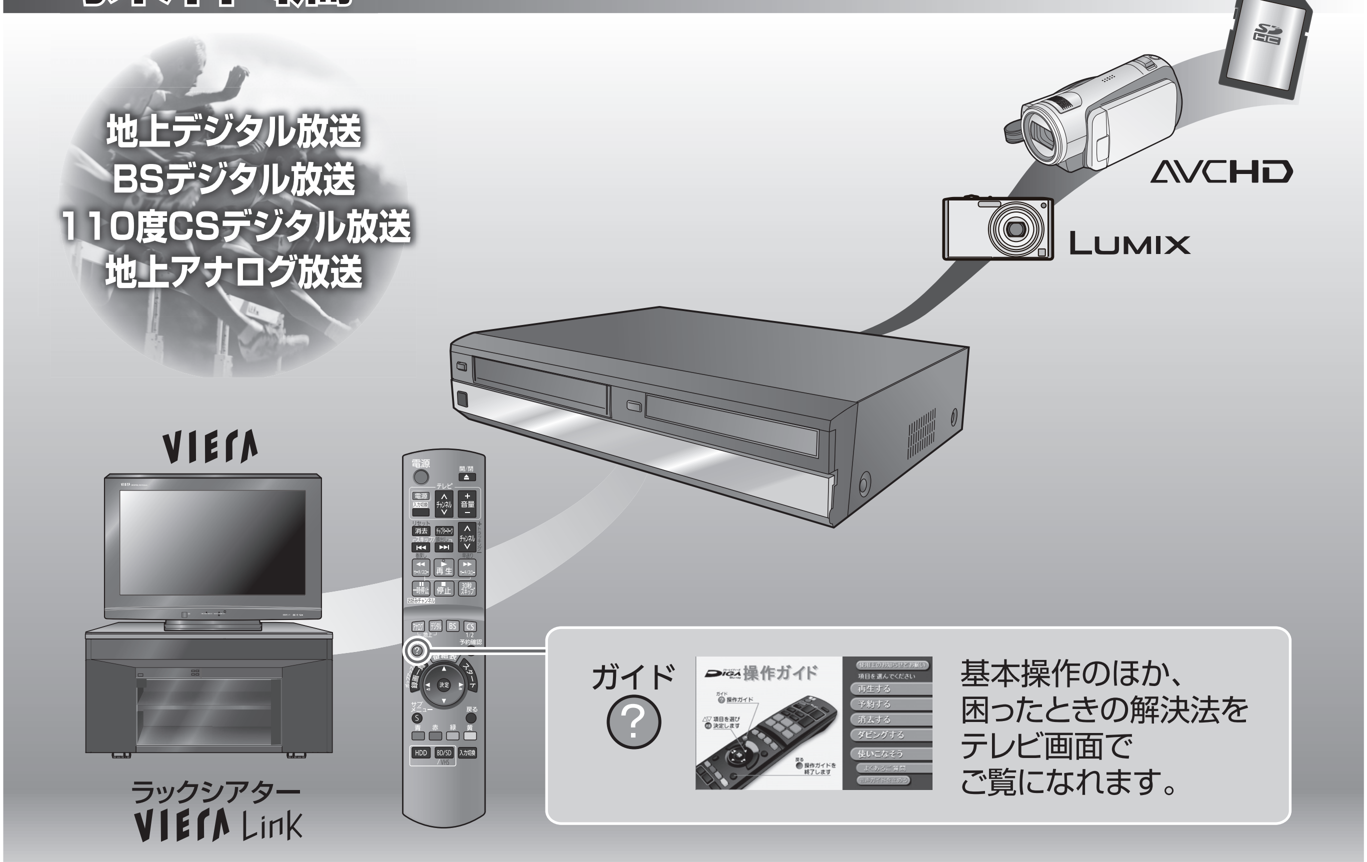


取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BR630V

操作編



ブルーレイディスク/DVD関連情報（動作確認情報など）は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/index.html

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずご愛用者登録をお願いいたします。
ホームページでご愛用者登録ができます。

詳しくは裏表紙をご覧ください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（143～145ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

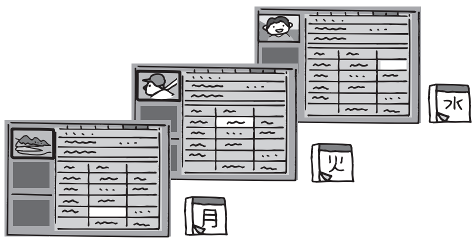
番組

視聴

録画

再生

編集



「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜143～145ページ)

ダビング

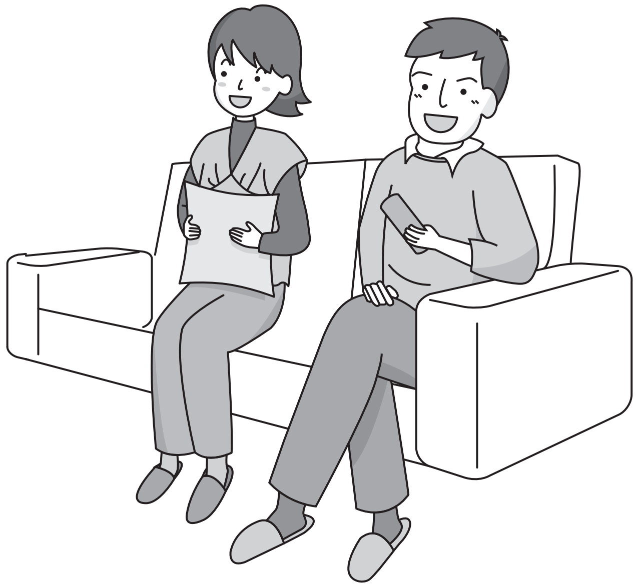
他の機器と

写真

音楽

その他

便利機能



もくじ（つづき）

必要なとき

音声ガイドについて



音声で操作を案内する機能です。
もくじまたは本書中の左記マークのある個所で働きます。

本機の温度上昇について

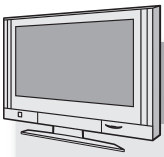
本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。
- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…



[電源⏻/I]を3秒以上押す
本機の電源が切れます。

本機の特長 こんなことができます



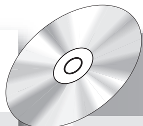
ハイビジョンで楽しむ

ハイビジョンで HDDに

デジタル放送のハイビジョン番組を
ハイビジョン画質そのままに録画できます。

ハイビジョンで ディスクに

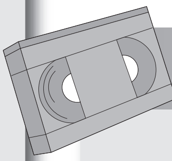
ブルーレイディスクやDVDディスクに
ハイビジョン画質で記録することができます。



ブルーレイディスクに記録

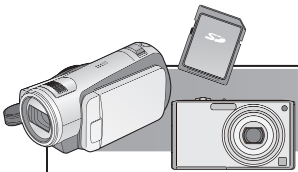
大容量 で長時間記録

片面2層(50 GB)のブルーレイディスクの場合、
DVD(4.7 GB)の約10枚分記録できます。



VHSにも対応

今までに録りためたVHSテープの映像をディスクに
ダビングして保存することができます。
● VHSへの直接録画はできません。



思い出を見よう! 残そう!

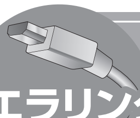


ディスクやSDカードから

ハイビジョンで撮影した動画(AVCHD)の再生や取り込みができます。
➜ 42、84ページ

SDビデオカメラなどで撮影した映像(MPEG2)の取り込みができます。
➜ 71ページ

デジタルカメラで撮った写真の再生や取り込みができます。
➜ 85、91ページ



ビエラリンク(HDMI)

HDMIケーブルでビエラとつなげば、

ビエラのリモコン1つで本機の操作を行うことができます ➜ 102ページ

本書内の表現 / 操作ガイドについて

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編を参照していただくページを(➜**準備編** ○○)で示しています。
- ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク	ディスクなどの記録方式による表示マーク			
		VR 方式	ビデオ方式	AVCREC 方式	AVCHD
HDD	HDD	—	—	—	—
BD-RE※1	BD-RE	—	—	—	AVCHD ※2
BD-R※1	BD-R	—	—	—	
BD ビデオ※3	BD-V	—	—	—	—
DVD-RAM	RAM	RAM(VR)	—	RAM(AVCREC)	AVCHD
DVD-R	-R	-R(VR)	-R(V)(ファイナライズ前) DVD-V(ファイナライズ後)	-R(AVCREC)	
DVD-R DL	-R DL	-R DL(VR)	-R DL(V)(ファイナライズ前) DVD-V(ファイナライズ後)	-R DL(AVCREC)	
DVD-RW	-RW	-RW(VR)	-RW(V)(ファイナライズ前) DVD-V(ファイナライズ後)	—	
DVD ビデオ	DVD-V	—	—	—	—
+R		—	—	—	AVCHD
+R DL		—	—	—	
+RW		—	—	—	
CD	CD	—	—	—	—
SD カード	SD	—	—	—	AVCHD
VHS カセット	VHS	—	—	—	—

※ 1　DL も含みます。ブルーレイディスクの「DL」とは片面 2 層(50 GB)のディスクのことを表します。
※ 2　他機器でハイビジョン動画(AVCHD)を記録した BD-RE、BD-R を指します。
※ 3　市販の映画などが記録されたブルーレイディスクのことです。
例) -R と表示されている場合、VR 方式、ビデオ方式、AVCREC 方式の DVD-R 共通の動作を指しています。

- 操作手順の「停止中」とは、本機の電源が「入」で、録画やダビングなどの操作を行わずに、テレビ放送が表示されている状態のことをいいます。

操作ガイドについて

本機には、本機の基本的な操作や困ったときの解決法などをテレビ画面で確認できる「操作ガイド」が内蔵されています。
- 録画や再生中に見ることはできません。

1 停止中に、ガイド ? を押す
2 [▲][▼][◀][▶]で知りたい項目を選び、決定 を押す
- **この操作を繰り返して、知りたい情報を選んでください。**



前の画面に戻るには

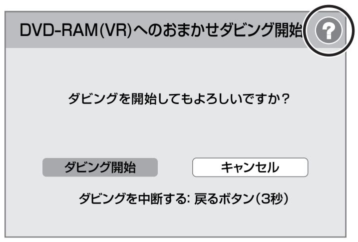
戻る ● を押す

画面を消すには

ガイド ? を押す

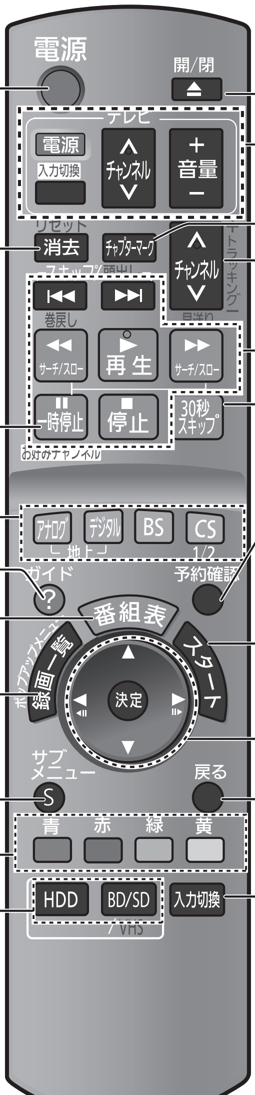
右記のような ? マークが付いた画面が表示されたとき

ガイド ? を押すと、操作に対する補足説明を表示します。

例)


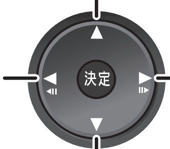
各部のはたらき

リモコン



- 本機の電源
- ディスクトレイを開閉する
- テレビ操作部(➜準備編31)
- 消去する
  VHS テープカウンターをリセットする(➜54)
- チャプターマークを作成/削除する(➜60)
- チャンネルを順に選ぶ
  VHS トラッキングや垂直同期を調整する(➜55)
- 録画や再生時の基本操作
- 約30秒飛び越す(➜46)
- お好みチャンネルを表示する(➜15)
- 放送を切り換える(➜14)
- 操作ガイドを表示する(➜6)
- 予約一覧画面を表示する(➜32)
- 番組表(Gガイド)を表示する(➜22)
- スタート画面を表示する(➜142)
- 録画一覧/ディスクメニューを表示する(➜41)
- サブメニューを表示する
- 前の画面に戻る
- 画面上の指示に応じて使用
- HDD/BD/SD/VHSを切り換える
- 入力を切り換える(L1)

上([▲])



左([◀]または[◀II])
右([▶]または[II▶])
下([▼])

- メニュー画面での選択/決定:
  選択: 上下左右([▲][▼][◀][▶])を押す
  決定: 決定 を押す
- コマ送り/コマ戻し:
  (一時停止中) 左右([◀II][II▶])を押す

市販やレンタルのBDビデオやDVDビデオで使用するボタンについて

BDビデオ
「ポップアップメニュー」→[録画一覧]

DVDビデオ
「リターン」→[戻る]
「トップメニュー」→[録画一覧]
ボタンで操作します。



ふたを開けると

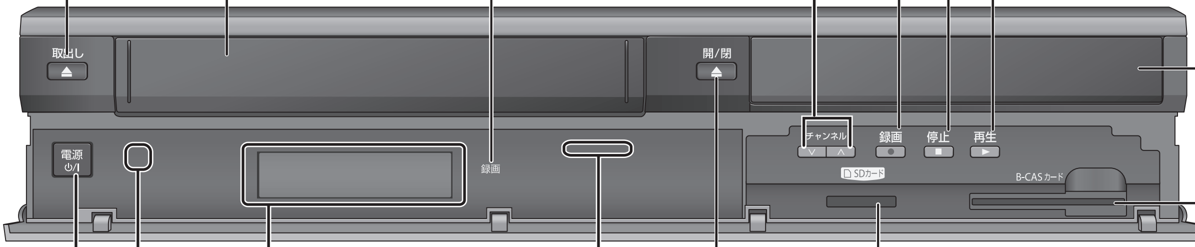


- 情報を表示する(➜16、48、54)
- 再生方法を設定する(➜50)
- HDD 録画モードを選ぶ(➜19)
- 音声を切り換える(➜17、48、53)
- HDD 録画する(➜19)
- データ放送の画面を表示する(➜18)
- Gコード®予約(➜30)
- デジタル放送の3けた番号を入力する(➜15)
- チャンネルや番組などを番号で選ぶ/番号や文字を入力する
- 入力した数値などを取り消す
- 時間を指定して飛び越す(➜47)

各部のはたらき（つづき）

本体（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）

カセットを取り出す
カセットを入れる
録画時に点灯
チャンネルを順に選ぶ
VHS トラッキングや垂直同期を調整する(➔55)
録画する/録画終了時間を指定する
停止する
再生する
ディスクトレイ



B-CASカードを入れる
(➔準備編15)
本体表示窓(➔下記)
SDカードを入れる
リモコン受信部

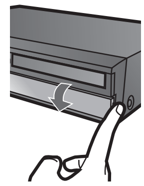
電源を切／入する
本機が操作を受けつけなくなった場合は、3秒以上押してください。
電源が切れます。

ディスクトレイを開閉する

初期設定「SDカードLED制御」(➔113)
で点灯･消灯の設定ができます。

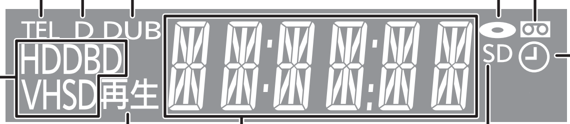
前面とびらの開け方

▶横に指をかけ、下に向けて倒してください。



本体表示窓

番組表（Gガイド）データなどの受信表示/
録画モード変換中（電源切時のみ）
電話回線表示
ダビング時表示
ディスク挿入時に表示
カセット挿入時に表示
選択中のドライブを表示



予約録画待機中、実行中
再生時表示
SDカード挿入時に表示

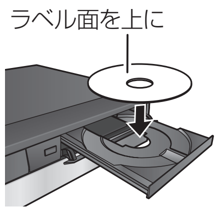
こんな表示が出たら（➔120）
電源切時：時刻表示
[**初期設定**「本体表示窓の明るさ」(➔113)が「オート」のときは表示されません]

ディスク・カセット・SDカードを入れる

ディスク

開/閉 [▲] を押してトレイを開き、ディスクを入れる

●もう一度[開/閉▲]を押すと、トレイが閉まります。
●電源が切れていても取り出せます。ただし、電源「入」になります。



お知らせ

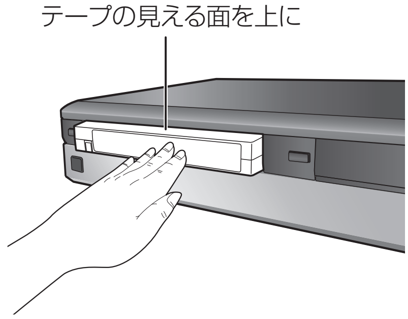
●両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録または再生することはできません。

●**カートリッジ付きディスクについて**
・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。
(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
・DVD-RAM や 8 cmのディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイにのせてください。(**➜下記**)(TYPE1 は使えません)
使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、カートリッジに収めて保管してください。

カセット

テープが見える面を上にして、ゆっくり入れる

●自動的に電源が入ります。



カセットを取り出すには

【本体】 取出し [▲] を押す

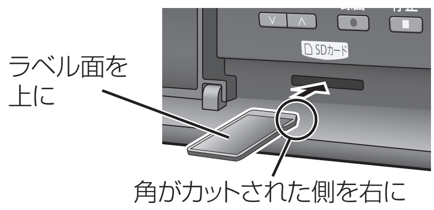
【リモコン】 電源「入」状態で「VHS」選択中、
[■ 停止] を約3秒以上押す

●VHSのダビング中などは働きません。

SD カード

1 本体前面のとびらを開ける

2 カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む



3 本体前面のとびらを閉じる

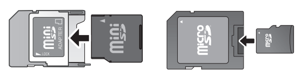
カードを取り出すには
上記手順 2 で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

本体表示窓の"SD"(➜8)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

●miniSDカード、microSD カードや microSDHC カードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

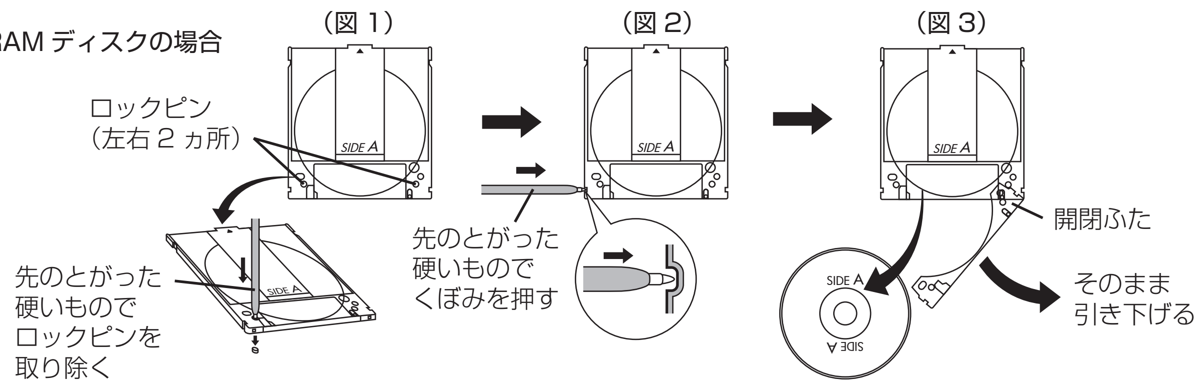
例)



停止中、ディスクやカセット、SD カードを入れると、入れたメディアに合わせて自動的にドライブを切り換えます。
それぞれ取り出すと、HDD に切り換わります。
●カセットは、HDD 録画中に入れても切り換わります。

カートリッジ付きディスクの取り出しかた例
カートリッジからの取り出しかたはディスクによって異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合



記録できるブルーレイディスクについて

本機で記録できるブルーレイディスクは?



※1 DLも含みます。
ブルーレイディスクの「DL」とは
片面2層(50 GB)のディスクのことを表します。
※2 LTH type (➔139)も含みます。

■BD-REに関してのお知らせ

本機では、カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。
(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
Blu-ray Disc Rewritable Format Version 2.1に準拠したBD-REをお使いください。

ブルーレイディスクに記録すると…

ブルーレイディスクは、従来のDVDに比べて記録容量が大幅に多くなりました。

例えば

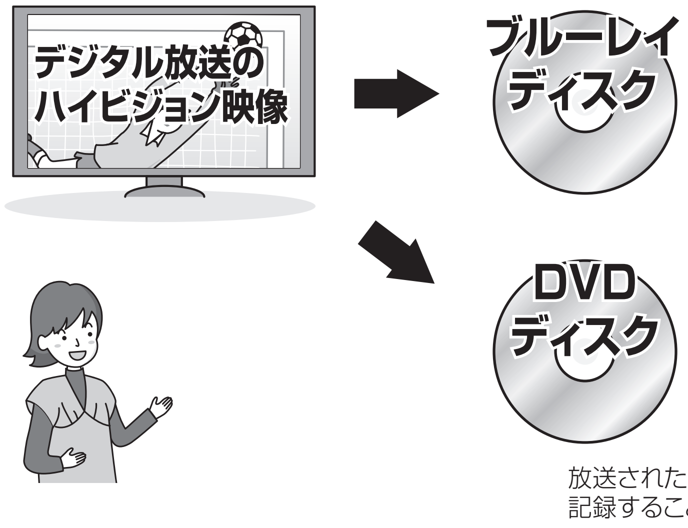
ブルーレイディスク(片面2層 50 GB)と
DVD(4.7 GB)では…



2時間映画だと…(SPモードで記録時)



ブルーレイディスクは、デジタル放送の高画質･高音質のハイビジョン映像を放送されたそのままの状態で記録することができます。



放送された映像を
そのまま記録できます
(DRモードで記録時)

放送された映像を
そのまま記録できません
(DRモードでは記録できません)

放送されたデータを圧縮してハイビジョン画質で
記録することはできます。(HG、HX、HE、HLモードで記録時)

ブルーレイディスクの特徴は?

記録できる放送は?	地上・BS・CS デジタル放送 / 地上 アナログ放送
記録できる画質は?	ハイビジョン画質 / 標準画質 (➜137「デジタルハイビジョン」)
記録できる録画モードは? (録画モードについて➜36)	すべての録画モード
予約録画は?	できる(予約は1番組のみ)
BD機器での再生は?	BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応した機器で再生できます。 ●LTH type の BD-R に記録した場合、LTH type に対応していないと再生できないときがあります。 ●片面2層(50 GB)のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。 ・2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。 ●当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応していないため、再生できません。 ●HG、HX、HE、HL モードの番組や、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)は、再生できない場合があります。

こんなとき
どうしたらいいの?



BD-REとBD-Rのどちらのディスクを使えばいいですか?

ディスクは繰り返し使いたい ➜ BD-RE 繰り返し録画用

ディスクには1度しか記録しない
保存用として使う ➜ BD-R 1回録画用



お知らせ

ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/bd/)

記録できるDVDディスクについて

本機で記録できるDVDディスクは?

DVD-RAM※1　DVD-R　DVD-R DL　DVD-RW

RAM　RAM4.7　R　R4.7　R　R DL　RW

デジタル放送を記録するには…
CPRM※2対応のディスクか確かめてください。



※1　カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
※2　CPRMとは、デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

DVDディスクに記録する前に…

本機では、3種類の記録方式があります。
記録する放送やディスクの用途により記録方式を決めてください。

ビデオ方式?　VR方式?　AVCREC方式?

それぞれの記録方式の特徴は?

	VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) DVDにテレビ放送などを記録･編集するために作られた方式です。	**ビデオ方式** (DVDビデオ規格) 市販されているDVDビデオと同じ方式です。	**AVCREC方式** ハイビジョン番組をハイビジョン画質でDVDに記録できる方式です。
記録できる放送は?	地上･BS･CS デジタル放送 地上 アナログ放送	地上 アナログ放送	地上･BS･CS デジタル放送
対応ディスクは?	DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW	~~DVD-RAM~~（×）、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW	DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、~~DVD-RW~~（×）
記録できる画質は?	標準画質	標準画質	ハイビジョン画質 (➔137「デジタルハイビジョン」)
記録できる録画モードは? (録画モードについて➔36)	XP、SP、LP、EP、FR	XP、SP、LP、EP、FR	HG、HX、HE、HL
予約録画は?	できる (予約は1番組のみ)	できない	できる (予約は1番組のみ)
DVD機器での再生は?	記録したディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。(➔79) ・デジタル放送の番組の場合、その機器がCPRMに対応している必要があります。	記録後、ファイナライズ(➔99)をすれば、DVD機器で再生できます。	記録したディスクのAVCREC方式の再生に対応している必要があります。 対応機器には AVCREC™ が付いています。 対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 -R -R DL はファイナライズ(➔99)が必要です。

記録方式を選ぶには(➔96)　・フォーマットをして選びます。

こんなとき
どうしたらいいの?



お客様の使いかたに合わせてDVDディスク、記録方式を選んでください。

デジタル放送を記録
- ディスクは繰り返し使いたい
  - ハイビジョン画質で記録したい → CPRM対応の DVD-RAM **AVCREC方式**
  - たくさん記録したい（標準画質） → CPRM対応の DVD-RAM DVD-RW **VR方式**
- ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う
  - ハイビジョン画質で記録したい → CPRM対応の DVD-R DVD-R DL **AVCREC方式**
  - たくさん記録したい（標準画質） → CPRM対応の DVD-R DVD-R DL **VR方式**

アナログ放送を記録
- ディスクは繰り返し使いたい
  - 二ヵ国語放送を記録したい → DVD-RAM DVD-RW **VR方式**
  - DVD機器で再生したい → DVD-RW **ビデオ方式**
- ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う
  - 二ヵ国語放送を記録したい → DVD-R DVD-R DL **VR方式**
  - DVD機器で再生したい → DVD-R DVD-R DL **ビデオ方式**

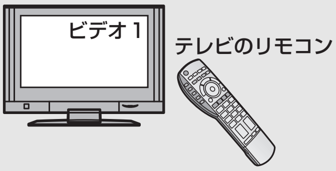
ビデオカメラのハイビジョン動画（AVCHD）を記録 → DVD-RAM DVD-R DVD-R DL **AVCREC方式**

お知らせ

ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。（http://panasonic.jp/support/bd/）

テレビ放送を見る

準備
●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ 1 など）



暗証番号の入力画面が表示されたら
(➜109)

電源を切るには
電源 を押す

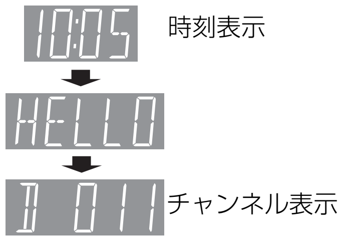


お知らせ
●録画中に放送 / 入力やチャンネルを切り換えることはできません。

(BS デジタル)(CS デジタル)
●雨や雷、雪などの天候のときは、一時的に映像や音声が止まったり、受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。

1 電源 を押して、本機の電源を入れる

例）

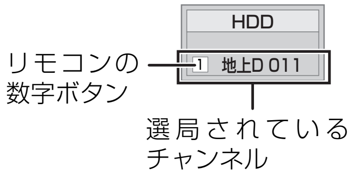


2 [アナログ] [デジタル] (地上) [BS] [CS] (1/2) を押して、放送を選ぶ

●[CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

3 [1] ～ [12]（ふた内部）または [チャンネル ∧∨] を押して、チャンネルを選ぶ

その他の選局方法は(➜15)



リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(➜108)

数字ボタンで選べる放送局を変更するには
(➜準備編 34 ～ 36)

[チャンネル ∧,∨] で選べる放送局を変更するには
(地上アナログ)(➜準備編 36)
(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)
(➜109 放送設定「選局対象」)

本体表示窓でのチャンネル表示について

本体表示窓では、現在選んでいるチャンネルが下記のように表示されます。

地上デジタル放送 例)011	D 011	地上アナログ放送 例) 1	A 1
BSデジタル放送 例)101	BS 101	外部入力 例)L1	L 1
CS1 例)001	C1 001		
CS2 例)100	C2 100		

その他の選局方法

番組表から選局

1 [番組表] を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で放送中の番組を選び、[決定]を押す

☞**別の放送の番組表(Gガイド)を見るには**
[アナログ][デジタル][BS][CS] を押す

3 [◀][▶]で「今すぐ見る」を選び、[決定]を押す

☞ **番組表(Gガイド)上での操作(➜24)**

例）全チャンネル表示



お好みチャンネルから選局

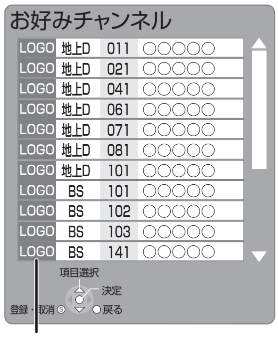
地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく１つのリストに登録できるため、よく見るチャンネルを登録しておくと、選局時に便利です。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

1 テレビ画面表示中に、[❚❚一時停止 / お好みチャンネル] を押す

●[録画●] を押して録画中は、録画を一時停止します。

2 [▲][▼]で放送局を選び、[決定]を押す



放送局のロゴは
表示されない場合もあります。

チャンネルの登録	① 登録したい放送局を視聴中に、 [❚❚ 一時停止 / お好みチャンネル] を押す ② [サブ メニュー] を押す ③ [▲][▼] で「登録」を選び、[決定] を押す ④ [◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す ●登録した放送局は、お好みチャンネルの一番下に登録されます。（最大 48 チャンネル）
チャンネルの取り消し	① [❚❚ 一時停止 / お好みチャンネル] を押す ② [▲][▼] で取り消したい放送局を選び、[サブ メニュー] を押す ③ [▲][▼] で「取消」を選び、[決定] を押す ④ [◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

●お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
●かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

お好みチャンネルのお買い上げ時の設定
· 地上デジタル /BS デジタル　:リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(➜108)
· CS1/CS2　:設定なし

３けたチャンネル番号を入力して選局

地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル

1 [チャンネル番号入力] (ふた内部)を押す

●押すごとに選局対象の放送が切り換わります。CS1 とCS2は「CS」で選んでください。

2 [1] ～ [10] (ふた内部)を押して、チャンネルを入力する

例）103の場合…[1]→[10]→[3]

●入力画面が表示されている間に入力してください。

☞ **枝番号の異なる放送を選局するには**
地上デジタル (➜17「枝番選局」)

視聴

テレビ放送を見る

テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

1 [サブ メニュー] (S) を押す

●ビエラリンク (HDMI)(➜102)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

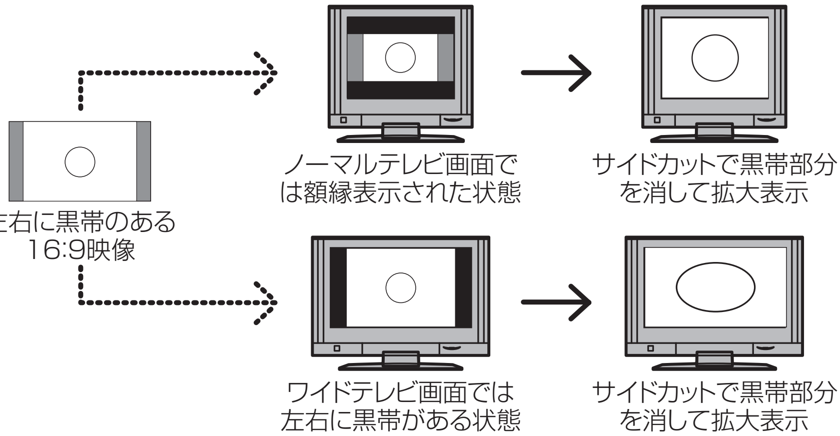


2 [▲][▼]で「画面モード切換」を選び、[決定]を押す

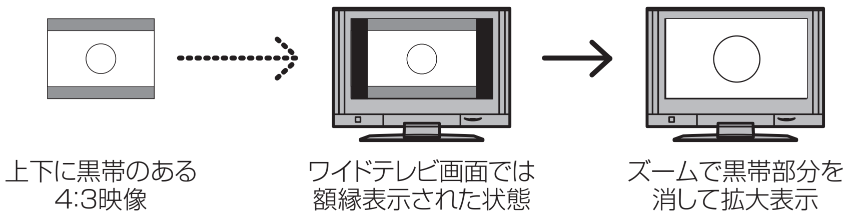
3 [◀][▶]で画面モードを選ぶ

ノーマル ：通常の出力となります。

サイドカット ：16：9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気をつけください。



ズーム ：4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。



お知らせ

●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切/入

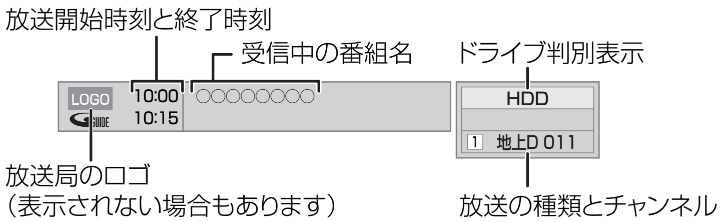
● BD-V DVD-V 「サイドカット」は効果がありません。

●**初期設定**「TVアスペクト」(➜114)を「4：3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

見ている番組の情報を表示

[画面表示] (ふた内部)を押す

例)「HDD」選択中、地上デジタル放送を見ているとき



☞ **情報表示を消すには**
[画面表示] を数回押す

放送内容などの設定

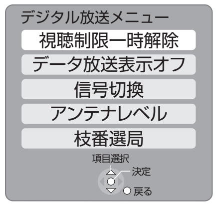
(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

番組視聴中に、

1 サブメニュー(S) を押す

●ビエラリンク (HDMI)(➜102)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

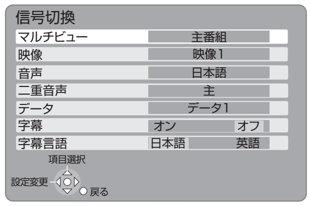
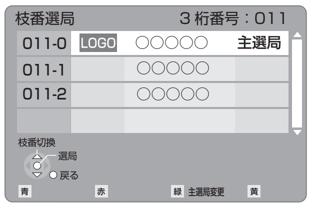
例)



2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、(決定) を押す(➜ 下記へ)

●視聴している番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号(➜109)を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。  **[▲][▼]で設定する項目を選び、[◀][▶]で設定する** ●番組により、選べる項目が変わります。 ●設定内容が 1つしかないときは切り換えできません。 ●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され再生時に切り換えできません。
アンテナレベル	アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。 (例:「011-0」、「011-1」、「011-2」) 3けたチャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **[▲][▼]で放送局を選び、[決定] を押す**  ☞ **3けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには** [▲][▼] で主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

音声を切り換える

音声 (ふた内部)を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例)二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) →(二重L(主)に戻る)

例)マルチ音声放送

ステレオLR 日本語 → ステレオL 日本語 → ステレオ R 日本語 → ステレオLR 英語 → ステレオL 英語 → ステレオ R 英語 →(ステレオLR 日本語に戻る)

●録画中に音声を切り換えても、記録される音声に影響はありません。

●**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜111)が「入」のときのアナログ放送や、**初期設定**「XP時の記録音声モード」(➜113)が「LPCM」の場合に録画モード「XP」を選択しているときは、音声の切り換えはできません。

データ放送を見る

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

●本機では、データ放送を録画できません。録画が始まるとデータ画面が消えます。

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)

前の画面に戻るには

[戻る]を押す

お知らせ

●データ放送のサービスの種類によっては電話回線の接続が必要です。**(➜準備編 14)**

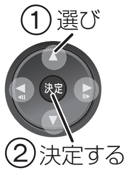
●電話回線での通信中は、本体表示窓に"TEL"が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。"TEL"が消えるまでしばらくお待ちください。

●電話回線の使用時には、回線接続料がかかります。

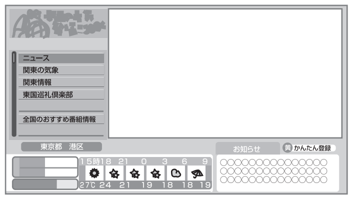
1 データ放送のある番組を選局し、[データ](ふた内部)を押す

●表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

2 見たい項目を選び、[決定]を押す



例)



●画面の指示に従って、[**青**]、[**赤**]、[**緑**]、[**黄**]や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには

[データ] を押す

●画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。**(➜17)**

録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ1など）

ディスクに録画するには（➜23）

お知らせ

- ディスクやカセットへは録画できません。
  - ・ディスクの場合、予約録画はできます。（ビデオ方式は除く）
- 予約録画が始まると、予約録画が優先され録画は終了します。
- 有料放送を録画するには、放送会社と契約した B-CAS カードを挿入してください。契約したB-CASカードをテレビでお使いの場合は、そのカードを本機に挿入してください。

必要に応じて ご覧ください ➜ 36 ～ 40 ページ

1 [HDD] を押す

2 [アナログ] [デジタル]（地上） [BS] [CS]（1/2） を押して、放送を選ぶ

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

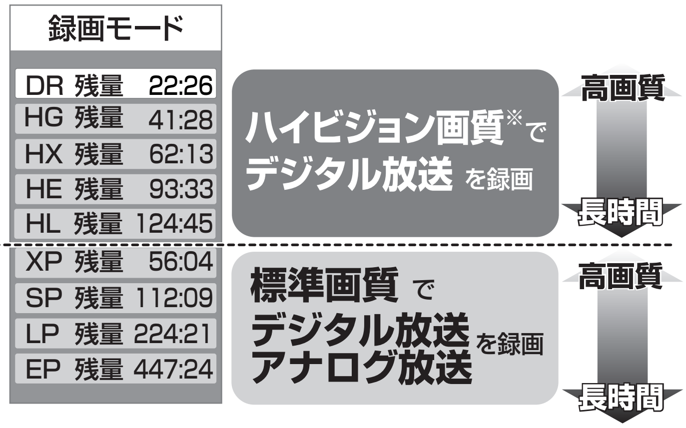
3 [1] ～ [12]（ふた内部）または [チャンネル ∧∨] を押して、チャンネルを選ぶ

その他の選局方法は（➜15）

4 [録画モード]（ふた内部）を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。
（[決定] を押すと、早く切り換えることができます）

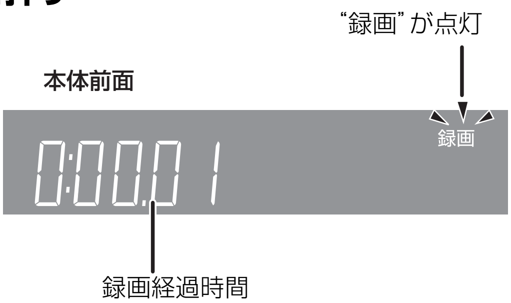
例）



※ デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。その場合、ハイビジョン画質の録画モードを選んでも、標準画質のまま録画されます。

録画モードについて（➜36）

5 [録画 ●]（ふた内部）を押す



- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 番組表（Gガイド）**（➜24）**に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。

6 録画を止めるときは、[■ 停止] を押す

録画する（つづき）

録画中のいろいろな操作

録画を止める	**[■停止] を押す** ●停止した位置までを1番組として記録します。 ● HDD 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録します。 **予約録画を止めるには（➜32）**
一時停止する	**[❚❚一時停止] を押す** ●もう一度押す、または [**録画●**] を押すと録画を再開します。（番組は分割されません） ●録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。
録画の終了時間の指定 **（終了時間予約録画）**	**本体の [録画 ●] を押す** ●押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。 **録画経過時間 → 30分後 → 1時間後 → 1時間30分後** **↑── 4時間後 ←─ 3時間後 ←─ 2時間後 ←┘** 録画経過時間 1:30.01 ➡ 30分後停止 OFF 0:30 **お知らせ** ●リモコンの [**録画●**] ではできません。 ●ぴったり録画（**➜21**）や予約録画では指定できません。 ●録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。 **終了時間の設定を取り消すには** 本体の [**録画●**] を数回押し、“録画経過時間” を選ぶ （録画は続けられます）

録画しながら再生する

追っかけ再生
- HDD のみ再生できます

同時録画再生
- HDD とディスクの再生ができます

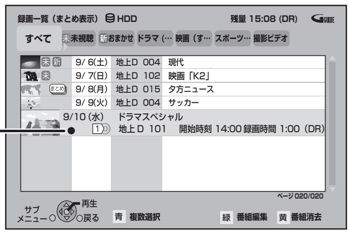
追っかけ再生：HDD 録画中に、HDD 録画中の番組を先頭から再生します。
同時録画再生：HDD 録画中やディスク予約録画中に、録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1 [HDD] または [BD/SD /VHS] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

2  **を押す**

3 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、(決定)を押す

例）**HDD**



録画中の番組（●を表示）

録画一覧画面を消すには
[録画一覧] を押す

再生を止めるには
[■ 停止] を押す

HDD からダビング時にディスク容量ぴったりになるように録画する

ぴったり録画

ぴったり録画

HDD

録画した番組を新品の DVD (4.7 GB)にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて「XP」〜「EP」の中から自動的に最適な画質で HDD に録画します。**(➜36「FR」)**

1 チャンネルを選ぶ(➜ 19 ページ手順 1 〜 3)

2 停止中に、  **を押す**

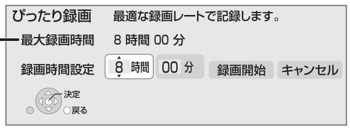
3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、(決定)を押す

5 [▲][▼]で「HDD に録画」を選び、(決定)を押す

6 [▲][▼][◀][▶]で“時間”または“分”を選び、録画時間を設定する

最大録画時間
EP(8 時間) モードで計算した残量時間



- 8時間を超えて設定することはできません。

7 [◀][▶]で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で(決定)を押す

お知らせ
- 録画中にぴったり録画はできません。

録画を止めるには
(➜20)

録画せずに画面を消すには
[戻る] を数回押す

録画の残り時間を確認するには
[画面表示] を押す



録画の残り時間

予約録画する

HDD　BD-RE　BD-R　RAM　-R(VR)
-R(AVCREC)　-R DL(VR)　-R DL(AVCREC)
-RW(VR)

VHS には予約録画できません。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）

- 番組表（G ガイド）はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表（G ガイド）のデータを受信する必要があります。
（詳しくは ➜ 準備編 26）
- 電源の入／切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。

必要に応じて ご覧ください ➜ 36 ～ 40 ページ

番組表（G ガイド）を使って HDD に予約録画する

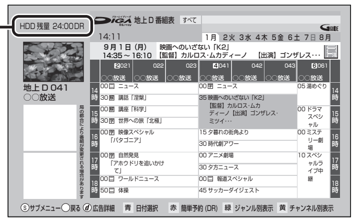
1 番組表 を押す

2 番組を選ぶ



例）全チャンネル表示

HDD の残量／現在の録画モード



別の放送の番組表（Gガイド）を見るには
[アナログ][デジタル][BS][CS] を押す
（お好み番組表の場合）
① **[サブ メニュー]** を押す
② 「放送切換」で「お好み」を選び、**[決定]** を押す

番組表（Gガイド）上での操作（➜24）

3 現在の録画モードから変更せずに予約する場合：

赤 を押す
- 「予」が表示され、予約が完了します。

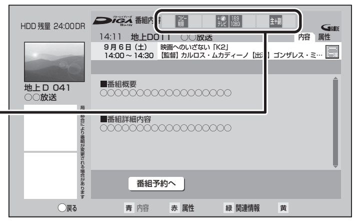
録画モードの変更や毎週予約などをする場合：

決定 を押す（➜ 手順 4 へ）

4「番組予約へ」を選び、決定 を押す



表示マーク
（➜134）

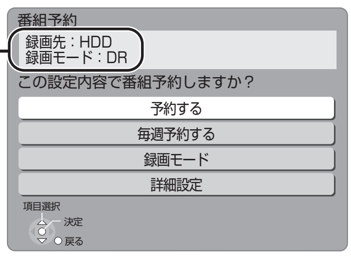


5 項目を選び、決定 を押す

予約する　　：予約を登録
毎週予約する：毎週予約を登録
録画モード　：録画モードを変更（変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）
詳細設定　　：録画先や毎日・毎週予約などの予約内容を変更（変更後、「予約を登録する」を選んで予約を登録してください）**（➜28「詳細設定」）**



予約内容を確認してください。



録画モードについて（➜36）

番組表(G ガイド)を使ってディスクに予約録画する

ディスクは、1 番組のみ予約できます

DVDにデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。



カートリッジ付きのディスクについて

- BD-RE は使えません。
- DVD-RAM はカートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1 は使えません)

DVDに予約録画する記録方式を選ぶには

記録方式を選ぶには、フォーマットする必要があります。



ハイビジョン画質で記録できます。(デジタル放送のみ可能)

- **-RW** では選べません。



標準画質で記録するため、長時間記録できます。



予約録画できません。

AVCREC 方式のディスクについて

他の機器で再生する場合、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している必要があります。

対応機器には

AVCREC™

が付いています。

対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

-R **-R DL** はファイナライズ(→99)が必要です。

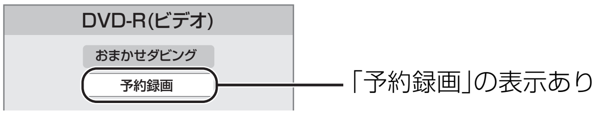
1 ディスクを入れる

「予約録画」の表示がある画面が表示される場合

新品など未記録のディスクを入れたときは、本機で記録できるようにする処理(フォーマット)が必要です。

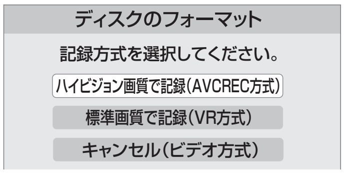
DVD の場合、まずディスクの記録方式を選ぶ必要があります。

例) **-R**



[▲][▼] で「予約録画」を選び、[決定] を押す

- フォーマット画面が表示されます。DVD の場合、記録方式を選び、フォーマットを行ってください。



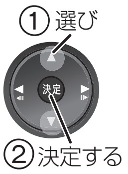
「予約録画」の表示がない画面が表示される場合

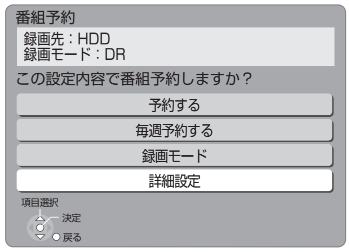
すでにフォーマット済みのディスクです。

[戻る] を押す

2 22 ページの手順 1 ～ 4 を行う

3 「詳細設定」を選び、決定を押す

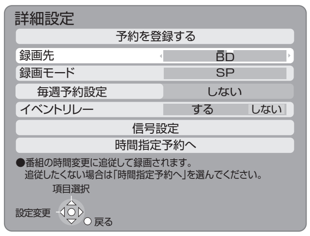




4 録画先を「BD」にする

- DVD の場合は、「BD」を選んでください。





5 「録画モード」を設定する

- ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

BD-RE **BD-R**	:すべての録画モード
RAM(AVCREC) **-R(AVCREC)** **-R DL(AVCREC)**	:「HG」「HX」「HE」「HL」
RAM(VR) **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)**	:「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」

録画モードについて(→36)

6 「予約を登録する」を選び、決定を押す



- フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

予約録画する(つづき)

番組表(G ガイド)上での操作

新聞のテレビ欄のような一覧表から番組を選ぶことができます。
この機能を使うには、**番組表(Gガイド)の受信が必要です。(➜準備編 26)**

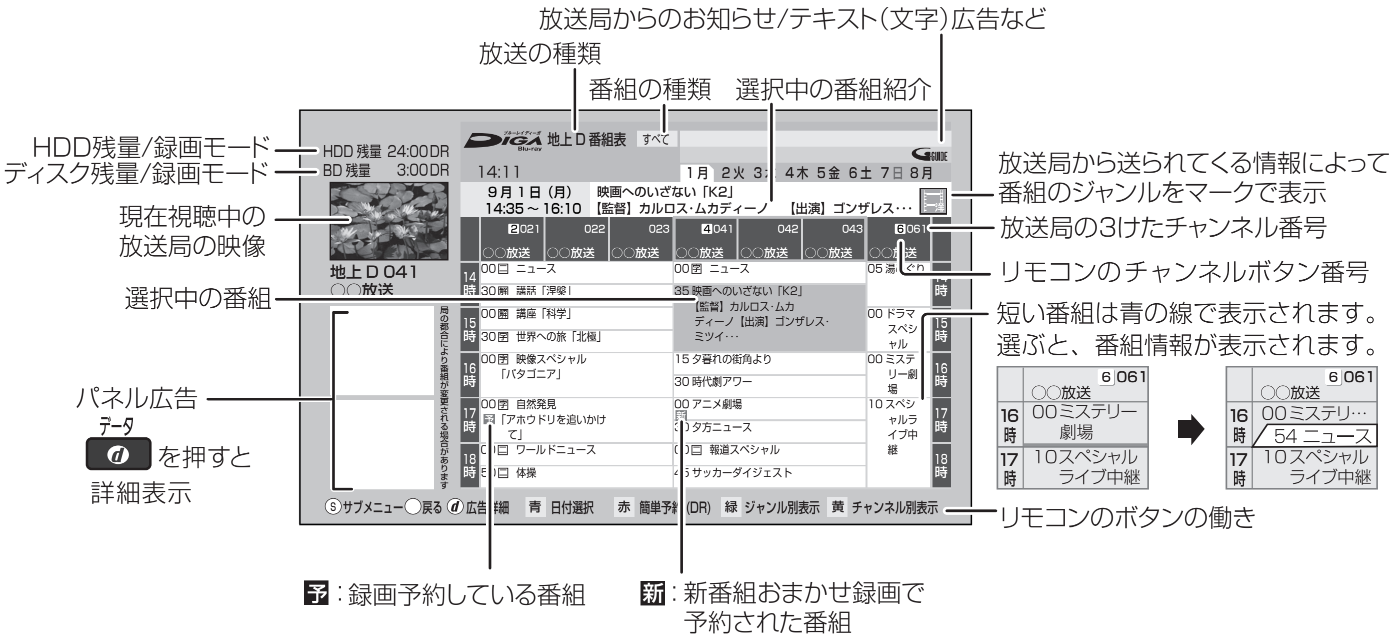
番組表(G ガイド)について

(地上アナログ)
●Gガイド地域一覧表(**➜準備編 42**)に登録されていない放送局は、見ることはできても番組表(G ガイド)には表示されません。

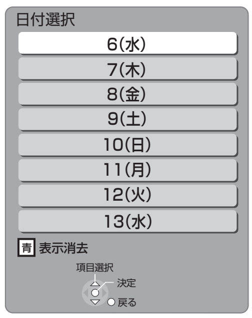
(地上デジタル)
●番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、**[決定]** を押すと表示されます。(数分かかることもあります)

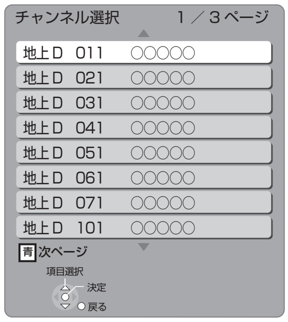
番組表 を押す

例)全チャンネル表示



番組の色分け表示について
本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮)を色分け表示しています。

<table>
<tr><td rowspan="2">番組表(G ガイド)の表示設定</td><td>別の放送の番組表(G ガイド)を表示</td><td>[アナログ] [デジタル](地上) [BS] [CS](1/2) を押す</td></tr>
<tr><td>別の日の番組表(G ガイド)を表示
●全チャンネル表示時のみ</td><td>1 青 を押す
2 [▲][▼]で日付を選び、決定を押す
例)
</td></tr>
</table>

番組表(G ガイド)の表示設定	チャンネル別の番組表(G ガイド)を表示	選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。 **1 [▲][▼][◀][▶]で表示したいチャンネルの番組を選ぶ** **2 [黄] を押す** ☞ **全チャンネル表示に切り換えるには** **[黄]** を押す 
	別のチャンネルを表示	チャンネル別表示中に **1 [青] を押す** ●次ページのチャンネルを表示させる場合は、もう一度 **[青]** を押してください。 **2 [▲][▼]でチャンネルを選び、[決定]を押す** 
	1 [サブメニュー Ⓢ] を押す **2 [▲][▼]で項目を選ぶ**(➜下記へ) ●表示される内容は放送によって異なります。	
	番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、録画したい番組を検索します。 **[決定] を押す(➜26)**
	録画モード	録画モードを変更します。**(➜36)** **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
	放送切換	別の放送の番組表(Gガイド)を表示します。(お好み番組表を含む) **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す** **お好み番組表について** ●「お好みチャンネル」**(➜15)**で登録されている放送局が表示されます。 ●お好み番組表に切り換えた場合、切り換える前に視聴していた放送局が現在視聴中の番組になります。そのため、登録していない放送局が番組表に表示されるときがあります。
	表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1 画面に表示するチャンネル数を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
	表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1 画面に表示する日数を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
	表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	(デジタル放送の番組表のみ) 番組表(Gガイド)で表示させる内容を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す** ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを表示 ●番組表(G ガイド)の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
	視聴制限一時解除	(デジタル放送の番組表のみ) 暗証番号**(➜109)**を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
	番組データ取得	(地上デジタル放送の番組表のみ) 選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

予約録画する(つづき)

番組表(G ガイド)上での操作(つづき)

「フリーワード」や「ジャンル」などから番組を検索

1 番組表(G ガイド)表示中に、[サブメニュー] を押す

2 [▲][▼]で「番組表の検索」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]で検索方法を選び、[決定] を押す(➜下記へ)

- 複数の検索条件で検索 ― フリーワード検索
- 「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルで検索 ― ジャンル検索
- 「キーワード」で検索 ― キーワード検索
- 出演者から検索 ― 人名検索
- 今夜の見どころなど、番組に関する情報を見ます。トピックスから番組予約はできません。 ― トピックス

複数の検索条件から登録・検索する フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

●登録できる検索条件は 5 件までです。

検索条件を登録する

4 [緑] を押す

5 [▲][▼]で検索方法を選び、[決定] を押す

●「ジャンル」「出演者」は、表示される一覧から検索する条件を選んでください。

●「フリーワード」は、文字を入力し(➜100)、登録してください。

上記手順 4 ～ 5 を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録した検索条件を変更するには

(フリーワードで登録した検索条件のみ可能)

① [▲][▼]で検索条件を選び、[決定] を押す

② [▲][▼]で「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す

③ 文字を入力する(➜100)

登録した検索条件を削除するには

① [▲][▼]で検索条件を選び、[黄] を押す

② [◀][▶]で「はい」を選び、[決定] を押す

検索する

4 検索する放送種別を変更する場合

① **[赤] を押す**

② **[▲][▼][◀][▶]で検索したい放送を「入」に設定し、[決定] を押す**

5 [青] を押す

別の日の検索結果を表示するには

検索結果画面表示中に、[青] または [赤] を押す

6 [▲][▼] で番組を選び、[決定] を押す

「ジャンル」などから検索する ジャンル検索 キーワード検索 人名検索 トピックス

4 [▲][▼]で検索条件を選び、[決定] を押す

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには

[アナログ][デジタル][BS][CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには

検索結果画面表示中に、[青] または [赤] を押す

5 [▲][▼] で番組を選び、[決定] を押す

選んだ番組を視聴する場合は(➜15「番組表から選局」手順 3)

選んだ番組を予約録画する場合は [➜22「番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する」手順 4]

お知らせ

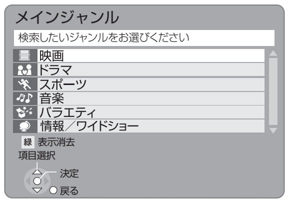
●検索結果は、各放送のデータの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。

特定ジャンルから番組を選ぶ

●全チャンネル表示時のみ

ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表(G ガイド)上で明るく表示します。

1 番組表(G ガイド)の全チャンネル表示中に、[緑] を押す



2 [▲][▼] でメインジャンルを選び、(決定) を押す

3 [▲][▼] でサブジャンルを選び、(決定) を押す

(視聴する場合は ➜15「番組表から選局」手順 2)
[予約録画する場合は ➜22「番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する」手順 2]

選択ジャンルおよびサブジャンル



ジャンル別の表示をやめるには

[緑] を押す

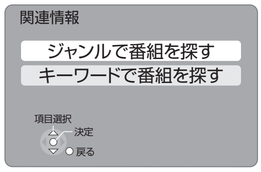
●別の放送の番組表(Gガイド)を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。

選んでいる番組に関連した番組を検索する

選択している番組のジャンルや出演者など関連した情報から番組を検索します。

1 番組内容画面(➜22 手順 4)**表示中に、[緑] を押す**

例)



2 [▲][▼] で項目を選び、(決定) を押す

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには

[アナログ] [デジタル] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには

検索結果画面表示中に、[青] または [赤] を押す

3 [▲][▼] で番組を選び、(決定) を押す

(視聴する場合は ➜15「番組表から選局」手順 3)
[予約録画する場合は ➜22「番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する」手順 4]

番組表(G ガイド)上での簡単な予約の取り消し / 修正

予約取り消し

[▲][▼][◀][▶] で「予」が表示されている番組を選び、[赤] を押す

●「予」が消えます。

●予約録画実行中の番組は、取り消しできません。

予約修正

1 [▲][▼][◀][▶] で「予」が表示されている番組を選び、(決定) を押す

2 [◀][▶] で「予約修正」を選び、(決定) を押す

(「番組予約」の場合は➜28「詳細設定」へ)
(「時間指定予約」の場合は➜31「時間指定予約」へ)

予約録画する（つづき）

番組表（Gガイド）予約の変更をする

22 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

録画先などの予約内容の変更

詳細設定

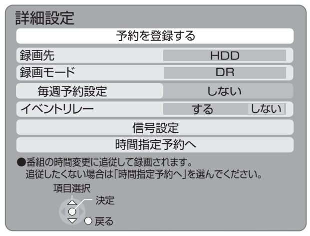
1 [▲][▼]で項目を選び、[◄][►]で設定する（➜ 下記へ）

●「毎週予約設定」「信号設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、

[▲][▼]で「予約を登録する」を選び、決定 を押す

●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定] を押してください。

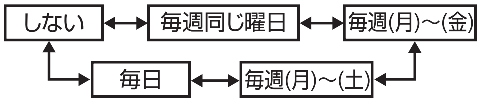


項目	内容
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。（DVD の場合は、「BD」を選んでください）
録画モード	録画モードを設定します。（➜36）

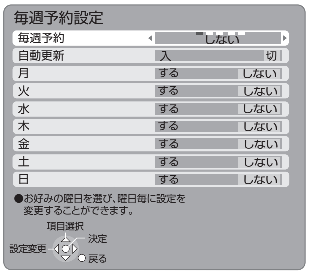
毎週予約設定

① **[◄][►]で「毎週予約」を設定する**

●押すごとに、以下のように変わります。



録画する曜日によって表示内容は変わります。



自動更新を設定するには

[◄] [►] で「自動更新」を「入」にする

「入」を選ぶと、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。

曜日ごとに設定するには

[◄] [►] でそれぞれの曜日を「する」または「しない」にする

設定を変更すると、「毎週予約」の項目が「曜日指定」になります。

② **[決定] を押す**

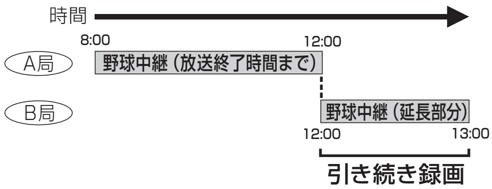
イベントリレー

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（ただし、別番組として録画されます）

別に予約した番組と放送時間が重なった場合、一方の番組が録画されないときがあります。

例）



●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。

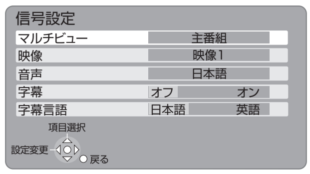
信号設定

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

複数の音声や映像の信号があるときに設定します。

① **[▲][▼]で項目を選び、[◄][►]で設定する**

② **[戻る] を押す**



●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され再生時に切り換えできません。

●選べる設定項目は、予約時点で放送局から送られる番組情報に基づいています。そのため、実際に放送された番組の内容が予約時点での番組情報と異なり、予約で設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。

●有料番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CAS カードを挿入してください。

時間指定予約へ

録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。

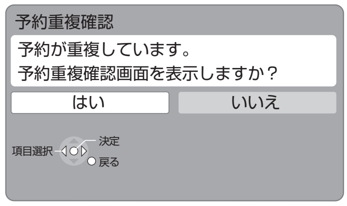
➜31「時間指定予約」へ

●番組追従（➜33）は行えません。

●「信号設定」は反映されません。

予約番組が重なっているとき
（22ページ手順5などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。

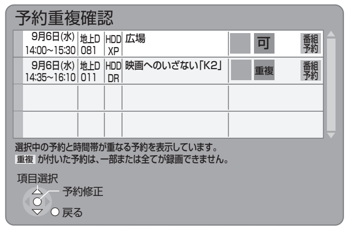


重複している予約を確認するには

[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

●「予約重複確認」画面が表示されます。

例）



予約の重複を修正するには

① **[▲][▼]で番組を選び、[決定]を押す**
② **[◀][▶]で修正方法を選び、[決定]を押す**

修正　：予約時間などを修正します。
（「番組予約」の場合は➜28「詳細設定」へ）
（「時間指定予約」の場合は➜31「時間指定予約」へ）

取り消し　：予約を取り消します。

予約実行切：予約の実行をやめます。

予約録画する(つづき)

HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)

お知らせ

●本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
(➜準備編 30「時刻合わせ」)

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

予約録画を止めるには(➜32)

予約の確認や取り消し、修正をするには(➜32)

予約番組が重なっているときは(➜29)

予約一覧画面の表示マークについては(➜135)

暗証番号に関する表示が出たとき(時間指定予約)

デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴･録画には暗証番号の入力が必要です。

●番組の視聴制限(➜109)を登録していない場合は、「暗証番号登録」画面が表示されます。暗証番号を登録すると「無制限」に設定されます。(「無制限」の場合、以降「暗証番号登録」画面は表示されなくなります)

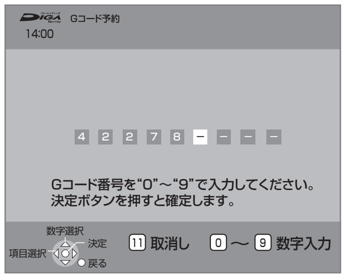
●視聴可能年齢(➜109)に制限をかけている場合は、設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

Gコード®入力を使って予約録画する 地上アナログ

1 Gコード(ふた内部)を押す

2 1あ@. ～ 10記号(ふた内部)でGコード番号を入力する

●[▲][▼]で数字を選び、[▶]を押しても入力できます。



Gコード番号を間違えたときは

●[◀]で戻り、再度入力する

●[11/ 取消し]を押すと、入力した番号を取り消します。

3 決定を押す

●予約内容を確認してください。

予約内容を変更するには(➜31「時間指定予約」)

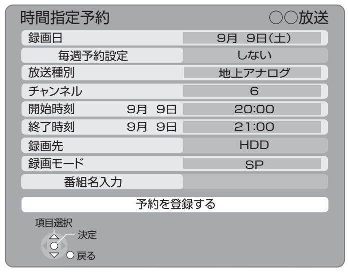
「チャンネル」の項目が「G––」になっているときは

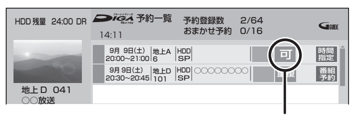
ガイドチャンネルが正しく設定されていません。「チャンネル」が選ばれている状態で、[◀][▶]で予約したいチャンネルに合わせてください。(➜準備編 36)

●予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。

4 「予約を登録する」を選び、決定を押す







「不可」表示のときは、HDDの残量などを確認してください。

録画時間を指定して予約録画する（時間指定予約）

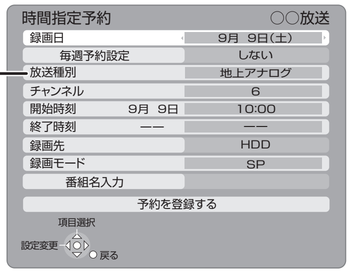
1 予約確認 ● **を押す**

2 緑 **を押す**

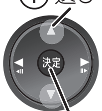
3 予約内容を設定する

（➜下記「時間指定予約」へ）

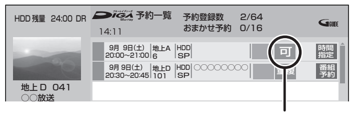
CATV セットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力」を選んでください。



4 「予約を登録する」を選び、決定 を押す



① 選び
② 決定する



「不可」表示のときは、HDDの残量などを確認してください。

予約内容の変更

時間指定予約

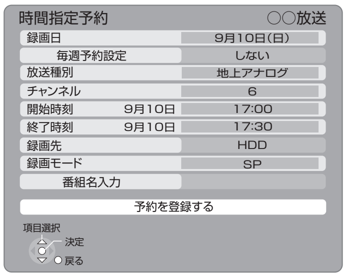
1 [▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する（➜ 下記へ）

●「毎週予約設定」「番組名入力」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、

上記手順4へ

●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定] を押してください。



録画日	1ヵ月以内の日付を指定できます。
毎週予約設定	毎日·毎週予約を設定します。（➜28「毎週予約設定」）
放送種別	放送を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。 ●[決定] を押すと、[1]～[10] でも選べます。 ●「放送種別」で「外部入力」を選択時は、「L1」が選べます。
開始時刻 **終了時刻**	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀] または [▶] を押したままにすると 15分単位で変更できます。 ●[決定] を押すと、[1]～[10] でも設定できます。
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。 ●DVD の場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モードを設定します。（➜36）
番組名入力	●文字入力について（➜100） ●入力しなくても、番組表（Gガイド）にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。

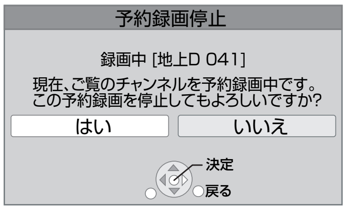
予約録画する(つづき)

録画中の予約録画を止める

1 [停止] を押す

2 [◀][▶]で「はい」を選び、[決定] を押す

例）



予約一覧画面から予約録画を止めるには
[➜下記「予約の実行を止める（一時解除）」]

お知らせ

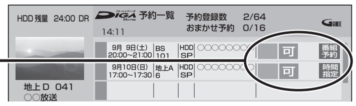
- 予約録画を止めると、予約一覧画面に「一部未実行」マークが表示されます。毎日･毎週予約の場合は、次回からの予約を新たに追加登録します。

予約内容の確認、取り消し、修正など

- 電源が「切」状態でも操作できます

[予約確認] を押す

- 予約状況がマークで表示されます。(➜135)



- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
- 実行される予約番組がない場合は、本体表示窓の“◷”が消灯します。

予約内容の変更を行う場合は、[▲][▼]で予約番組を選び、以下に進んでください。

予約の取り消し

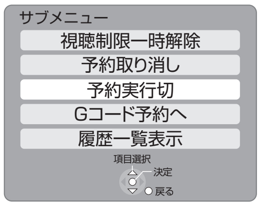
[黄]を押す

予約の実行を止める（一時解除）

① **[サブ メニュー]を押す**

② **[▲][▼]で「予約実行切」を選び、[決定]を押す**

例）



- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- もう一度[サブ メニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。
- 録画中の番組を選んで操作を行うと、録画が停止します。予約時間内であれば、もう一度[サブ メニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、録画が再開されます。（ただし、別番組として録画されます）

視聴制限の一時解除

暗証番号(➜109)を入力して視聴制限を一時解除します。

① **[サブ メニュー]を押す**

② **[▲][▼]で「視聴制限一時解除」を選び、[決定]を押す**

③ **[1]～[10]で暗証番号を入力する**

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

① **[サブ メニュー]を押す**

② **[▲][▼]で「履歴削除」を選び、[決定]を押す**

③ **[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す**

- 番組の履歴は「履歴一覧」からも確認できます。[サブ メニュー]を押して「履歴一覧表示」を選んでください。予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

予約内容の修正

① **[決定]を押す**

② **[◀][▶]で「修正」を選び、[決定]を押す**
（「番組予約」の場合は➜28「詳細設定」へ）
（「時間指定予約」の場合は➜31「時間指定予約」へ）

- 時間指定予約の場合、予約録画実行中の番組でも、録画モードが「FR」以外なら予約終了時刻の変更ができます。

毎日･毎週予約の予約状況を確認

1ヵ月以内の予約の重複などを確認できます。

① **[決定]を押す**

② **[◀][▶]で「毎週一覧」を選び、[決定]を押す**

- 予約の「重複」がある場合に［決定］を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。予約の修正をしてください。(➜29)

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

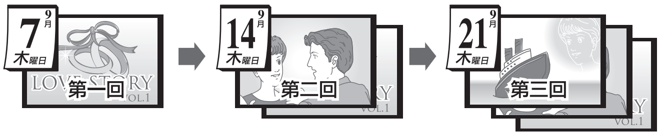
画面を消すには
[戻る] を数回押す

予約録画の便利な機能

●本機では1ヵ月以内の番組を、64番組まで予約できます。[毎日・毎週予約(➜下記)は1番組として数えます]
[「新番組おまかせ録画」(➜34)は、通常の番組予約とは別に 16 番組まで自動で予約されます]
●ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜32)

まとめ表示について まとめ HDD

連続ドラマなどを毎日･毎週予約した番組は、録画一覧画面(➜45)でまとめて表示されるため、番組を探しやすくなります。
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

前回の番組を消去して録画するには（自動更新） HDD

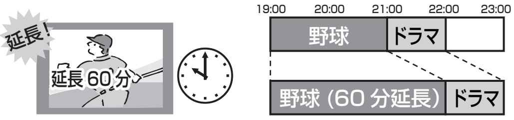
「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDDの容量を効率よく使えます。
●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

番組追従機能

●番組表(Gガイド)から予約した番組にのみ働きます

野球中継などの番組延長に対応
●デジタル放送のみ

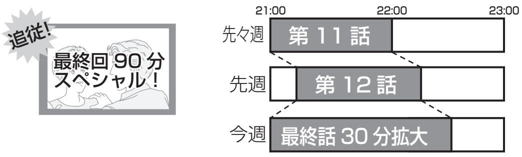
予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。
(3 時間までの変更に対応)



●「イベントリレー」(➜28) を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。(番組は分割されます)
●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

毎日･毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 2 時間までの変更に対応)



●次回以降の予約登録するときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
●番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

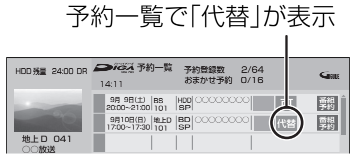
●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
●番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。(➜31)

ディスクの残量不足などに対応（代替録画）

(録画先を“BD”にして予約したとき)
ディスクの入れ忘れ、残量不足などでディスクに予約録画できない場合(➜129)は、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の失敗を防ぎます。

予約一覧で「代替」が表示



●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
●代替録画した番組は、録画一覧画面上で「 」が表示されます。

予約録画する（つづき）

新番組おまかせ録画

（地上デジタル）（BS デジタル）

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大１６番組まで自動で予約することができます。

- 番組表（G ガイド）のデータ受信時に新番組を探して自動で予約します。
- 録画先は「HDD」、録画モードは「DR」で予約します。



設定方法

1 

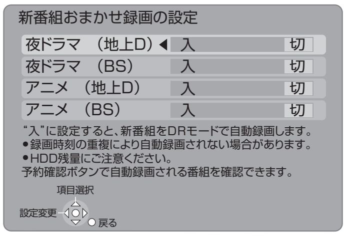
を押す

2 ［▲］［▼］で「その他の機能へ」を選び、（決定）を押す

3 ［▲］［▼］で「新番組おまかせ録画」を選び、（決定）を押す

4 ［▲］［▼］で設定したい項目を選ぶ

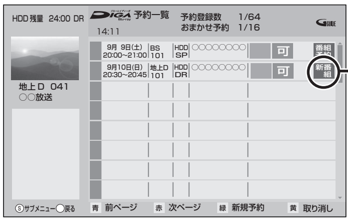
5 ［◀］［▶］で「入」または「切」を選ぶ



- 「夜ドラマ」は 18 時～23 時 59 分の間に開始時刻が含まれる新番組のドラマが対象になります。
- 契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約しますが、契約していない場合、録画はされません。
- 「入」に設定した場合、HDD の残量にお気をつけください。

予約された新番組の確認

予約確認
（●）を押す



新番組 自動で予約された番組
不要な場合は、［ 黄 ］を押してください。

- 番組表（G ガイド）上では、新 が表示されています。

予約内容を修正するには（➜32）

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。
（すでに新番組以外の予約が 64 番組ある場合は、修正できません）

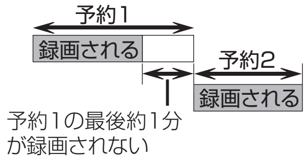
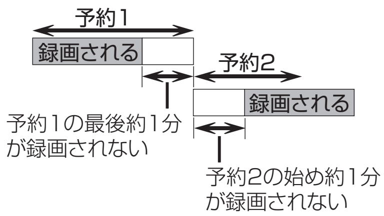
予約が重なったときは？

- **通常の番組予約と重なったときは？**
  新番組の予約は行われません。
- **新番組同士が重なったときは？**
  以下の優先順位で予約されます。
  ① 開始時刻の早い番組を優先
  ② 新番組の開始時刻が同じときは、
  まず地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタルの番組を優先
  さらに同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

お知らせ

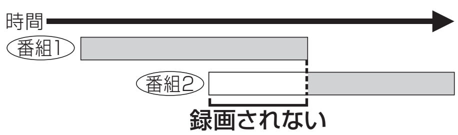
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。

予約録画に関する質問

Q（質問）	A（回答）
予約録画待機中に録画や再生はできる？	**できます。** ただし、以下の場合は、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。 ●録画中　:予約録画の開始時刻になったとき ●ディスク再生中　:ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき ●BD ビデオ再生中　:DR モード以外の予約録画の開始時刻になったとき ●VHS 再生中　:アナログ放送で予約した番組の予約時刻になったとき
電源を入れたまま予約時間になった場合は？	電源の切/入にかかわらず、予約録画は始まります。 終了後も電源は入ったままになりますが、予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなる？	●前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。  次の予約先が「BD」の場合は、次の予約（「BD」）の始めも、約 1 分が録画されません。  ●前の予約が終わる約 1 分前になると、前の予約のチャンネルから次の予約のチャンネルに切り換わります。
「新番組おまかせ録画」の予約を取り消すとどうなる？	取り消した新番組が、再び自動で予約されることはありません。ただし、「新番組おまかせ録画の設定」をいったん「切」にして再び「入」にした場合に、再び予約されることがあります。
予約時刻が重なっている番組はどうなる？	予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。 予約一覧で「重複」が表示 

予約の重複について

開始時刻の早い1番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。



録画モードについて

録画モード	DR	HG・HX・HE・HL	XP・SP・LP・EP	FR
特徴は？	**ハイビジョンモード** 放送そのままの画質で記録	**ハイビジョン長時間モード** 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	**標準画質モード** 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	**自動調整モード** ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録
記録できる放送／入力は？	地上・BS・CSデジタル放送		地上・BS・CSデジタル放送 地上アナログ放送 外部入力	
記録できる画質は？	放送画質 放送そのままのハイビジョン画質※2	ハイビジョン画質 放送の画質を変換したハイビジョン画質※2	標準画質	
記録できるディスクは？	HDD BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW	
画質と記録時間は？	高画質 ⇔ 長時間		高画質 ⇔ 長時間	—
サラウンドの番組の音声は？	放送そのままのサラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声	ステレオ音声（ダウンミックス2チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声➜40）が含まれている番組は？（二重音声が含まれている番組については➜40）	複数の音声をすべて記録	音声は1つだけ記録※3		
複数の映像が含まれている番組は？	複数の映像をすべて記録	映像は1つだけ記録※3		
字幕情報が含まれている番組は？	再生時、字幕表示の入／切ができる	再生時、字幕表示の入／切はできない※3		

※1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※2　デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。その場合、ハイビジョン画質の録画モードを選んでも、標準画質のまま録画されます。

※3　記録したい映像や音声、字幕表示の入／切などの内容を選びたい場合：
- **録画時**　：「信号切換」(**➜17**)で選ぶ
- **予約録画時**　：「信号設定」(**➜28**)で選ぶ
- **ダビング時**　：「信号切換」(**➜50**)で選んだあと、「再生中番組の保存」(**➜72**)を行う

録画モードと記録時間の目安

記録できる最大番組数

●HDD ：499
（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
●RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)：99
●BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)：200

録画モード ＼ ディスク			内蔵HDD (320 GB)	BD-RE、BD-R 1層(25 GB)	BD-RE、BD-R 片面2層(50 GB)
DR	BS デジタル	HD放送 (< 24 Mbps)	約 29 時間	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分
		SD放送 (< 12 Mbps)	約 58 時間	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	地上 デジタル	HD放送 (< 17 Mbps)	約 40時間	約 3 時間	約 6 時間
HG			約 52 時間	約 4 時間	約 8 時間
HX			約 80 時間	約 6 時間	約 12 時間
HE			約 120時間	約 9 時間	約 18 時間
HL			約 160 時間	約 12 時間	約 24時間
XP			約 71時間	約 5 時間 15 分	約 10 時間 30 分
SP			約 142時間	約 10 時間 30 分	約 21 時間
LP			約 284時間	約 21 時間	約 42時間
EP			約 566時間 （約 426時間）	約42 時間 （約31 時間 30 分）	約84 時間 （約63 時間）

録画モード ＼ ディスク	DVD-RAM 片面(4.7 GB)	DVD-RAM 両面(9.4 GB)	DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層) (8.5 GB)	DVD-RW (4.7 GB)
HG	約 42 分	約 1 時間 24 分	約 42 分	約 1 時間 20 分	—
HX	約 1 時間 5 分	約 2 時間 10 分	約 1 時間 5 分	約 2 時間	
HE	約 1 時間 40 分	約 3 時間 20 分	約 1 時間 40 分	約 3 時間	
HL	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分	約4時間 10 分	
XP	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分	約1時間
SP	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分	約2時間
LP	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分	約4時間
EP	約8時間 （約6時間）	約16時間 （約12時間）	約8時間 （約6時間）	約14時間20分 （約10時間45分）	約8時間 （約6時間）

●HDD 写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
●RAM 両面ディスクの場合、連続記録・再生はできません。
●EP モードは**初期設定**「EP時の記録時間」**(➜111)**の設定で記録時間は異なります。[()内の時間は EP(6 時間)のとき]
・「6時間」の方が高音質です。
・RAM(VR) EP(8時間)モードで記録した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6時間)モードで記録してください。

上記の表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。(HDD RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL では、特にその差が著しくなります)残量に余裕がある状態で記録してください。
●DR モードの録画時間は放送(転送レート)によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
●HG、HX、HE、HLモードで録画した場合、番組の内容によってはDRモードで録画するよりも使用容量が大きくなることがあります。

画質と記録時間について
スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード(例:HE、HL や EP)で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や XP など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

記録の制限について

ワイド放送など16:9 映像の記録	●**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」のとき - アナログ放送や外部入力から録画する - ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)から HDD にダビングする - VHS から HDD にダビングする ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録時 ↓ **初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜111)の設定に従って記録されます**※ ※ VHS からのダビングでは、「オート」の場合、4:3 で記録されます。
デジタル放送の4:3 映像の記録	左右の黒帯のついた 16:9 映像として記録されます。
標準画質でのデジタル放送の記録	放送によっては、「DR」モードよりも他の録画モードで記録するほうが、容量が大きくなる場合があります。
音声多重放送の記録	設定やディスクによって、記録できる音声は異なります。**(詳しくは ➜40)**
ハイビジョン画質やサラウンド音声の記録	録画モードによって、記録できる内容は異なります。**(詳しくは ➜36)**

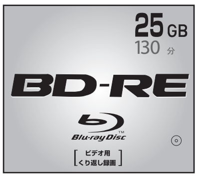
デジタル放送の録画とダビング

● 10 ～ 1 表示のある番組

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。(2008 年 8 月現在)

HDD に録画した番組のコピー制限が「ダビング 10」の場合は、10 を、「1 回だけ録画可能」の場合は、1 を表示します。（ディスクに録画した場合は ✕ が表示され、HDD に番組のダビングはできません）

ブルーレイディスクの場合：



市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD の場合：

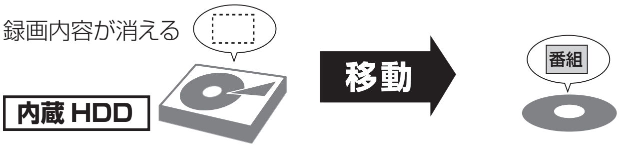
●**記録するディスクは、著作権保護技術を持った CPRM に対応している必要があります。**



パッケージに
CPRM対応 の記載のある
ディスクを準備してください。
（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

10 ～ 1 はダビングの残り可能回数を表します。

1 の番組をディスクへダビングすると、HDD の番組は消去されます。（複製はできません）



・プロテクト(➜56)を設定した番組はダビングできません。
・ディスクからHDDへの移動はできません。
・当社製のブルーレイディスクや CPRM対応の DVD のご使用をお勧めします。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

CATV などからの録画とダビング

外部入力(L1)で接続した CATV などから本機に録画する場合：

●コピー制限のある番組は、著作権保護の規定により BD-RE BD-R には直接録画やダビングはできません。当社製の CPRM 対応の DVD を VR 方式でフォーマットしてお使いになることをお勧めします。

多重音声の記録について

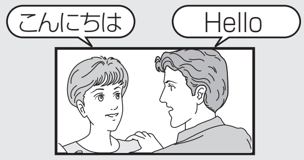
海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

多重音声の種類

現在、主に放送されている多重音声には以下の種類があります。

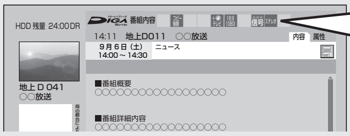
デジタル放送のマルチ音声
複数の音声が含まれる

デジタル放送の二重音声　アナログ放送の二重音声
1つの音声の中に主音声と副音声が含まれる



録画する放送の音声を見分けるには…

番組表（Gガイド）の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。



信号 :マルチ音声
主+副 :二重音声

番組を視聴中のときは、
[音声]を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の二ヵ国語放送を記録する場合

	記録先	デジタル放送のマルチ音声	デジタル放送の二重音声	アナログ放送の二重音声
両方の音声を記録するには	HDD ブルーレイディスク	DR モードを選ぶ	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます	**「高速ダビング用録画」(➜111)**を「切」にして記録する
	DVD	両方の音声を記録することはできません。 ●記録する音声を選ぶには **(➜ 下記)**	RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) を使う	RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を使う ●予約時は、**「高速ダビング用録画」(➜111)**を「切」にしてください。
片方の音声のみ記録するには	HDD ブルーレイディスク	HG、HX、HE、HL、XP、SP、LP、EP、FR モードを選ぶ	― （両方の音声を記録します）	**「高速ダビング用録画」(➜111)**を「入」にして記録する
 ●記録する音声を選ぶには **(➜ 下記)**	DVD	RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) を使う	― （両方の音声を記録します）	-R(V) -R DL(V) -RW(V) を使う

		デジタル放送のマルチ音声	アナログ放送の二重音声
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」**(➜17)**の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」**(➜28)**の「音声」	「二重放送音声記録」**(➜113)** ●**外部入力から二重音声を録画する場合** ・外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定 ・録画前に、「外部入力の音声」**(➜113)**で「二重音声」を選ぶ ●**VHS からダビングする場合** 設定どおりに正しく記録されない場合があります。 ・ダビング前に VHS 側で [**音声**] を押して、記録したい音声に切り換えておく
	ダビング時	**再生設定**「信号切換」**(➜50)**の「音声」で音声を選び、「再生中番組の保存」**(➜72)**でダビング	

再生する(HDD/ ディスク)

HDD **BD-RE** **BD-R** **BD-V** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW** **DVD-V** **AVCHD**

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)
- ディスクを再生する場合は、ディスクを入れる。

記録可能なディスクを入れると、下記の画面が表示されます。

例) **RAM**



[▲][▼]で「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記「録画した番組を再生する」手順3に進むことができます。

1 **[HDD]または[BD/SD/VHS]を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ**

- DVD を再生するときは「BD」を選んでください。

2 **[再生]を押す**

HDD	:最後に停止した位置から再生
BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW**	:最初に記録された番組から再生
BD-V **DVD-V**	:ディスクが指定した位置から再生

- ただし、続き再生メモリー機能(➜46「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。
(**BD-V** **DVD-V** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります)

録画した番組を再生する

お知らせ

- ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクでハイビジョン画質の番組を再生するには、**初期設定**「AVCHD優先モード」を「切」にしてください。(➜111)

☞ **録画一覧について**(➜43)

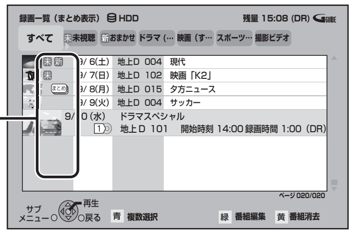
1 **[HDD]または[BD/SD/VHS]を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ**

- DVD を再生するときは「BD」を選んでください。

2  **を押す**

3 **番組を選び、[決定]を押す**





表示マーク(➜134)

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

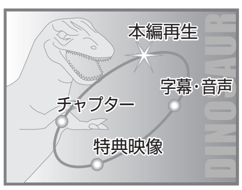
お知らせ

- **BD-V** 市販の映画などが記録された BD ビデオは、DRモード以外で録画中に再生することはできません。また、再生中に DR モード以外の予約録画が始まると再生を終了します。

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

項目を選び、[決定]を押す





☞ **メニュー画面を表示させるには**

BD-V 再生中:[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中:[録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
([サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

☞ **ポップアップメニューを表示させるには**

BD-V 再生中:[録画一覧]を押す

録画
再生
多重音声の記録について/再生する(HDD/ディスク)

撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) を再生する

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影し、ハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクや SD カードを再生することができます。

お知らせ

- ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、**初期設定**「AVCHD 優先モード」を「入」にしてください。(➔111)
- 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- SD 録画中に再生する場合、DR モードで録画中のみ再生できます。

1 ディスクまたはSDカードを入れる

2 「撮影ビデオ(AVCHD)を見る」を選び、決定を押す



例) RAM



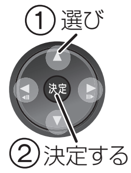
例) SD



- 再生するディスクや SD カードのトップメニューが、
  - ・作成されている場合　　:トップメニュー画面を表示
  - ・作成されていない場合　:撮影ビデオ (AVCHD) 一覧画面を表示※

  ※撮影した機器によっては、撮影ビデオ (AVCHD) 一覧画面を表示できない場合があります。

3 タイトルを選び、決定を押す



トップメニューや撮影ビデオ(AVCHD)一覧が表示されないときは
「ダイレクト再生」(➔47)を使って再生してください。

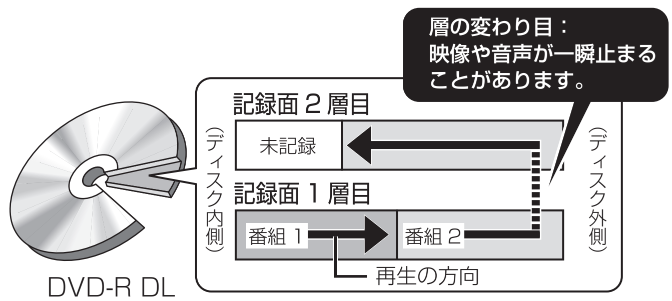
録画しながら再生するには(➔21)

映像が縦に引き伸ばされているとき(4:3映像で記録されているとき)
初期設定「TVアスペクト」(➔114)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

暗証番号の入力画面が出たとき
設定した暗証番号を入力し、[決定] を押してください。

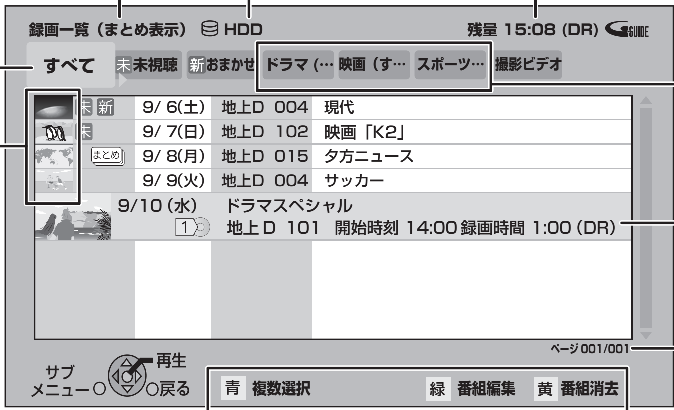
お知らせ

- ディスクによっては、再生が始まるまで時間がかかることがあります。
- DRモードの番組は、番組の切り換わり部分や、編集を行った部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■停止] を押して停止させてください。
- -R DL 記録面が片面に 2層あります。1層目に収まらなかった番組は、2つの層にまたがって記録されます。(➔下図「番組 2」)
  通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。



録画一覧について

例）HDD



- 表示状態
- 選択中のメディア
- 残量/録画モード
- 選択中のラベル
- HDD 表示される画像を変更することができます。（➜56「サムネイル変更」）
  - ●ダビング中や録画中または録画後すぐには表示されない場合があります。ディスクの場合、画像は表示されません。
- 表示するジャンルを変更することができます。（➜44「分類ラベル設定」）
- 選択中の番組
- ページ数
  - ●[|◀◀] [▶▶|] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。
- リモコンのボタンのはたらき

録画した番組をラベルから探す

HDD

録画した番組は、番組の内容によって自動的に以下のラベルに分類されるため、たくさんの番組の中から見たい番組を探すのに便利です。

[◀] [▶] でラベルを選ぶ

すべて	すべての番組
未 未視聴	録画してまだ見ていない番組（ 未 が表示された番組） ●再生後は、「 未 未視聴」から除外されます。
新 おまかせ	「新番組おまかせ録画」(➜34)で録画された番組（ 新 が表示された番組） ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新 おまかせ」から除外されます。
映画、ドラマ、スポーツなどの「ジャンル」	録画した番組の番組情報をもとに、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 表示するジャンルは変更することができます。**(➜44「分類ラベル設定」)** ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
撮影ビデオ	ディスクや SD カードから取り込まれたハイビジョン動画 (AVCHD) (➜84)

録画一覧について (つづき)

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

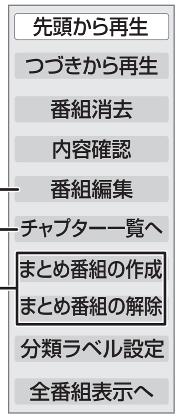
録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

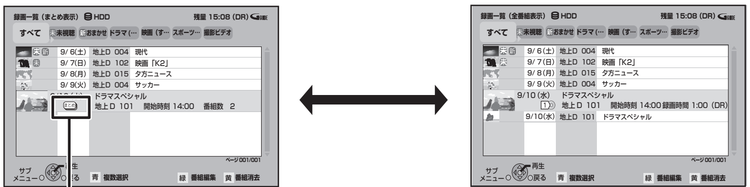
1 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、サブメニュー(S) を押す

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから [サブ メニュー] を押してください。

2 [▲][▼] で項目を選び、決定 を押す(➜ 下記へ)



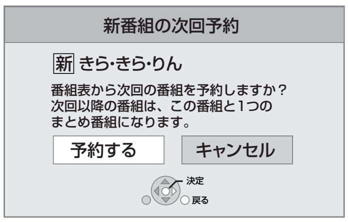
先頭から再生 / つづきから再生	HDD	続き再生メモリー機能(➜46)が働いているときに、番組を前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
番組消去		**消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。**消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀][▶] で「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認		番組名、録画日、チャンネル、ジャンル情報などの確認ができます。 **画面を消すには** [決定] を押す
分類ラベル設定 ●ジャンルのラベル(映画、ドラマ、スポーツなど)のみ	HDD	録画一覧に表示するラベルのジャンルを変更することができます。 **[▲][▼] で項目を選び、[決定] を押す** ●この操作を繰り返し、分類項目を絞り込みます。
全番組表示へ まとめ表示へ	HDD	全番組表示とまとめ表示を切り換えます。 まとめ表示: 毎日・毎週予約などで録画した番組をまとめて表示 全番組表示: すべての番組を一覧表示 まとめ 番組を選び、決定 を押すと、まとめ 番組内の番組を一覧表示します。



新 マークの番組の再生

「新番組おまかせ録画」で録画された番組を再生し、停止した場合、予約画面が表示されます。

下記の操作を行うと、新 の表示は消えます。



引き続き予約する

1 [◀][▶] で「予約する」を選び、決定 を押す

●番組表 (G ガイド) が表示され、次回放送分の番組が選ばれた状態になります。(番組によっては正しく選ばれない場合がありますので、予約したい番組が選ばれているか確認してください)

2 予約の操作を行う(➜22 手順 2 へ)

●手順 5 の番組予約画面では、「毎週予約する」と「毎日予約する」の項目が表示されます。

まとめ 番組の再生

HDD

番組を選んで再生する

1 [▲][▼][◀][▶] で まとめ 番組を選び、決定を押す

2 [▲][▼] で再生する番組を選び、決定 を押す

●選んだ番組を再生します。

番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ表示中に [▲][▼][◀][▶] で まとめ 番組を選び、再生 を押す

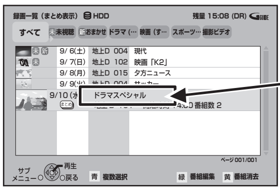
● まとめ 番組内の番組を連続で再生します。

まとめ 番組の番組名について

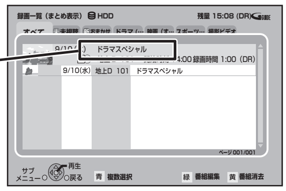
HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

まとめ表示



まとめ番組一覧



「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➜56)

●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます。

●番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

HDD

●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます

録画一覧（まとめ表示）またはまとめ番組一覧上で

1 [▲][▼] で番組を選び、青 を押す

● ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

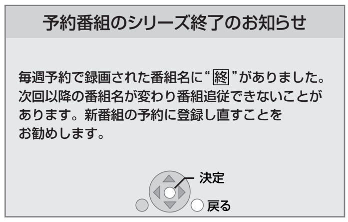
2 すべて選んだあと、サブメニュー S を押す

3 [▲][▼]で項目を選び、決定を押す(➜ 下記へ)

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1つにまとめます。 **[◀][▶] で「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **[◀][▶] で「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。（まとめ番組一覧表示のとき） **[◀][▶] で「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

毎日・毎週予約していた連続ドラマが終了したとき

お知らせ画面が表示されます。
このまま予約を続けると、次の新しい番組も同じ まとめ 番組に入ります。
予約一覧画面で「シリーズ終了」マークがある予約を取り消すことをお勧めします。



再生する (HDD/ ディスク)(つづき)

再生中のいろいろな操作

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

停止	[■ 停止] を押す	**続き再生メモリー機能** 止めた位置を一時的に記憶します。 [▶ 再生] を押すと、止めた位置から再生します。 ●HDD :番組ごとに止めた位置を記憶しますので、前回見た続きから見ることができます。 ●ディスク:前回止めた位置のみを記憶します。 ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。 ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。 ●電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
一時停止(静止画)	[❚❚ 一時停止] を押す	●もう一度押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し(サーチ)	[◀◀ サーチ/スロー] または [▶▶ サーチ/スロー] を押す	押すごとに、または押し続けると速度が速くなります(5段階)。 ●[▶ 再生] で通常再生に戻ります。 ●早送り1速時のみ音声が出ます。 ●ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。 ●BD-V 早送り・早戻し中は、主映像のみ再生します。
スキップ	再生中または一時停止中に [スキップ/頭出し ❙◀◀] または [スキップ/頭出し ▶▶❙] を押す	押した回数だけ番組や場面を飛び越します。 ●チャプターマーク(➜60)がある場合は、その場面に飛びます。 ●HDD 番組を飛び越しません。ただし、まとめ再生中(➜45)は、[まとめ] 番組内の番組を飛び越します。
30秒先へスキップする	[30秒スキップ] を押す	押すごとに、約30秒飛び越して再生します。 ●BD-V DVD-V ディスクによっては正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3倍速）	[再生]**を約１秒以上押す**	通常よりも速い速度で再生します。 ●もう一度[▶ **再生**]を押すと、通常再生に戻ります。 ● -RW できません。（ファイナライズしたあとでも、できません） ●DR、HG、HX、HE、HL モードの番組や BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) AVCHD の場合、映像がなめらかに再生されないときがあります。 ● BD-V 早見再生中は、主映像のみ再生します。
スロー再生	**一時停止中に** [◀◀ サーチ/スロー]**または**[▶▶ サーチ/スロー]**を押す**	押すごとに速度が速くなります（5段階）。 ●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD では、送り方向のみ働きます。 ●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。（BD-V DVD-V AVCHD 一時停止しません） ● BD-V スロー再生中は、主映像のみ再生します。
コマ送り/コマ戻し	**一時停止中に** [決定]**（左または右）を押す** （[◀❚❚]または[❚❚▶]を押す）	押すごとに1コマずつ送り（戻し）ます。 ●押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。 ●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD コマ戻しはできません。 ● BD-V コマ送り中は、主映像のみ再生します。
ダイレクト再生 BD-V DVD-V AVCHD	停止中（下の画面表示中）はタイトルを、再生中はチャプターを再生します。 [1 あ @.]～[10 記号]**（ふた内部）を押して、タイトルやチャプターの番号を入力する** DVD-V 2 けた入力　例）5：[10]➜[5]、15：[1]➜[5] BD-V AVCHD 3 けた入力　例）5：[10]➜[10]➜[5]、15：[10]➜[1]➜[5] ● AVCHD 撮影ビデオ（AVCHD）一覧が表示されているときは、働きません。 	
時間を指定して飛び越す（タイムワープ） ● BD-V DVD-V AVCHD できません	**1** [12 改行 ＊タイムワープ]**（ふた内部）を押す** **2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、**[決定]**を押す** **飛び越し時間表示**　約5秒間表示  ●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度[**12/ タイムワープ**]を押してください。 ●[▲][▼]を押すごとに１分ずつ（押し続けると 10分ずつ）送り[▲]、戻し[▼]します。	

再生する (HDD/ ディスク)(つづき)

再生中のいろいろな操作（つづき）

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

☞ **操作方法(➜16)**

音声の切り換え

[音声]（ふた内部）を押す

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

音声L → 音声R → 音声LR

BD-V DVD-V AVCHD

音声情報 1日 Digital 2/0ch

(➜50「言語」)

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

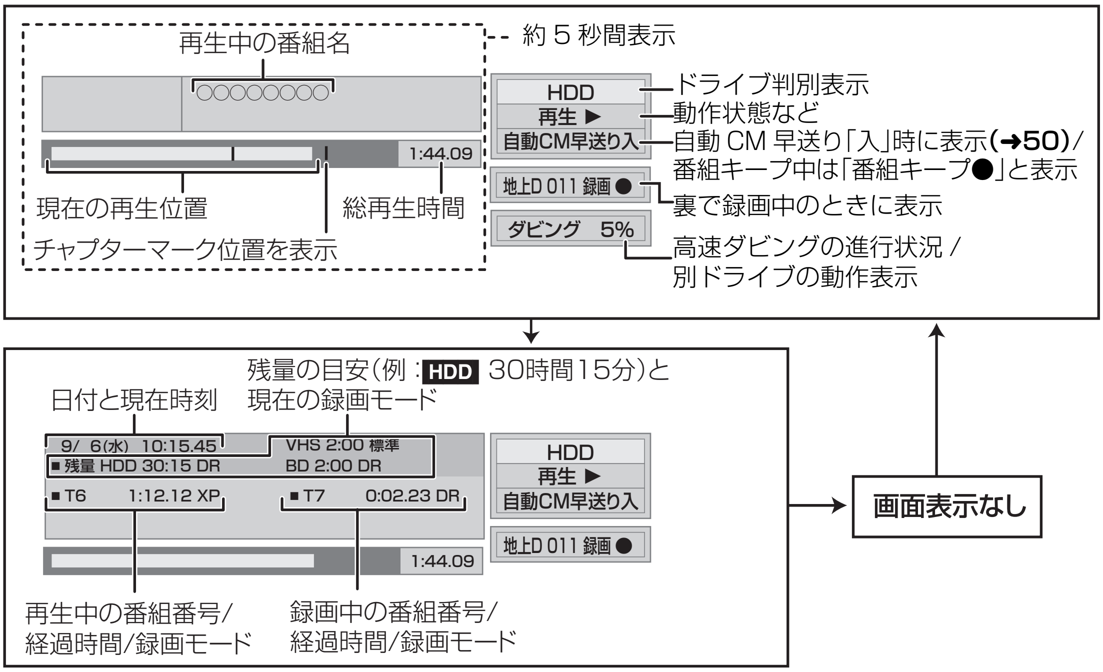
操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

[画面表示]（ふた内部）を押す

●押すごとに切り換わります。

例) HDD



●**残量表示について**

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。(DR モードでは、特にそのばらつきが大きくなります)

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

準備 ●再生可能なディスクを入れる。

1 停止中に、[スタート]を押す

2 [▲][▼]で「BD/DVD ディスク」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「プレイリストを見る」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼][◀][▶]でプレイリストを選び、[決定]を押す

☞ **前の画面に戻るには**

[戻る]を押す

☞ **画面を消すには**

[戻る]を数回押す

BONUSVIEW 対応の BD ビデオを楽しむには

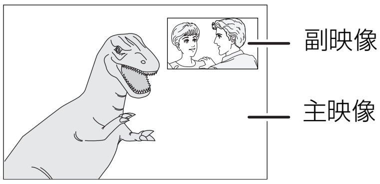
本機は、BD ビデオの新しい再生機能である BONUSVIEW™（BD-ROM version 2 Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile）に対応しています。

- BONUSVIEW™　対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明をご覧いただきお楽しみください。

副映像のあるディスクを楽しむ

例）



- 副映像の音声を出力する場合、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」**(➔112)**を「入」にしてください。

☞ **副映像が表示されないときは**

再生設定「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**(➔50)**
- ただし、ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。

お知らせ

- BD ビデオの規格には、SD カードなどと連携して楽しむ機能があります。このようなディスクをお楽しみになる場合は、ディスクに添付の説明をよくご覧いただき、お楽しみください。
- 上記のようなディスクでお楽しみになられたあと、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**(➔97、手順 4 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)**

再生する (HDD/ ディスク)(つづき)

信号切換や再生方法の設定などをする

設定の基本操作

1 再生中に

[再生設定](ふた内部)を押す

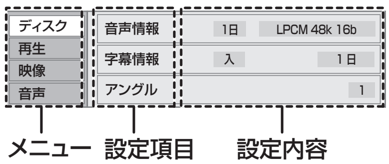
●ディスクにより設定項目は異なります。

2 [▲][▼]でメニューを選び、[▶]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定を変える

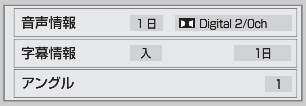
例) DVD-V



設定を終了するには

[再生設定] を押す

ディスク独自の機能の設定(ディスク)



映像情報

● AVCHD 情報の表示のみ

音声情報※

● DVD-V AVCHD 音声や言語を選びます。(➜下記「音声属性/言語」)

● HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW 音声属性表示のみ

信号切換

[決定] を押して、さらに設定します。

● HDD BD-RE BD-R (DRモードの番組のみ) 映像や音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

▶ マルチビュー
▶ 映像
▶ 音声
▶ 二重音声
▶ 字幕(オン/オフ)
▶ 字幕言語(日本語/英語)

● BD-V

▶ 主映像
　·映像情報
　·音声情報
▶ 副映像
　·映像情報(入 / 切)
　·音声情報(入 / 切)

字幕情報※

● BD-V DVD-V AVCHD 字幕表示の入/切や、言語を選びます。(➜下記「言語」)

● HDD (DRモード以外の番組のみ) RAM -R -R DL -RW 入/切のみ (他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます)

音声チャンネル

● HDD (DRモード以外の番組のみ) RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) 音声(L/R)を切り換えます。

字幕スタイル

● BD-V ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

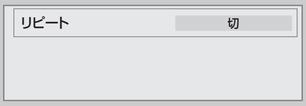
アングル※

● BD-V DVD-V アングルを選びます。

※ ディスクに収録されているメニュー画面(➜41)でのみ切り換えできるものもあります。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法の設定(再生)



リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)

●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

▶ **番組**　:番組全体
▶ **タイトル**　:タイトル全体
▶ **チャプター**　:チャプター
▶ **プレイリスト**:プレイリスト
▶ **全曲**　:ディスク全体
▶ **1曲**　:選んだ曲のみ

ランダム(音楽再生時のみ)

●順不同に再生します。

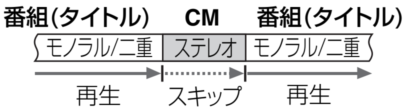
▶ 切
▶ 入

自動CM早送り

● HDD BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

CMを自動的に飛ばして再生します。

音声が下記の場合のみ働きます。



·録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
　例:上図のCM部分が5分以上の場合など
·以下の場合は働きません。
　- DR モードの番組
　- 外部入力から録画した番組
·設定した内容は電源を切っても保持されます。

〈音声属性〉

LPCM/ⅮⅮDigital/ⅮⅮDigital+/ⅮⅮTrueHD/
DTS-HD MSTR/DTS-HD HI RES/DTS-HD LBR/DTS/
MPEG/AAC:信号タイプ
ch:チャンネル数
k:サンプリング周波数(kHz)
b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語
独:ドイツ語	伊:イタリア語	西:スペイン語
蘭:オランダ語	中:中国語	露:ロシア語
韓:韓国語	*:その他	

お好みの画質の設定（映像）

画質選択	ノーマル
HDオプティマイザー	入
プログレッシブ	Auto

画質選択

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

再生時の画質を選びます。

- ▶ **ノーマル**：標準
- ▶ **ソフト**：ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン**：輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ**：映画鑑賞向け（DR モードの番組には効果がありません）
- ▶ **ユーザー**：さらに画質を調整
  [▶]で「詳細画質設定」を選び、**[決定]**を押す
  - ·**コントラスト**（白黒の強弱）
  - ·**ブライトネス**（画面全体の明るさ）
  - ·**シャープネス**（鮮やかさ）
  - ·**カラー**（色の濃さ）
  - ·**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭）

HDオプティマイザー

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ(➜138)

以下の場合に、プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- ●**初期設定**「D 端子出力解像度」(➜114)を「D2」にして録画した番組を再生、または DVD-V を再生するとき
- ●**初期設定**「HDMI映像優先モード」(➜114)が「切」のとき

●プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- ▶**Auto**（標準）：フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換
- ▶**Video**：Autoでぶれが生じるとき

お好みの音声効果の設定（音声）

音質効果	切
シネマボイス	切

音質効果

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V CD AVCHD

リ.マスター

（サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ）

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。またHDMI端子またはデジタル音声出力端子に接続した AV アンプなどの機器がサンプリング周波数 88.2 kHz 以上の入力に対応している場合は、復元される高音域がさらに拡張されます。

サラウンド（2チャンネル以上の音声のみ）

フロントスピーカー（L/R）だけで音の臨場感を出します。

- ·接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
- ·本機で録音した二重音声には働きません。
- · CD 音楽には働きません。

ナイトサラウンド

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声をお楽しみいただけます。

- ▶ **リ.マスター強**
- ▶ **リ.マスター標準**
- ▶ **サラウンド強**
- ▶ **サラウンド標準**
- ▶ **ナイトサラウンド**
- ▶ **切**

- ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- ●再生する内容によっては、効果がない場合があります。
- ●リ.マスター、サラウンドやナイトサラウンドを同時に設定することはできません。
- ●リ．マスターとサラウンドの設定は HDMI 出力やデジタル音声出力時には、**初期設定**「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜112)（ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります）

シネマボイス

● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

●センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを 2 倍に大きくしてセリフを聞き取りやすくします。

再生する (VHS)

準備
- ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ1など）
- ●カセットを入れる。

お知らせ
- ●誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“OFF”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。

1 [BD/SD/VHS] を押して、「VHS」を選ぶ

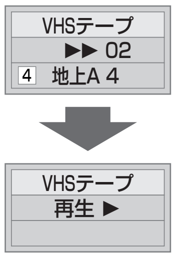
2 [▶再生] を押す



テープ残量を確認するには
[画面表示] を 2 回押す

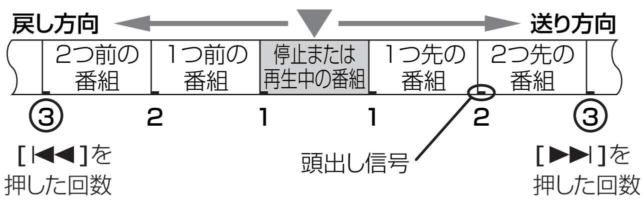
<table>
<tr><td rowspan="1">S-VHS/D-VHS
カセットの再生</td><td colspan="2">SQPB(S-VHS 簡易再生)機能
●S-VHS方式で録画されたSVHSカセットは再生することができますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。
●D-VHS方式でデジタル録画されたDVHSカセットは再生できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">標準モード以外で
記録された
カセットの再生</td><td colspan="2">●他の機器で記録されたカセットを再生する場合、ノイズが出るときがあります。</td></tr>
<tr><td>5倍モードで
記録された
カセットの場合</td><td>●他の機器で記録されたカセットは、再生できません。
●一時停止やスロー再生時は、画面が乱れます。
●早送り / 巻き戻し再生時は、最高速にすると映像を見ることはできません。</td></tr>
<tr><td>プログレッシブ
対応テレビでの再生</td><td colspan="2">VHSの再生時にも、プログレッシブの映像でお楽しみいただけます。(プログレッシブ➜138)
●D端子(D4まで)と接続している場合：
・480p で出力されます。
・初期設定「D端子出力解像度」(➜114)が「D1」のときは、プログレッシブでは出力されません。
●HDMI端子と接続している場合：
・初期設定「HDMI出力解像度」の設定に従って出力されます。(➜114)</td></tr>
</table>

再生中のいろいろな操作

操作	方法	説明
停止	[■停止]を押す	
一時停止	[❚❚一時停止]を押す	●もう一度押すと、再生を再開します。 ●音声は出ません。
早送り/巻き戻し	停止中に [◀◀巻戻し サーチ/スロー]または[▶▶早送り サーチ/スロー]を押す	●テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。 ●高速で行うため、動作音が大きくなります。 ●[■停止]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
早送り/ 巻き戻し再生	[◀◀巻戻し サーチ/スロー]または[▶▶早送り サーチ/スロー]を押す (または押し続ける)	押すごとに速度が切り換わります。 標準モード　　:約9倍速⟷約13倍速 3倍·5倍モード:約27倍速⟷約43倍速 ●[▶ 再生]で通常再生に戻ります。 ●再生中に押し続けたときは、指を離すと通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。 ●最高速にすると映像が乱れる場合があります。 ●テープ位置によっては、速度が多少変わる場合があります。
スロー再生	[❚❚一時停止]を約2秒以上押し続ける	●[▶ 再生]で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
コマ送り	一時停止中に [❚❚▶]を押す	押すごとに1コマずつ送ります。 ●押し続けると、連続してコマ送りします。 ●[▶ 再生]で通常再生に戻ります。 ●コマ戻しはできません。
音声の切り換え	再生中の番組の音声を切り換えます。 [音声](ふた内部)を押す	ステレオの番組: ステレオ音声(音声LR)→音声L→音声R→ノーマル音声(L+R) 二重放送: 主音声+副音声→主音声→副音声→ノーマル音声(主音声) モノラルの番組: 音声L+音声R→音声L→音声R→ノーマル音声(モノラル)
頭出し	[⏮スキップ/頭出し]または[⏭スキップ/頭出し]を押す	本機でカセットにダビングすると、ダビング開始点と番組の切り換わり時に頭出し信号が記録されます。これを使って頭出しすることができます。 押した回数だけ先の(前の)番組を再生します。 

お知らせ（頭出し）

●最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
●頭出し信号どうしの間隔が短い場合は、正しく頭出しできないことがあります。記録は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。



●テープとヘッドの保護のため、早送り/巻き戻し再生·スロー再生の場合は約10分以上、一時停止の場合は約5分以上続けると、その操作を停止します。

再生
再生する(VHS)

再生する (VHS)(つづき)

再生中のいろいろな操作(つづき)

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

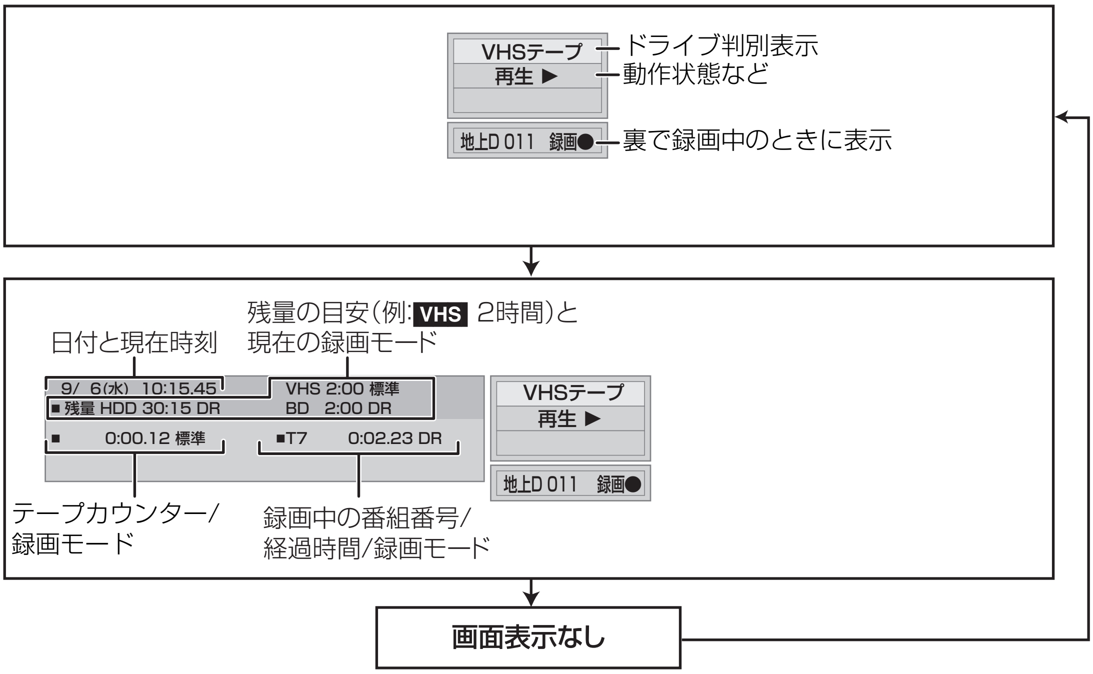
操作方法(➜16)

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

[画面表示] (ふた内部)を押す

●押すごとに切り換わります。



●**残量表示について**

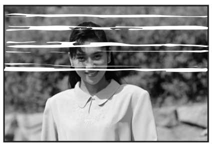
・テープ残量は、再生などの操作後に計算されます。表示されるまで多少時間がかかる場合があります。

・**初期設定**「テープの長さ」(**➜112**)を正しく合わせていないときや、品質の悪いカセットを使ったときは、正しい表示になりません。

●VHSの再生時に **[リセット/消去]** を押すと、テープカウンターの値が「0:00.00」になります。

再生画面のノイズを調整する

本機は、白い帯状のノイズが出るときなど自動的にトラッキングを調整します。
ただし、カセットによっては自動調整に時間がかかったり、調整できないことがあります。
このような場合、手動で調整してください。

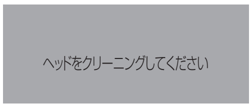


トラッキングの調整	再生中に **チャンネル（トラッキング＋－）（[∧]または[∨]）を** **ノイズが消えるまで押し続ける**	●[チャンネル∧,∨]を同時に押すと、自動調整に戻ります。 お知らせ ●調整しすぎると、音声がノーマル音声に変わる場合があります。 ●カセットによっては、調整しきれない場合があります。 ●静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、スロー再生状態でトラッキング調整を行ってください。
静止画面が上下にゆれるとき	一時停止中に **チャンネル（トラッキング＋－）（[∧]または[∨]）を** **ゆれが止まるまで押し続ける**	静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。 ●[チャンネル∧,∨]を同時に押すと、元の状態に戻ります。

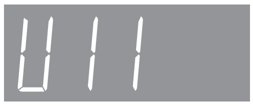
ビデオヘッドのクリーニング

再生中、テレビ画面に下図のような表示が出たときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。またこのとき、本体表示窓に"U11"が表示されます。

テレビ画面



本体表示窓



乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➜準備編 裏表紙)を入れ、

1 [▶再生]を押して、再生する

2 約10秒後に[■停止]を押す

●テープカウンターは動きません。
●このあと、記録済みのカセットを入れて再生してみてください。
●3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

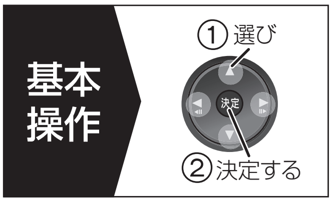
番組を編集する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW**
[ファイナライズしたディスクやハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクでは編集できません]

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)
- [HDD] または [BD/SD/VHS] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ。



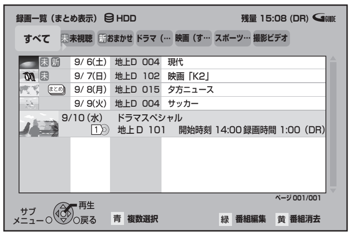
1 [録画一覧] を押す



2 番組を選び、[緑] を押す

- [サブメニュー] を押して、「番組編集」を選んでもできます。

例) **HDD**



複数の番組を選択するには
(「プロテクト設定 / 解除」のみ可能)
番組を選び、[青] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

3 項目を選び、[決定] を押す (➜右記へ)

例) **HDD**

- 番組名編集
- プロテクト設定
- プロテクト解除
- 部分消去
- 番組分割
- サムネイル変更
- 録画モード変換 (➜58)

番組名を付ける / 変更する
番組名編集

誤消去防止の設定/解除
プロテクト設定 / 解除
- **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** ではできません

番組の不要な部分の消去
部分消去
- **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** ではできません

番組を2つに分割
番組分割
- **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** ではできません

録画一覧やトップメニューで表示される画像(サムネイル)の変更
サムネイル変更

HDD **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)**

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

画面を消すには
[録画一覧] を押す

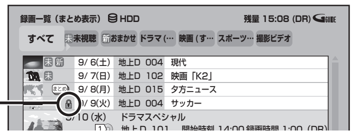


お知らせ
- 「録画モード変換」(➜58)が設定されている番組は、「番組分割」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 他の機器で作成したプレイリストがある場合、その元になる番組を編集すると、プレイリストは変更されます。
- **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜113)が「入」の場合、録画一覧画面を表示中に、約 10 分以上本機の操作を何も行わなかったときは、録画一覧画面は消えます。
- **BD-R** **-R(VR)** **-R(AVCREC)** **-R DL(VR)** **-R DL(AVCREC)** 編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあとにダビングすることをお勧めします。

☞ **文字入力については(➜100)**
- 新 の表示がある番組は変更できません。
- まとめ 番組の番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す



🔒プロテクト設定すると表示

部分消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。部分消去してよいか確認してから行ってください。

4 ▶再生 を押して、再生を始める

5 「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で 決定 を押す

6 ▶再生 を押して、再生を始める

7 「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で 決定 を押す

8 続けて別の不要な部分を設定する場合 (20 区間まで設定できます)

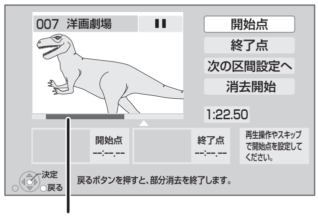
「次の区間設定へ」を選び、決定 を押す(➜手順 5 へ)

●「次の区間設定へ」を選ぶと、すでに設定した区間の変更はできなくなります。

9 「消去開始」を選び、決定 を押す

10 「実行」を選び、決定 を押す

●部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。



黒い部分が消去される部分です。開始点を含む場面から終了点の直前までを消去します。

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

4 「分割」を選び、分割する場面※で 決定 を押す

☞ **分割する場面を確認するには**

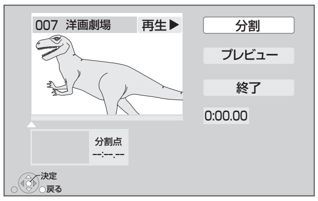
「プレビュー」を選び、[決定] を押す

・分割する場面の前後10秒間が再生されます。

☞ **分割する場面を選び直すには**

① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める

② 分割する場面で、[決定] を押す



5 「終了」を選び、決定 を押す

6 「分割」を選び、決定 を押す

●分割した番組は、まとめ 番組になります。

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」で確認のうえ、実行してください。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のトップメニュー画面で表示される画像を変更することができます。(➜99)

HDD 「サムネイル変更」の設定は、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビングを行ったときのみ保持されます。

4 ▶再生 を押して、再生を始める

5 「変更」を選び、お好みの場面※で 決定 を押す

☞ **場面を選び直すには**

① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める

② お好みの場面で、[決定] を押す

6 「終了」を選び、決定 を押す



※編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜46、47)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [❚❚一時停止] を押し、[◀❚❚] [❚❚▶] を押して場面を調整する

56 ページ手順 1 ～3で「録画モード変換」を選んだあとに操作します。

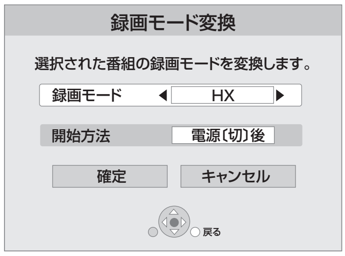
録画モードの変換

録画モード変換

HDD

●DRモードの番組のみ

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。
録画モードを変換すると、HDD の容量をおさえることができます。
（録画モードと記録時間の目安 ➔37）



4 [◀][▶] で録画モードを選ぶ

5 [▼] で「開始方法」を選び、[◀][▶] で開始方法を設定する

- **すぐに**：「確定」後すぐに、変換を開始します。
  変換中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- **電源 [切] 後**：電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

6 [▲][▼][◀][▶] で「確定」を選び、(決定) を押す

7 「すぐに」変換を開始する場合：

[◀][▶] で「開始」を選び、(決定) を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」変換を開始する場合：

(決定) を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **56 ページ手順３**で「録画モード変換」を選ぶ
② **[◀][▶]** で「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す
- **設定変更**：設定を変更します。**（➔手順 4 へ）**
- **設定取消**：設定を取り消します。

録画モード変換が終了しているか確認するには



録画一覧画面で「DR → ○○（変換する録画モード）」が表示されている場合、変換は終了していません。

お知らせ

- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- 変換後は、DR モードに戻すことはできません。
- 複数の映像や音声などを含む番組を変換する場合、変換後の映像や音声は 1 つだけになります。
  記録する映像や音声を選んで変換したい場合、以下のようにしてください。
  ① 番組を再生し、**再生設定**「信号切換」**（➔50）**で変換したい音声などを選ぶ
  ② 番組の再生を停止する
  ③ 上記手順 **5** で、「すぐに」を選び、変換を開始する
- 「電源 [切] 後」を選んで変換する場合、電源「切」時の**再生設定**「信号切換」の設定で変換を実行します。

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW**

消去すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

準備

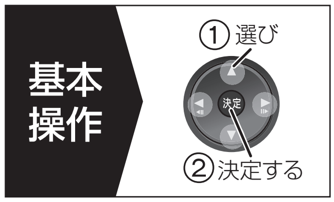
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）
- ディスクを消去する場合は、ディスクを入れる。

消去後のディスクの残量について

- **HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW(VR)**
  消去すると、消去した分、残量が増えます。
- **-RW(V)**
  最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	･･･	最後に記録した番組	残量

- **BD-R** **-R** **-R DL**
  消去しても残量は増えません。

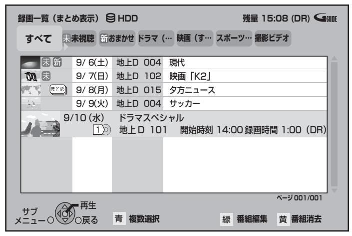


1 [HDD] または [BD/SD /VHS] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- DVD の場合は、「BD」を選んでください。

2  を押す

例）**HDD**



3

１番組のみ消去する場合：

番組を選び、[黄] を押す

複数の番組を消去する場合：

1 番組を選び、[青] を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

2 [黄] を押す

4 「消去」を選び、[決定] を押す

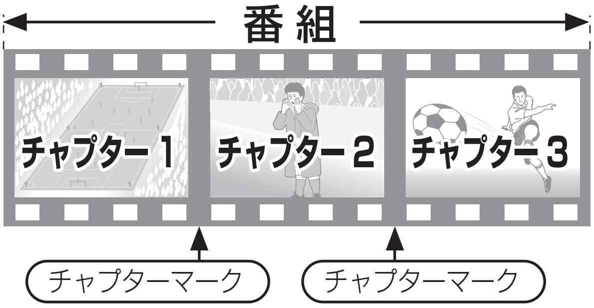
チャプターの作成・再生・編集

HDD

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

チャプターとは：チャプターマークで区切られた区間のことです。
番組のお気に入りの場面などにチャプターマークを作成すると、スキップ(➜46)したときに、その場面に飛ぶことができます。



チャプターマークで区切られた区間がチャプターになります。

最大チャプターマーク数
（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）
HDD ：1 番組あたり約 999 個
BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)：ディスクあたり約 999 個
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ：1 番組あたり約 100 個

チャプターの自動作成について
- **初期設定**「自動チャプター」(➜111)を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。（1 番組あたり最大 98 個）
- 自動 CM 早送り(➜50)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。（1 番組あたり最大 98 個）（DR モードで録画した番組には作成されません）
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ
- HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能(➜46)や「サムネイル変更」(➜56)ができなくなります。
- HDD 作成されたチャプターマークは、ダビングしても保持されます。ただし、最大チャプターマーク数を越えると、越えた分は保持されません。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

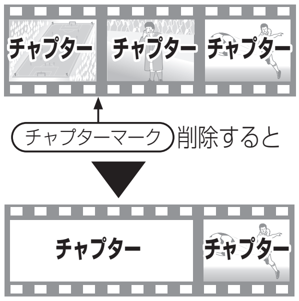
[チャプターマーク] を押す



削除

一時停止中に

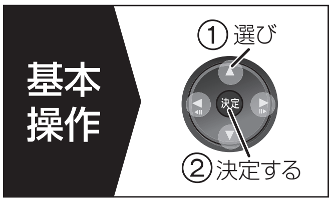
1. **[スキップ/頭出し ⏮] または [スキップ/頭出し ⏭] を押して、削除したい場面に飛ぶ**
2. **[チャプターマーク] を押す**
3. **[◀][▶]で「はい」を選び、[決定] を押す**



前後のチャプターが結合されます。

お知らせ
- BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) 作成や削除を何度も繰り返すと、ディスクに記録や編集ができなくなる場合があります。

チャプターを再生・編集する



1 **[録画一覧] を押す**

2 **番組を選び、[サブメニュー] を押す**

3 **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**

4 作成する:

[緑] を押す

(➜右記「チャプターマークの作成」へ)

再生する:

チャプターを選び、[決定] を押す

編集する:

チャプターを選び、[サブメニュー] を押す

(➜ 手順５へ)



複数のチャプターを選択するには

(「チャプター消去」のみ可能)

チャプターを選び、[青] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

5 **編集する項目を選び、[決定] を押す**

(➜右記へ)

チャプター消去
チャプター結合

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

チャプターマークの作成

「チャプター一覧」からチャプターマークの作成をすることができます。



再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

[チャプターマーク] を押す

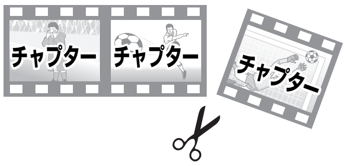
削除するには

① 一時停止中に [⏮] [⏭] を押して、削除したい場面を選ぶ
② **[チャプターマーク]** を押す
③ 「はい」を選び、**[決定]** を押す

チャプター部分の消去

チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。



元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから実行してください。

「消去」を選び、[決定] を押す

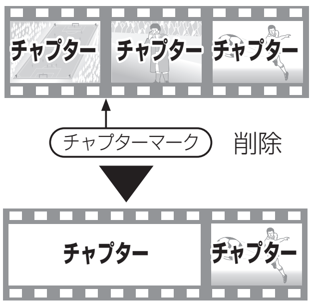
チャプターをすべて消去すると、その番組自身も消去されます。

チャプターの結合

(チャプターマークの削除)

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。
番組の録画内容が消去されることはありません。



前後のチャプターが結合されます。

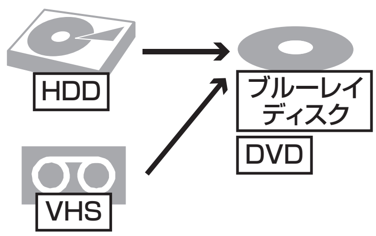
「結合」を選び、[決定] を押す

ダビングについて

おまかせダビング

難しい設定なしに、HDDまたはVHSの番組をダビングできます。

ダビングできる方向

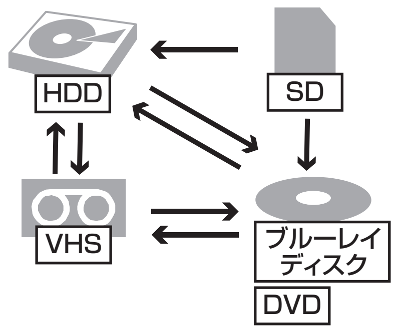


操作方法は ➜64、73

詳細ダビング

お好みの設定で番組のダビングができます。

ダビングできる方向



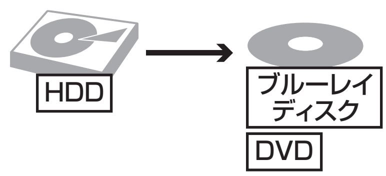
SD MPEG2動画はブルーレイディスクにダビングできません。

操作方法は ➜68～71、74～75

再生中番組の保存

HDDで再生中の番組を、ディスクへダビングすることができます。

ダビングできる方向



操作方法は ➜72

撮影ビデオ(AVCHD)を取込

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラから撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を取り込むことができます。

ダビングできる方向

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW、+R、+R DL、+RW ➜ HDD

SD ➜ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)

操作方法は ➜84

ダビング方向について

■番組をダビングする場合

どこからダビング？	記録方式は？	どこへダビング？	記録方式は？	可能なダビング方法は？	ダビング速度は？
HDD	–	BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW	記録方式にかかわらず DVDの場合、デジタル放送は、CPRM対応のディスクを準備してください。	再生中番組の保存 (➜72) おまかせダビング (➜64) 詳細ダビング (➜68)	高速または1倍速 (➜79「高速でダビングできない場合」)
BD-RE BD-R	–	HDD	–	詳細ダビング (➜68)	1倍速
RAM -R -R DL -RW	VR方式	HDD	–	詳細ダビング (➜68)	高速
	AVCREC方式（-RW を除く）				1倍速
	ビデオ方式（ファイナライズ前）（RAM を除く）	ダビングできません			
	ビデオ方式（ファイナライズ後）（RAM を除く）	HDD	–	詳細ダビング (➜70)	1倍速

■MPEG2 動画またはハイビジョン動画 (AVCHD) をダビングする場合

どこからダビング？	記録方式は？	どこへダビング？	記録方式は？	可能なダビング方法は？	ダビング速度は？
SD (MPEG2)	–	HDD	–	詳細ダビング (➔71)	高速
		BD-RE BD-R	–	ダビングできません	
		RAM -R -R DL -RW	VR 方式	詳細ダビング (➔71)	高速
			ビデオ方式（RAM を除く）AVCREC 方式（-RW を除く）	ダビングできません	
AVCHD ● RAM -R -R DL -RW +R、+R DL、+RWに記録されたハイビジョン動画	–	HDD	–	撮影ビデオ (AVCHD) を取込 (➔84)	高速
AVCHD ● SD に記録されたハイビジョン動画	–	HDD	–		
		BD-RE BD-R	–		
		RAM -R -R DL -RW	AVCREC 方式（-RW を除く）		
			VR 方式 ビデオ方式（RAM を除く）	ダビングできません	

■VHS からダビングするまたは VHS へダビングする場合

どこからダビング？	記録方式は？	どこへダビング？	記録方式は？	可能なダビング方法は？	ダビング速度は？
VHS	–	HDD	–	詳細ダビング (➔74)	1 倍速
		BD-RE BD-R	–	おまかせダビング (➔73) 詳細ダビング (➔74)	1 倍速
		RAM -R -R DL -RW	VR 方式		
			ビデオ方式（RAM を除く）		
			AVCREC 方式（-RW を除く）	ダビングできません	
HDD BD-RE BD-R	–	VHS	–	詳細ダビング (➔68)	1 倍速
RAM -R -R DL -RW	VR 方式 AVCREC 方式（-RW を除く）	VHS	–		
	ビデオ方式（ファイナライズ前）（RAM を除く）	ダビングできません			
	ビデオ方式（ファイナライズ後）（RAM を除く）	VHS	–	詳細ダビング (➔70)	1 倍速
SD (MPEG2) AVCHD	–	VHS	ダビングできません		

番組をダビングする

おまかせダビング

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW**

HDDにある番組をディスクにダビングします。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）

- **-R(V)** **-R(AVCREC)** **-R DL(V)** **-R DL(AVCREC)** **-RW(V)** へダビングすると、自動的にファイナライズを行い、記録や編集はできなくなります。ファイナライズを行わずにダビングしたい場合、詳細ダビングを行ってください。(➜68)

DR モードの番組について
- ブルーレイディスクの場合、そのまま高速でダビングできます。
- DVD の場合、高速でダビングできません。あらかじめ「録画モード変換」(➜58)でDRモード以外にしておくと、高速でダビングできるようになります。

ダビングする画質について

HD 表示のある番組:
- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。
  BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **-R DL(AVCREC)**
- 以下のディスクには標準画質でのダビングになります。
  RAM(VR) **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW**

HD 表示のない番組:
- ディスクにかかわらず標準画質でのダビングになります。
  RAM(AVCREC) **-R(AVCREC)** **-R DL(AVCREC)** にはダビングできません。

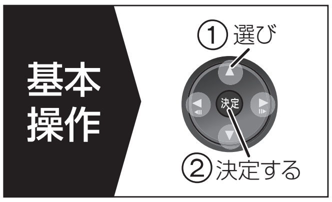
ダビングを中止するには

［戻る］を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。

お知らせ
- ダビング中は録画や再生はできません。

必要に応じて ご覧ください ➡ 78 ～ 79 ページ

1 ディスクを入れる



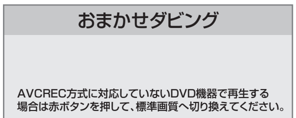
2 「おまかせダビング」を選び、［決定］を押す

例）**RAM**



ディスクの記録方式が確認できます。

RAM **-R** **-R DL** 新品や未フォーマットのみ画質の切り換えの確認画面が表示されます。



- ハイビジョン画質でダビングする場合：[決定] を押す
- 標準画質でダビングする場合：[赤] を押す

3 １番組のみダビングする場合:

番組を選び、［決定］を押す

複数の番組をダビングする場合:

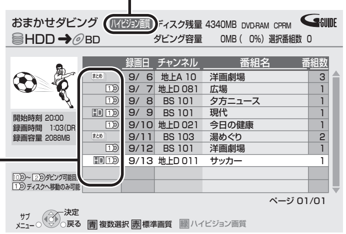
1 番組を選び、［青］を押す
- ☑が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

2 ［決定］を押す

- 挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

例）まとめ表示

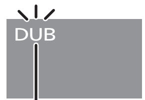
ダビングする画質（➜66）



表示マーク（➜136）
- 10 ～ 1 : DVD の場合、CPRM 対応ディスクを準備してください。**-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** にはダビングできません。
- HD : DR、HG、HX、HE、HL モードで録画した番組

4 「ダビング開始」を選び、［決定］を押す

本体表示窓　点灯



ダビングが終わると消灯

おまかせダビングのここがおまかせ!



自動フォーマット 記録方式の設定をします	**フォーマットとは** 新品のディスクなどを本機で記録できるように処理することです。DVDの場合、フォーマットすることでディスクの記録方式を設定します。 **通常は** ダビング前にフォーマットして記録方式を設定しないといけません。	**おまかせダビングだと** **ダビングしたい番組に合わせて自動的にフォーマットします** 未フォーマットのディスクの自動フォーマット ➜66
自動ファイナライズ	**ファイナライズとは** 記録したディスクを他の機器で再生できるように処理することです。ただし、記録や編集はできなくなります。 **通常は** ディスクによっては、ダビング後にファイナライズする必要があります。	**おまかせダビングだと** -R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) **自動的にファイナライズします** ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) は、DVD機器で再生できるようになります。 他の機器で再生できるようにする ➜99

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられています。
本機ではそのような番組には、10 ～ 1 マークがついています。

10 ～ 1 マークの番組をダビングするには…



ブルーレイディスクの場合:

市販のディスクをそのままお使いください。



DVDの場合:

パッケージに

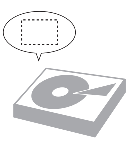
CPRM対応

の記載のあるディスクを準備してください。
(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

CPRMとは? デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

10 ～ 1 マークの番組をディスクへダビングすると…

10 ～ 1 の数字はダビングできる残り回数を表しています。



1 の番組をダビングすると
HDDから消去されます。

(2008年8月現在)

デジタル放送を記録したDVDの他の機器での再生について

デジタル放送を記録するには、記録するディスクや記録方式などに条件があります。そのため、再生機器にも条件が必要です。(➜79)

おまかせダビング（つづき）

ダビングする画質

挿入されたディスクの記録方式を自動的に判別し、画質を設定します。
-RW はハイビジョン画質を選択できません。（画質の表示もされません）

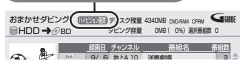
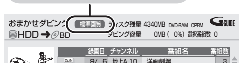
ブルーレイディスクは… ➡ 標準画質 ハイビジョン画質 どちらもダビングできます。
（画質は表示されません）

DVDが…
- VR方式/ビデオ方式 ➡ 標準画質
- AVCREC方式 ➡ ハイビジョン画質
- 未フォーマット ➡ 標準画質 ハイビジョン画質 選択できます。

画質を選択する
●未フォーマットの RAM -R -R DL

赤 または 緑 を押す

ハイビジョン画質 ⟷ 標準画質

未フォーマットのディスクの自動フォーマット
（記録方式の設定）

未フォーマットのディスクは自動的にフォーマットします。
また DVD の場合、以下のように記録方式を設定します。

ダビングする画質	ダビングする番組とディスク		設定される記録方式
標準画質	●-R -R DL -RW にダビングするとき、ダビングするすべての番組に 10 ～ 1 が表示されていない	➡	ビデオ方式
	●ダビングする番組に 10 ～ 1 が表示されている番組を 1 つでも含んでいる	➡	VR 方式
ハイビジョン画質		➡	AVCREC 方式

ダビング時の動作

ダビングする番組		ダビング先ディスク	ダビング先ディスクの記録方式	ダビング時の動作	
				ダビング速度	ダビング画質（録画モード）
HD 表示のある番組	DR モード	ブルーレイディスク	―	高速※1	ダビングする番組と同じ※1
		DVD	AVCREC	1 倍速	残量に合わせてHG、HX、HE、HL ※2
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
	HG、HX、HE、HL モード	ブルーレイディスク	―	高速	ダビングする番組と同じ
		DVD	AVCREC	高速	ダビングする番組と同じ
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
HD 表示のない番組	▶▶◎ 表示のある番組	ブルーレイディスク	―	1 倍速	FR
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR、ビデオ	高速※3	ダビングする番組と同じ
	▶▶◎ 表示のない番組	ブルーレイディスク	―	1 倍速	FR
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR	高速※3	ダビングする番組と同じ
			ビデオ	1 倍速	FR

※１　ディスクの容量を越えてダビングする場合や、HG、HX、HE、HL モードの番組とまとめてダビングし残量が足りない場合は、残量に合わせて「HG」「HX」「HE」「HL」モードの中から 1 つを選び、1 倍速でダビングします。
※２　HG、HX、HE、HL モードの番組とまとめてダビングする場合、残量に合わせて「HG」「HX」「HE」「HL」モードの中から 1 つを選び、ダビングします。
※３　HD 表示のある番組とまとめてダビングする場合や、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に ▶▶◎ 表示のない番組とまとめてダビングすると、1 倍速（FR モード）になります。

● RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW に容量を超えてダビングする場合、1 倍速（FR モード）になります。

FR モードでのダビング
ディスクの容量を使い切るように「XP」～「EP」の中から自動的に最適な画質でダビングします。ダビングしたディスクは残量がなくなる場合があります。

● -RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」（➔99）を行ってダビングします。

ダビングの便利な機能

番組の内容や並び替えなど

おまかせダビング

詳細ダビング

おまかせダビング画面上またはリスト作成画面上で

1 [▲][▼]で番組を選び、サブメニュー(S) を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定) を押す（➜ 下記へ）

例）おまかせダビング



内容確認	●選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。 （番組に ☑ が付いているときはできません）
並び替え HDD ●全番組表示時のみ	●表示順を変更します。（番組に ☑ が付いているときはできません） ●おまかせダビングでは、画面を消すと取り消されます。 ●詳細ダビングでは、画面を消すか、リスト登録画面の「リスト作成」に戻ると取り消されます。
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD	●まとめ表示と全番組表示を切り換えます。 （番組に ☑ が付いているときはできません）
標準画質 おまかせダビング	●未フォーマットの RAM -R -R DL は、ダビングする画質を選択できます。 **[▲][▼]で「標準画質へ切換」を選び、[決定]を押す**
ハイビジョン画質 おまかせダビング	●未フォーマットの RAM -R -R DL は、ダビングする画質を選択できます。 **[▲][▼]で「ハイビジョン画質へ切換」を選び、[決定]を押す**

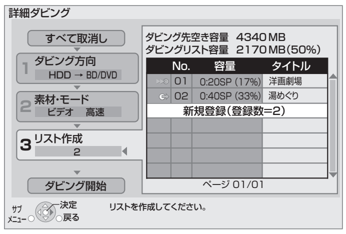
リスト登録時の便利機能

詳細ダビング

リスト登録画面上で

1 [▲][▼]で番組や写真を選び、サブメニュー(S) を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定) を押す（➜ 下記へ）



リスト全消去	リストに登録されている番組や写真をすべて消去します。
追加	選んだ項目の上に新しい項目を追加します。 **[▲][▼]([◀][▶])**で追加する番組や写真を選び、**[決定]**を押してください。
消去	選んだ項目を消去します。
移動	選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。 **[▲][▼]**で移動先を選び、**[決定]**を押してください。 （「写真」ではできません）
リスト項目の入れ替え	リスト登録画面上で ① **[▲][▼]で番組や写真を選び、[決定]を押す** ② **[▲][▼]([◀][▶])で新たに登録したい番組や写真を選び、[決定] を押す**
登録されたリストや設定を一度に取り消す すべて取消し	リスト登録画面上で ① **[▲][▼][◀][▶]で「すべて取消し」を選び、[決定]を押す** ② **[◀][▶] で「はい」を選び、[決定]を押す** ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、SDカードを取り出したとき

番組をダビングする（つづき）

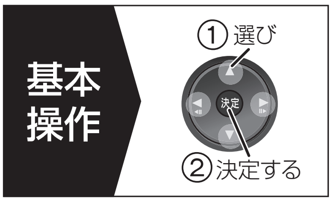
詳細ダビング

ダビング方向：

HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW VHS

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) ➡ HDD VHS

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ1など）
- ダビング可能なディスクまたはカセットを入れる。
- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。**（➜96）**（デジタル放送を DVD にダビングする場合、VR 方式または AVCREC 方式にフォーマットしてください）
- VHS にダビングする場合、カセットのダビング開始点で停止しておく。



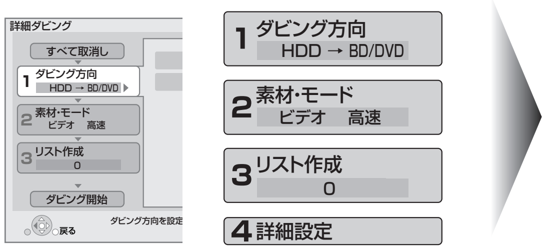
1 停止中に、  **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

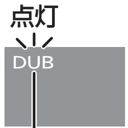
4 項目を選び、[▶]を押す（➜右記へ）





5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す



☞ 前の画面に戻るには

戻る を押す

☞ ダビング中にテレビの視聴やHDDの録画・再生をするには

（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

決定 を押して確認画面を消したあと、視聴や録画・再生の操作をする

- **[画面表示]** を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

例）



チャンネルが表示されたら録画や再生ができます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
（➜77「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」）

何から何にダビング？
1 ダビング方向

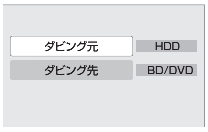
ダビング素材の設定／録画モードの設定
2 素材・モード
- 録画モードについて（HDD／ディスク➜36、VHS➜76）

ダビングする番組を選ぶ
3 リスト作成

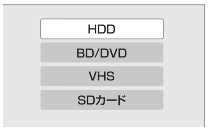
ファイナライズ
4 詳細設定
（-R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) へダビングするときのみ）

手順6で ディーガがしゃべる!

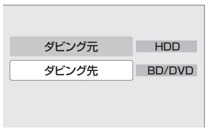
画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「BD/DVD」を選んだとき



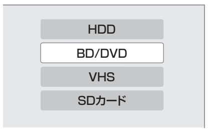
「ダビング元」を選び、決定を押す



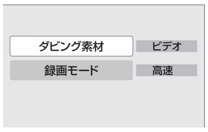
ダビング元を選び、決定を押す



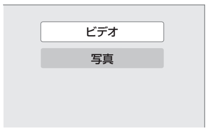
「ダビング先」を選び、決定を押す



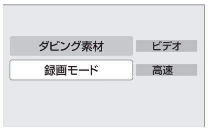
ダビング先を選び、決定を押す



「ダビング素材」を選び、決定を押す



「ビデオ」を選び、決定を押す



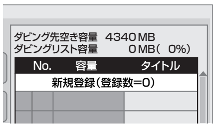
「録画モード」を選び、決定を押す



例) ダビング先「BD/DVD」

録画するモードを選び、決定を押す

- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
  (➜79「高速でダビングできない場合」)
- ダビング先が「VHS」のときは、録画モードは「標準」、「3倍」、「5倍」が選べます。



「新規登録」を選び、決定を押す



表示マーク(➜136)

番組を選び、青を押す

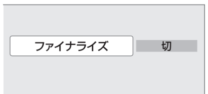
- ☑が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- 挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには
番組を選び、[青]を押す

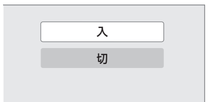
すべてを選んだあと、決定を押す

ダビングの便利な機能(➜67)

- 高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
- 高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、▶▶◎ 表示のある番組のみ登録できます。
- RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。



「ファイナライズ」を選び、決定を押す



「入」または「切」を選び、決定を押す

- 「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(➜137)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

「高速」以外を選ぶと1倍速でのダビングになります。



[◄]を押す
(➜68 手順4へ戻る)

ダビング

番組をダビングする(つづき)

お知らせ

- **ダビングリスト容量について**(ダビング先に記録される容量)
  - ・1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
  - ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
- 当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をHDDにダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。
- 1 倍速でダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。(VHS へのダビングを除く)
- HDD やディスクの番組を SD カードにダビングすることはできません。

番組をダビングする（つづき）

ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向： DVD-V （ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V)、+R、+ R DL、+RW） ➡ HDD VHS



トップメニュー画面
の操作もそのまま記
録されます。

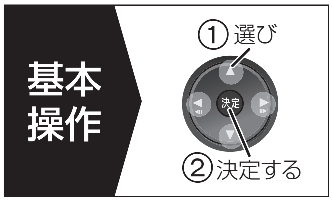
ダビング中、不要な番組などはスキップ（➔46）で飛び越すことができます。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ 1 など）
- ディスクを入れる。
- VHS にダビングする場合、カセットのダビング開始点で停止しておく。

お知らせ
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。（VHS へのダビングを除く）

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[戻る] を3秒以上押す



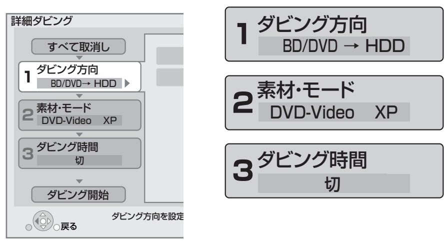
1 停止中に、[スタート] を押す

2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」（➔68）をご覧ください。



以下のように設定してください。
- **「ダビング方向」**：「ダビング元」➔「BD/DVD」
- **「素材・モード」**：「ダビング素材」➔「DVD-Video」
  ：「録画モード」を選ぶ
  （「高速」「HG」「HX」「HE」「HL」「FR」は選べません）
- **「ダビング時間」**：ダビング時間を設定する（➔71）

5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

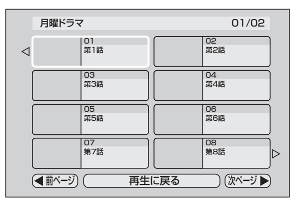
6 「はい」を選び、[決定] を押す

終了するまでが 1 番組になります。
（8 時間を超える場合は、8 時間ごとに 1 番組になります）

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。



7 ダビングしたい番組の再生を始める

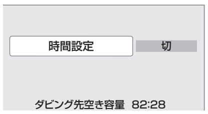
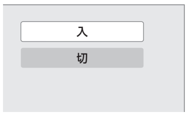
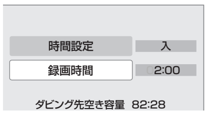


トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[決定] を押す

好みの番組を再生するには
① [録画一覧] を押す
② 番組を選び、[決定] を押す

ディスクの再生が始まらない場合は
① [▶ 再生] を押す
② （トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[決定] を押す

手順6で ディーガがしゃべる!

ダビング時間の設定	
ダビング時間 （70 ページ手順４のあと）	 「時間設定」を選び、決定を押す →  「入」または「切」を選び、決定を押す →  左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定を押す →  “時間”または“分”を選び［▲］［▼］で設定し、決定を押す
	●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。 **「時間設定」を「切」にしたときは** ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

手順5で ディーガがしゃべる!

SDカードのMPEG2動画をダビングする

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をダビングできます。

ダビング方向：SD（MPEG2）➡ HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）
- DVDにダビングする場合、DVD を入れる。
- DVD にダビングするには、フォーマットをして記録方式を VR 方式にしてください。（➜96）

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で１番組になります。
- SDカードにあるMPEG2動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。
- SDカードのMPEG2動画はBDには直接ダビングできません。いったん HDD にダビングしてから、BD にダビングしてください。

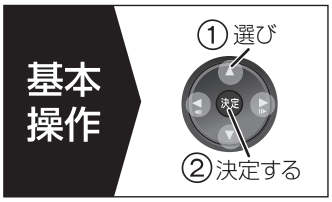
前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

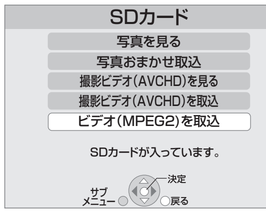
戻る を３秒以上押す

（➜77「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」）



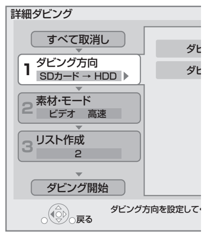
1 停止中に、SD カードを入れる

2 「ビ デ オ(MPEG2)を 取 込」を選び、決定を押す



3 項目を選び、［▶］を押す

●操作方法は「詳細ダビング」（➜68）をご覧ください。



以下のように設定されているかご確認ください。

・**「ダビング方向」**：「ダビング元」➜「SDカード」

・**「素材・モード」**：「ダビング素材」➜「ビデオ」

・録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

●SDカード内にあるMPEG2動画は、自動的にダビングリストへ登録されます。

4 「ダビング開始」を選び、決定を押す

5 「はい」を選び、決定を押す

ダビング

番組をダビングする（つづき）

番組をダビングする(つづき)

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中に、その番組だけをディスクへダビングすることができます。
●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向： HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)
- ダビング可能なディスクを入れる。
- フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜96)(デジタル放送を DVD にダビングする場合、VR 方式または AVCREC 方式にフォーマットしてください)

お知らせ

- 1倍速でダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

ダビング中にテレビの視聴や HDDの録画・再生をするには(高速ダビング時のみ)

決定 を押して確認画面を消したあと、視聴や録画･再生の操作をする

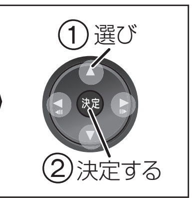
- [画面表示] を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

(➜77「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」)

基本操作



1 ダビングしたい番組を再生する

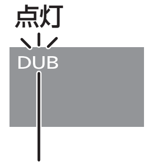
複数の映像や音声、字幕情報を含んでいる DR モードの番組を BD-RE BD-R 以外にダビングする場合、**再生設定**「信号切換」(**➜50**)でダビングする音声などを選んでからダビングしてください。

2 サブメニュー S を押す

- ビエラリンク (HDMI)(**➜102**)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 **[サブ メニュー]** を押してください。

3 「再生中番組の 保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す



再生中番組の保存時の動作について

ダビングする番組		ダビング先ディスク	ダビング先ディスクの記録方式	ダビング時の動作：ダビング速度	ダビング時の動作：ダビング画質(録画モード)
DR モードの番組		ブルーレイディスク	—	高速※1	ダビングする番組と同じ※2
		DVD	AVCREC	1 倍速	残量に合わせて HG、HX、HE、HL
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
HG、HX、HE、HL モードの番組		ブルーレイディスク	—	高速	ダビングする番組と同じ
		DVD	AVCREC	高速	ダビングする番組と同じ
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
XP、SP、LP、EP、FR モードの番組	「高速ダビング用録画」を「入」で録画	ブルーレイディスク	—	1 倍速	再生中番組の録画モード※3
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR、ビデオ	高速※1	ダビングする番組と同じ※3
	「高速ダビング用録画」を「切」で録画	ブルーレイディスク	—	1 倍速	再生中番組の録画モード※3
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR	高速※1	ダビングする番組と同じ※3
			ビデオ	1 倍速	再生中番組の録画モード※3

※ 1 ディスクに容量を越えてダビングする場合、1 倍速になります。
※ 2 ディスクに容量を越えてダビングする場合、HG、HX、HE または HL モードになります。
※ 3 ディスクに容量を越えてダビングする場合、FR モードになります。

VHS からダビングする

おまかせダビング

ダビング方向：VHS ➡ BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
カセットに録画されている部分だけを、1 倍速（録画モード「FR」）でダビングします。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ1など）
- カセットを入れる。
- ダビング可能なディスクを入れる。

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
新品などの未フォーマットのディスクは、**自動的にフォーマット（➜137）**を行います。
DVD にダビングする場合、記録方式は以下のようになります。
- RAM　:VR 方式
- -R -R DL -RW : ビデオ方式

-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、**自動的にファイナライズ（➜137）**を行います。
DVD機器でも再生できるようになりますが、記録や編集はできなくなります。

-RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」**（➜99）**を行ってダビングします。

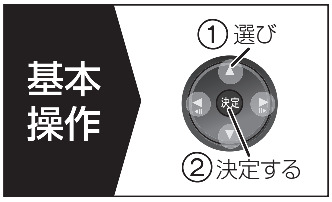
お知らせ
- 市販のビデオソフトのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- VHS から RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。
- ダビング中は、録画、再生または予約録画の実行はできません。
- VHS からダビングする場合、画質が悪くなる場合があります。
- ダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

前の画面に戻るには
戻る を押す

ダビング中の映像が乱れるときには（➜55）

ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
（➜77「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」）

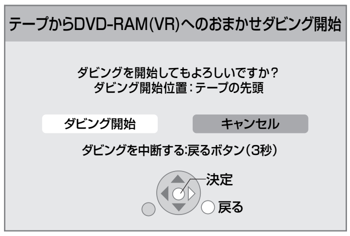
1 停止中に、スタート を押す



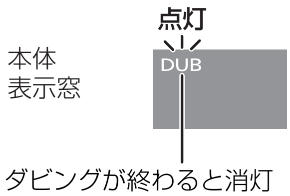
2 「VHS」を選び、決定 を押す

3 「ダビングする」を選び、決定 を押す

4 「ダビング開始」を選び、決定 を押す



- ダビング前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。（このとき、画面の背景が黒くなります）ダビング開始までに、時間がかかる場合があります。



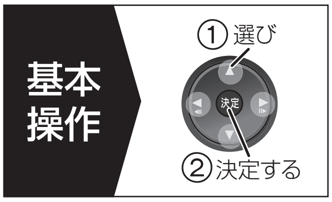
VHS からダビングする(つづき)

詳細ダビング

ダビング開始時のテープの停止位置からダビングします。
- テープの始端から終端まで全部をダビングする場合は、録画モード「FR(自動調整)」で「時間設定」を「切」にします。

ダビング方向 : VHS ➡ HDD BD-RE BD-R
RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ 1 など)
- ディスクにダビングする場合、ダビング可能なディスクを入れる。
- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➔96)(DVD にダビングする場合、VR 方式またはビデオ方式にフォーマットしてください)
- カセットを入れる。

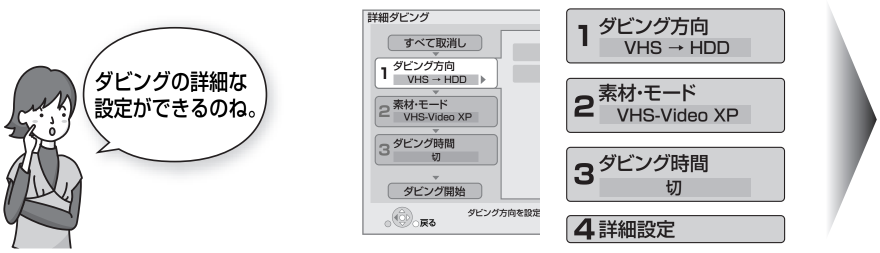


1 停止中に、[スタート] を押す

2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す

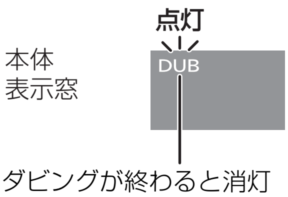
4 項目を選び、[▶] を押す (➔右記へ)



5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

6 「はい」を選び、[決定] を押す

- ダビングしたい番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。ただし、テープの終端になるか、ダビング先の残量がなくなると、自動的にダビングを終了します。



何から何にダビング?
1 ダビング方向

録画モードの設定
2 素材・モード
- 録画モードについて(HDD/ ディスク ➔36)

ダビング時間の設定
3 ダビング時間

ファイナライズ
4 詳細設定
(-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングするときのみ)

☞ 前の画面に戻るには
[戻る] を押す

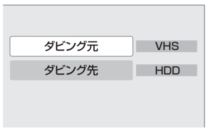
☞ ダビング中の映像が乱れるときには(➔55)

☞ ダビングを実行中に中止するには
[戻る] を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
(➔77「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

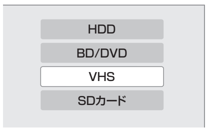
お知らせ
- 市販のビデオソフトのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- VHS から RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。
- ダビング中は、録画、再生または予約録画の実行はできません。
- VHS からダビングする場合、画質が悪くなる場合があります。
- ダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。



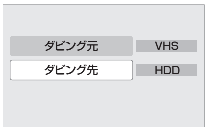
画面表示の例)ダビング元に「VHS」、ダビング先に「HDD」を選んだとき



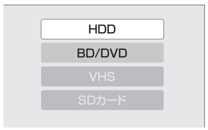
「ダビング元」を選び、決定を押す



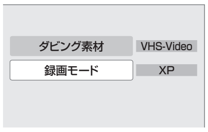
「VHS」を選び、決定を押す



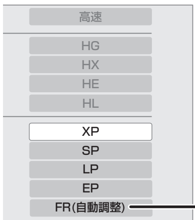
「ダビング先」を選び、決定を押す



ダビング先を選び、決定を押す



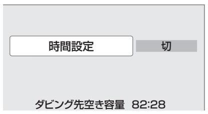
「録画モード」を選び、決定を押す



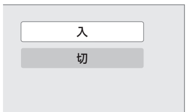
録画するモードを選び、決定を押す

FR(自動調整) ：ディスクの容量を使い切るようにXP ～ EP モード相当の画質に調整してダビングします。ダビングしたディスクは残量がなくなる場合があります。

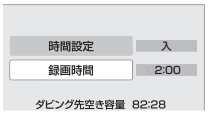
●ダビング素材は自動的に「VHS-Video」になり、変更はできません。
●「高速」「HG」「HX」「HE」「HL」は選べません。



「時間設定」を選び、決定を押す



「入」または「切」を選び、決定を押す



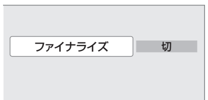
左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定を押す



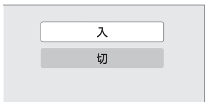
"時間"または"分"を選び[▲][▼]で設定し、決定を押す

●時間設定は、[1]～[10]も使えます。
●25時間を超えて設定することはできません。

「時間設定」を「切」にしたときは
●録画モードを「FR(自動調整)」以外に設定している場合、テープの終端になるか、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。



「ファイナライズ」を選び、決定を押す



「入」または「切」を選び、決定を押す

●「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(➜137)を行います。DVD機器でも再生できるようになりますが、記録や編集をすることはできなくなります。

[◄]を押す
(➜74 手順4へ戻る)

カセットに録画されている部分だけをすべてダビングするには

録画モード：「FR(自動調整)」/「時間設定」：「切」にしてください。

●カセットの記録時間を計算するため、ダビング前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。この計算でディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングは開始されません。
●テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します。

番組を分割せずに 1 番組になるようにダビングするには

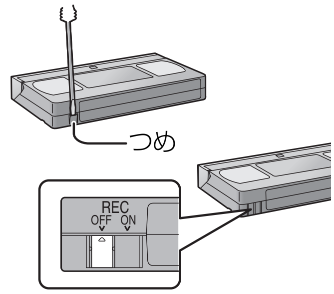
「時間設定」：「入」にしてください。

●カセットのダビング開始点から、設定した録画時間分だけを(未記録部分も)ダビングします。
●番組分割はしません。ただし、頭出し信号を検出するごとにチャプターマーク(➜60)が作成されます。

VHS からダビングする(つづき)

VHSを含んだダビングについて

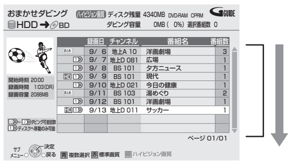
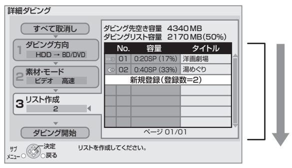
本機では、VHS、S VHS、D VHS マークの付いたカセットにダビングできます。

VHS の録画モードについて	**標準**:カセットに表示されている時間の記録ができます。 **3 倍 /5 倍**:標準に対してそれぞれ 3 倍、5 倍の記録ができます。 ●5 倍モードでダビングしたカセットは、他のビデオでは再生できません。 カセットのラベルに「5 倍」と記入するなどして、区別されることをお勧めします。 ●5倍モードでダビングした番組を、再びHDDやディスクにダビングすると、ノイズが入る場合があります。 ●他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードでダビングすることをお勧めします。 標準モード以外の場合、他のビデオで再生すると、ノイズが出る場合があります。
記録済みの番組を誤って消さないために	**カセットにある「つめ」を折る、またはつまみタイプのカセットはつまみを“OFF”にしてください。** ●折った部分にセロハンテープを二重にはる、またはつまみタイプのカセットはつまみを“ON”に戻すと、再び記録できます。 ●カセットの説明書もよくご覧ください。 
頭出し信号の書き込みと番組分割	**HDD/ ディスクから VHS へダビングすると、1 つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます** [ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)からダビングする場合を除く] ダビング後は、番組を頭出し(**➔53**)して探すことができます。 **VHSからHDD/ディスクへダビングすると、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します** 番組分割しないでダビングしたいときは、「時間設定」を「入」にしてダビングしてください。(**➔74「ダビング時間」**)頭出し信号を検出するごとにチャプターマーク(**➔60**)が作成されます。 ●約 15 分(5 倍モード時は約 25 分)以内の番組は、正しく分割されない場合があります。 ●頭出し信号の数によっては、記録時間が実際よりも多少長くなる場合があります。 ●分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。
HDD へダビングするときは	HDD へダビングした番組を、あとで HDD から -R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速モードでダビングしたい場合は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。 (お買い上げ時の設定は「入」です)
デジタル放送の番組のダビング	**カセットにダビングする場合は複製できます。(ダビングできる残り回数は減りません)** ただし、コピー制御信号が合わせて記録されます。再度、HDDやディスクへダビング(複製)するときは、コピー制御信号が記録された部分はダビング(複製)されません。 ●マクロビジョン(著作権保護技術)信号により正常にダビングできないことがあります。

カセットに関する質問

Q(質問)	A(回答)
S VHS や D VHS、S VHS C、VHS C カセットは使えるか?	●S VHS、D VHS 使用できますが、記録は VHS方式になります。 ●S VHS C 、VHS C カセットアダプター(別売)を使えば使用できますが、記録は VHS方式になります。 ●S-VHS方式で記録されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 ●デジタル(D-VHS)方式で記録された D VHS は再生できません。
海外で録画したカセットを再生できるか?	●NTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。

ダビングに関する質問

Q(質問)	A(回答)
ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？	例)番組A･B･Cの順にダビングして 番組Cの途中で中止した場合  高速 番組A･Bのみダビングされます。 番組 C はダビングされません。 1 倍速 番組A･Bと番組Cの途中までがダビングされます。 ただし ●HDDからディスクへのダビングで、番組Cがコピー制限のある番組 ･番組Cはダビング(移動)されず、HDDに残ります。 ●HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビング /VHS から DVD へダビング※ ･HDDに一時的に複製中：番組A･B･Cはダビングされません。 ･DVD に高速ダビング中：番組 C はダビングされません。 ※ VHS からのダビングの場合、HDDに複製された番組が残ります。 BD-R -R -R DL 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。
複数の番組を組み合わせてダビングする場合、順番はどうなる？	おまかせダビング  画面の上から順にダビング (登録した順にダビングはされません) 詳細ダビング  「No.」の順にダビング ●お好みの順にダビングしたい場合は、「詳細ダビング」で 1 つずつ番組を登録してください。
HDD/ ディスクへ複数の番組をダビングしたあと、再生するには？	**[録画一覧]** を押して番組を選んで再生してください。
市販の BDビデオからダビングできるか?	できません。
市販のビデオソフトや DVDビデオからダビングできるか?	市販されているほとんどのビデオソフトや DVD ビデオは、ダビング禁止処理がされています。その場合、ダビングできません。
ディスクに高速でダビングしたいときは？	●デジタル放送は、以下のようにダビングすると高速ダビングすることができます。 ･DR モードの番組： BD-RE BD-R にダビング ･HG、HX、HE、HL モードの番組： BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビング ･XP、SP、LP、EP、FR モードの番組： RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビング ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) アナログ放送は、**初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜111**)を「入」にしてHDDに録画すると、ディスクに高速ダビングできます。
お勧めのダビング方法は？	
1 回のダビングで複数の番組をダビングしたい	●簡単にダビングする場合：**おまかせダビング** ●好みの設定でダビングする場合： **詳細ダビング**
複数の映像や音声を含んだ DR モードの番組をダビングしたい	●**再生中番組の保存**
ダビング中に録画や再生をしたい	●1 番組のみダビングする場合： **再生中番組の保存** ●複数の番組をダビングする場合： **詳細ダビング** 高速でダビング中のときに HDD の録画や再生ができます。
ディスクの残量に合わせてダビングしたい	●**詳細ダビング** (録画モードを「FR」にしてダビングしてください) ･ダビングする番組数によっては、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。 ･ RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはできません。

ダビング速度について

本機では、ダビングする番組、ディスク、設定によって、高速でダビングできる場合と1倍速でのダビングになる場合があります。

	高速ダビング	1倍速ダビング
特徴	ダビングする番組の記録時間よりも短い時間で、画質(録画モード)を変えずにダビングします。	ダビングする番組の記録時間と同じ時間、またはそれ以上の時間をかけてダビングします。ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。
「サムネイル変更」の保持	○	×
「チャプターマーク」の保持	○※1	○※1
ダビング中の録画・再生	○(HDDの番組のみ)※2	×

※1 チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(ディスクあたり:999個 / 1番組あたり: -R(V) -R DL(V) -RW(V) 99個、BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 100個)を越えると、越えた分は保持されません。
※2 おまかせダビング中やファイナライズを含むダビング中、SDカードのMPEG2動画をダビング中、撮影ビデオ(AVCHD)の取込中はできません。
・追っかけ再生などはできません。
・写真の再生はできません。

高速でのダビング所要時間の目安(最高速時/JEITA測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	2X高速記録対応 BD-RE(片面2層) 所要時間	倍速	2X高速記録対応 BD-RE(1層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 BD-R(片面2層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 BD-R(1層) 所要時間	倍速
DR※	1時間	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約5分20秒	約11倍	約5分20秒	約11倍
HG		約12分	約5倍	約12分	約5倍	約4分	約15倍	約4分	約15倍
HX		約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍	約2分43秒	約22倍	約2分43秒	約22倍
HE		約5分	約12倍	約5分	約12倍	約1分49秒	約33倍	約1分49秒	約33倍
HL		約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍	約1分24秒	約43倍	約1分24秒	約43倍

※ 地上デジタル(約17 Mbps)の場合

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 所要時間	倍速	16X高速記録対応 DVD-R 所要時間	倍速	8X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 DVD-RW 所要時間	倍速
HG	1時間	約14分	約4倍	約8分30秒	約7倍	約18分30秒	約3倍	—	—
HX		約10分	約6倍	約6分	約10倍	約12分	約5倍	—	—
HE		約6分40秒	約9倍	約3分20秒	約18倍	約8分35秒	約7倍	—	—
HL		約5分	約12倍	約2分20秒	約25倍	約6分30秒	約9倍	—	—
XP		約12分	約5倍	約6分	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍
SP		約6分	約10倍	約3分	約20倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍
LP		約3分	約20倍	約1分30秒	約40倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍
EP(6時間)		約2分	約30倍	約1分	約60倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍
EP(8時間)		約1分30秒	約40倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍

● HDDに録画した1時間番組を、表に記載の高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合の最速値です。
ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間や速度が変わります。
● ディスクの倍速表示にかかわらず、DVD-Rは最大12X、DVD-R DLは最大4X、DVD-RWは最大4Xにしかなりません。
● HGモードでは、4.7 GBの RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ最大約42分までしか記録できません。上記は、比較のため算出したものです。
● ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

高速でダビングできない場合	**以下の場合、1倍速でのダビングになります。** ●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」モード以外の番組を BD-RE BD-R にダビング時 ●DR モードの番組を DVD にダビング時 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) に以下のダビング時 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」(➔111)を「切」にして、HDDに記録した番組を含むダビング ・HDD内の SDカードからダビングした MPEG2動画 ●詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にする ● VHS へのダビング、VHS からのダビング ● RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW (AVCREC 方式以外のディスク)に以下の番組をダビング時 ・HG、HX、HE、HL モードの番組　・HDD に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD) ● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) から HDD にダビング時 ●ディスクに取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)を HDD にダビング時
高速記録対応ディスクに高速ダビングする場合	動作音が気になるときは、**初期設定**「DVDの高速ダビング速度」(➔111)を「高速モード」または「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。
-R(V) -R DL(V) -RW(V) に1倍速でダビング / VHS から DVD にダビングする場合	1 倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。 以下の場合、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去(➔59)してからダビングしてください。 ●HDD の残量が少ないとき(使用するディスクによっては、HDD の残量が SP モードで最大４時間必要な場合があります) ●HDD 内の番組数とダビングする番組数の合計が 499 を超えるとき

デジタル放送を記録したDVDを他の機器で再生するには?

著作権保護のため、デジタル放送を記録するには、記録するディスクや記録方式などに条件があります。
そのため、そのディスクもすべての機器で再生できるわけではありません。
お使いの機器が以下の①～③に対応しているかご確認ください。

再生機器

① 記録したディスクの再生に対応していますか?



に対応している必要があります。

② 記録したディスクの記録方式の再生に対応していますか?

それぞれのディスクの

VR方式　AVCREC方式 **に対応している必要があります。**
(-RW は除く)

③ CPRM(デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術)
に対応していますか?

CPRMに対応している必要があります。

例えば

デジタル放送を


に VR方式 で記録した場合

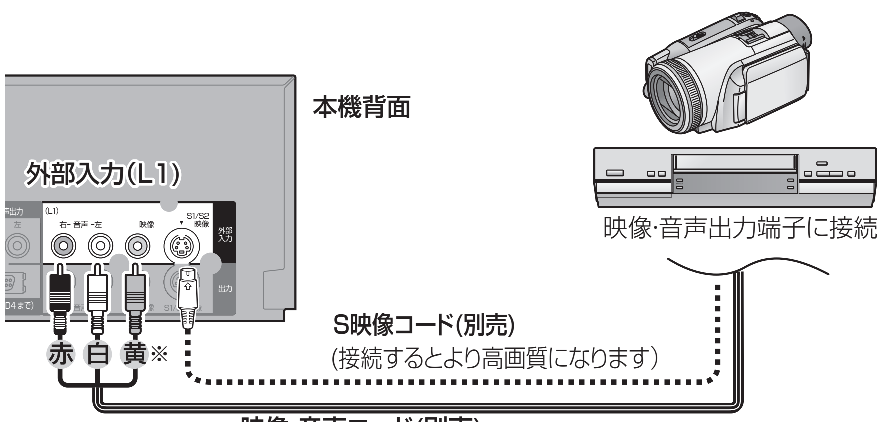
DVD-RのVR方式の再生に対応している必要があります。
- 機器によっては、DVD-Rの再生には対応していても
  VR方式の再生には対応していない場合があります。
  その場合は、再生できません。

- 再生する機器が対応しているかは、その機器の説明書をご覧ください。
- -R(VR) 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。(2008年8月現在)
  当社製のDVDプレーヤーなどでは、以下の機器で再生できます。(2008年8月現在)
  DVD-S50/DVD-LX87/DVD-LX88/DVD-LX89/DVD-LX97/DVD-LS80/DVD-LS81/DVD-LS83/DVD-LS91/NV-VP70

他のビデオやビデオカメラからダビングする

接続　外部入力

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。



※S映像コードを接続するときは、映像コード(黄)を抜いてください。

二重放送の音声を入力するときは
40ページ「多重音声の記録について」をご覧ください。

外部機器の音声出力端子がモノラルのときは
●ステレオ⟷モノラルの映像·音声コード(別売)をお使いください。

お知らせ

●「外部入力(L1)取込」中は
　·予約録画が始まると、ダビングを中断します。
　·追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
●ディスクにダビング中に停電などが発生した場合は、ダビング中の映像·音声はすべて記録されません。
● RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) へはダビングできません。

接続した機器を再生してダビング
HDD

外部入力(L1)取込機能を使ってダビング
外部入力(L1)取込

BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -RW(VR) -RW(V)
●外部入力 (L1) 端子に接続したときのみ

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 入力切換(リモコン下部)を押して、外部機器を接続した端子(L1)を選ぶ

2 録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(➜36)を選ぶ
●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「FR」は選べません。

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、録画●(ふた内部)を押す

☞ 録画を一時停止するには
一時停止 を押す
●もう一度押すと、録画を再開します。

☞ 録画を止めるには
停止 を押す

☞ ぴったり録画をする(➜21)

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 本機の停止中に、スタート を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、決定を押す

4 [▲][▼]で「ディスクに録画」を選び、決定を押す
●録画準備のため、次の画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。

5 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で録画時間を設定する
●[1]～[10]も使えます。

6 接続した機器で再生を始め、[◀][▶]で「録画開始」を選び、決定を押す

☞ 録画の残り時間を確認するには(➜21)
画面表示 を押す

☞ 録画を止めるには
停止 を押す

☞ 前の画面に戻るには
戻る を押す

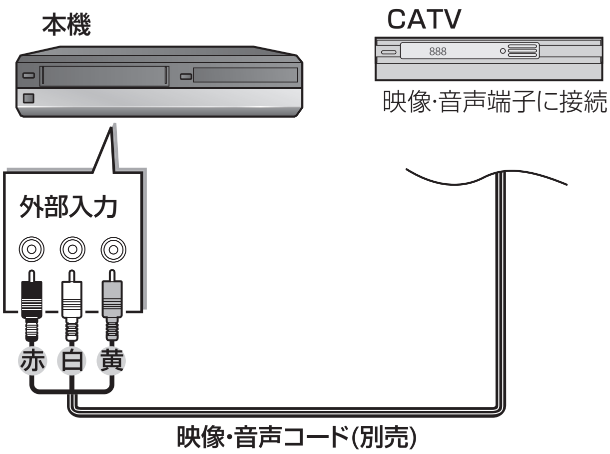
●録画モードは「FR」になります。
● -R(VR) -R(V) 手順 4 あるいは記録や編集を約30回行うと記録できなくなる場合があります。
● -R(V) -RW(V) ダビング後にファイナライズ(➜99)を行うと、自動的に約5分ごとのチャプターを作成します。

CATV から本機に録画する

本機とホームターミナル / セットトップボックス(以下、CATV と表記)を接続して、CATV で受信した番組を録画することができます。

接続

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。



Ir システムの接続について(➔ 準備編 13)

お知らせ

- Ir システムを使って予約録画をする場合、以下のように設定することをお勧めします。
  - ・本機側との予約が重ならないように設定する
  - ・番組の先頭部分が録画されない場合があるため、録画開始時間を多少早めに設定しておく
- CATV からコピー制限のある番組を録画する場合、「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。
- BD-RE BD-R 外部入力端子(「L1」)に接続した CATV からコピー制限のある番組を録画する場合、著作権保護の規定があるため、直接録画できません。また、HDD に録画した番組をダビングすることもできません。
  CPRM 対応の RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。

録画 HDD (直接録画)	
予約録画	**Ir システムを使う** ●連動予約時: HDD ●タイマー予約時: HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
	Ir システムを使わないで予約する HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

1 [入力切換](リモコン下部)を押して、CATV を接続した端子(「L1」など)を選び、CATV でチャンネルを選ぶ

2 [録画モード](ふた内部)を押して、録画モード(➜36)を選ぶ

3 [録画](ふた内部)を押す

録画を一時停止するには

[一時停止]を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

[停止]を押す

ぴったり録画をする(➜21)

- 本機の予約録画が始まると、録画は中断します。

1 CATV 側の設定をする

- 「リモコン種別」の「DVD レコーダー(1、2…)」を本機が、動作する番号に合わせてください。

2 本機の設定をする

連動予約のとき

① [HDD] を押して、「HDD」を選ぶ
② [入力切換](リモコン下部)を押して、接続した外部入力端子「L1」を選ぶ
③ [録画モード] を押して、録画モードを選ぶ(➜36)
④ 本機の電源を切る

タイマー予約のとき

- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
- 登録後、予約内容を確認してください。

予約時刻になると、録画が実行されます。

- タイマー予約は、本機の予約一覧に登録されます。(➜32)
  連動予約は登録されません。
- 本機が動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
- お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。

連動予約時のみ

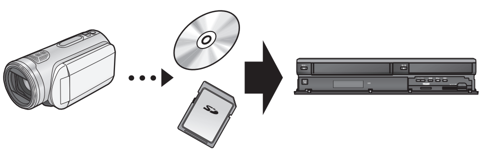
- 本機の予約録画が始まると、録画は中断されます。
- 録画中に本機の操作を行うと、中断する場合があります。録画中に本機の電源を切らないでください。
- ビエラリンク(HDMI)を使用している場合、**初期設定**「ビエラリンク録画待機」(➜114)を「入」にしてビエラのチャンネルを切り換えると、本機のチャンネルも自動的に切り換わるため、予約録画が正しく実行されないときがあります。設定を「切」にして予約してください。

- CATV 側で予約設定したあと、「時間指定予約」で予約してください。(➜31)
  ・「放送種別」は「外部入力」に設定してください。

ハイビジョンビデオカメラからの動画の取り込み

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を取り込むことができます。
●ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、**初期設定**「AVCHD 優先モード」を「入」にしてください。(➜111)

ダビング方向:
AVCHD(AVCHD が記録されたディスク) ➡ **HDD**
SD(AVCHD が記録された SD カード) ➡ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **-R DL(AVCREC)**



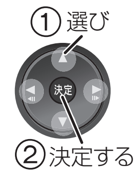
本機にディスクやカードを挿入して取り込みます。

準備
●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ 1 など)

お知らせ
●取り込み中は録画、再生または予約録画の実行はできません。
●録画や再生中に取り込みはできません。
●256以上のシーンが含まれているタイトルは取り込めません。
●ハイビジョンビデオカメラでの撮影状態によっては、同じ日に撮影されたシーンでも、別々のタイトル(日付に「-1」、「-2」などを表示)となる場合があります。
詳しくは、撮影した機器の取扱説明書をご覧ください。

取り込みを中止するには
[戻る] を3秒以上押す

基本操作



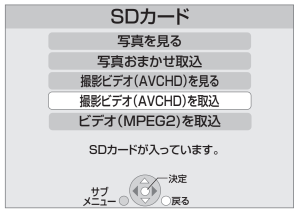
1 ディスクまたは SD カードを入れる

2 「撮影ビデオ(AVCHD) を取込」を選び、[決定] を押す

例) **RAM**



例) **SD**



3 SD カードから取り込む場合:
「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、[決定] を押す

4 タイトルを選び、[青] を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。
●撮影した日付単位でタイトルとして表示されます。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

5 すべてを選んだあと、[決定] を押す

6 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

●新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。
●HDD に取り込んだ動画は、録画一覧の「撮影ビデオ」ラベルに分類されます。

ディスクに取り込んだ動画を他の機器で再生するには
●SD カードから直接取り込んだ DVD の場合は、機器がそのディスクの AVCREC 方式に対応している必要があります。
●他の機器で再生できない場合は、一度 HDD に取り込んだあと、詳細ダビング(➜68)で録画モードを「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」にしてディスクにダビングしてください。ただし、画質は標準画質になります。

写真(JPEG)を再生する

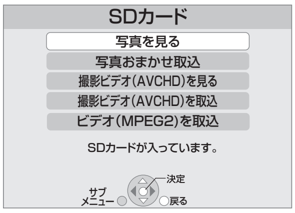
HDD BD-RE RAM CD SD

- CD 写真(JPEG)を記録したCD-R、CD-RW が再生できます。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)
- ディスクまたは SD カードを入れる。

SD

停止中にSDカードを入れると、下記画面が表示されます。
「写真を見る」を選び、[決定] を押すと、右記の手順5に進むことができます。



- 表示される項目は記録されている内容によって異なります。

お知らせ
- JPEG 以外の写真は再生できません。
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯が表示される場合があります。
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

再生を止めるには

[■停止] を押す
- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。
  - ・CD SD 電源を切る、または取り出したとき
  - ・BD-RE RAM 取り出したとき

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

基本操作



1 停止中に、[スタート] を押す



2 BD-RE RAM CD 「BD/DVD ディスク」を選び、[決定] を押す

SD
「SD カード」を選び、[決定] を押す

3 「写真を見る」を選び、[決定] を押す

HDD BD-RE RAM

表示方法を切り換えるには

本機では、SD カードから写真を取り込んだ場合、日付別にまとめて表示します。この中から好きな写真をアルバムにまとめて表示することができます。

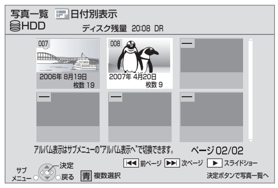
① [サブ メニュー] を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定] を押す

CD SD 「写真一覧」が表示されます。(➜ 手順 5 へ)

- RAM 他の機器で記録した写真の場合、「写真一覧　日付別表示」に表示されない場合があります。そのときは、「写真一覧 アルバム表示」を表示してください。

4 日付またはアルバムを選び、[決定] を押す

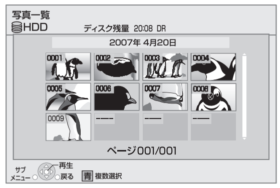
例) HDD



- [決定] の代わりに [▶ 再生] を押すとスライドショーが始まります。

5 写真を選び、[決定] を押す

例) HDD



ハイビジョンビデオカメラからの動画の取り込み／写真(JPEG)を再生する

他の機器と 写真

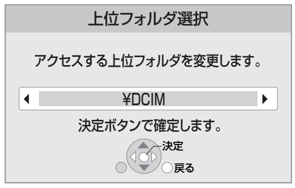
写真(JPEG)を再生する(つづき)

写真再生のいろいろな機能

フォルダの切り替え

(本機で表示されるフォルダ構造例➜138)

BD-RE **RAM** (「写真一覧 アルバム表示」表示時に、上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ)



1 「写真一覧 アルバム表示」中に、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、(決定) を押す

3 [◀][▶]でフォルダを選び、(決定) を押す

CD

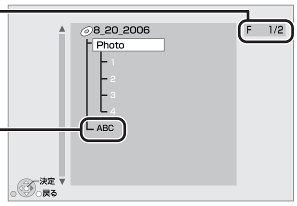
1 「写真一覧」表示中に、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼][◀][▶]でフォルダを選び、(決定) を押す

F：
フォルダ番号 /
総フォルダ数

再生できる写真(JPEG) が入っていないフォルダ



前の画面に戻るには
[**戻る**] を押す

画像の回転、縮小

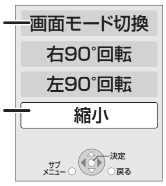
●スライドショー再生中はできません

1 写真を再生中に、サブメニュー(S) を押す

●ビエラリンク (HDMI)(➜102)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

(➜16)

画素数の小さい写真を表示しているときのみ



2 [▲][▼]で項目を選び、(決定) を押す

回転を元に戻すには
[**サブ メニュー**] を押して逆方向の回転を選び、[**決定**] を押す

縮小を元に戻すには
[**サブ メニュー**] を押して「拡大」を選び、[**決定**] を押す

お知らせ

●以下の場合、写真の回転の情報は保持されません。
- **CD** の写真
- プロテクトがかかったディスクやカード
- 他の機器での再生時
- 写真のダビング時

●写真一覧画面表示中にSDカードを取り出すと、回転の情報が正しく保持されない場合があります。
●縮小の情報は保持されません。

写真情報の表示

写真を再生中に、画面表示 (ふた内部)を2回押す

情報表示を消すには
[**画面表示**] を押す

例) **HDD**

撮影日 2008/ 4/ 1 枚数 1/10

情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

再生中に前後の写真を見る

[◀][▶]を押す

<table>
<tr>
<td rowspan="5">写真を連続して再生
（スライドショー）</td>
<td colspan="3">HDD BD-RE RAM :「写真一覧 日付別表示」または「写真一覧 アルバム表示」
CD SD :「写真一覧」
で操作します。
1 HDD BD-RE RAM [▲][▼][◀][▶]で日付またはアルバムを選ぶ
2 サブメニュー(S)を押す
HDD BD-RE RAM [サブ メニュー]の代わりに[▶再生]を押してもスライドショー再生が始まります。
3 [▲][▼]で「スライドショー開始」を選び、決定を押す</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">スライドショーの設定を変更する</td>
<td>上記手順 2 のあと
① [▲][▼]で「スライドショー設定」を選び、[決定] を押す
② [▲][▼] で設定する項目を選ぶ（➜ 下記へ）
③ 設定終了後、[▲][▼][◀][▶]で「確定」を選び、[決定] を押す</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="3"></td>
<td>表示間隔
表示間隔</td>
<td>[◀][▶]で表示間隔を選ぶ
画素数が大きい写真は、次の写真表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。</td>
</tr>
<tr>
<td>写真の表示方法の設定
表示変化</td>
<td>スライドショー再生中の写真の切り換わりかたを設定します。
[◀][▶]で「ランダム」または「フェード」を選ぶ
●ランダム　:順不同にいろいろな表示方法で、写真を切り換えます。
●フェード　:フェードインしながら写真を表示し、フェードアウトして次の写真に切り換えます。</td>
</tr>
<tr>
<td>リピート再生
リピート再生</td>
<td>[◀][▶]で「入」または「切」を選ぶ</td>
</tr>
</table>

☞ **スライドショーを終了するには**

戻るを押す

写真(JPEG)を編集する

HDD BD-RE RAM SD

- ●写真単位、日付単位またはアルバム単位で編集することができます。
- ●CD-R、CD-RWに記録された写真は編集できません。

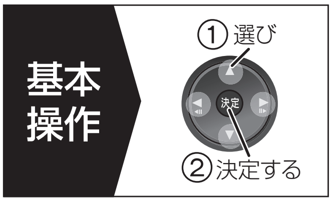
準備

- ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）

日付単位またはアルバム単位で編集する

HDD BD-RE RAM

1 **停止中に、[スタート]を押す**



2 BD-RE RAM

「BD/DVD ディスク」を選び、[決定]を押す

3 **「写真を見る」を選び、[決定]を押す**

HDD BD-RE RAM

表示方法を切り換えるには

① [サブ メニュー]を押す

② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定]を押す

4 **日付またはアルバムを選び、[サブメニュー S]を押す**

複数の日付またはアルバムを選択するには

（「この日付の写真消去」「アルバム消去」「プロテクト設定 / 解除」のみ可能）

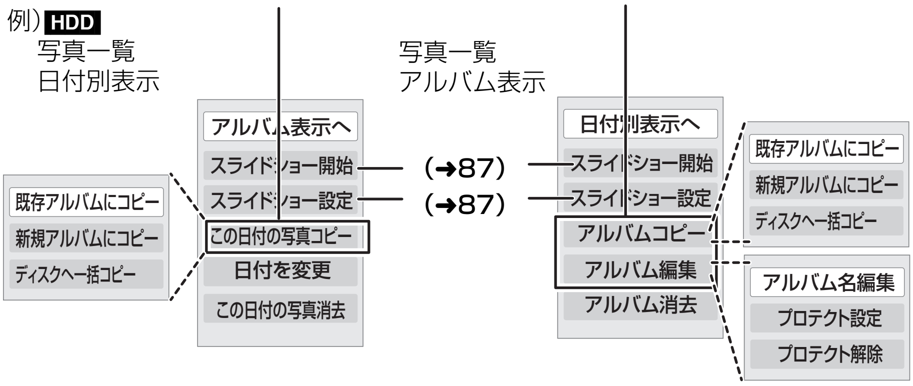
日付またはアルバムを選び、[青] を押す操作を繰り返す

- ●☑が表示されます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

5 **項目を選び、[決定]を押す**（➜右記へ）

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、[決定] を押してください。

例）HDD



既存のアルバムに写真をコピー

既存アルバムにコピー

新しいアルバムを作成し写真をコピー

新規アルバムにコピー

日付またはアルバム内の写真をすべてHDDまたはBD-REやDVD-RAMへコピー

ディスクへ一括コピー

HDD

HDDへ一括コピー

BD-RE RAM

消去

この日付の写真消去

アルバム消去

日付を変更

日付を変更

- ●写真一覧 日付別表示のときのみ

アルバム名を付ける

アルバム名編集

- ●写真一覧 アルバム表示のときのみ

誤消去防止の設定/解除

プロテクト設定 / 解除

- ●写真一覧 アルバム表示のときのみ

前の画面に戻るには

[戻る]を押す

画面を消すには

[戻る]を数回押す

選択した日付またはアルバムを既存のアルバムにコピーします。

6 「コピー開始」を選び、決定 を押す

7 コピー先のアルバムを選び、決定 を押す

●プロテクト設定されたアルバムにはコピーできません。

選択した日付またはアルバムを新しいアルバムにコピーします。

6 「コピー開始」を選び、決定 を押す

7 コピー終了後

決定 を押す

8 「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

「はい」のときには
アルバム名を付けます。(➜100)

「いいえ」のときには
アルバムの 1 枚目の写真の撮影日が、自動的にアルバム名になります。
(撮影日情報がない場合は、「撮影 : ---- 年 -- 月 -- 日」になります)

「コピー開始」を選び、決定 を押す

コピー先について

●「写真一覧 日付別表示」「写真一覧 アルバム表示」の写真はコピー先でもそれぞれ「写真一覧 日付別表示」「写真一覧 アルバム表示」にコピーされます。

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

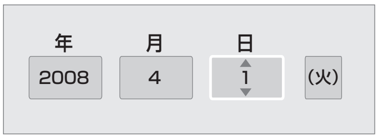
「消去」を選び、決定 を押す

●BD-RE RAM 日付やアルバム内にDCF規格以外のファイルがある場合や下位フォルダがある場合は、その日付やアルバム自体は消去されません。

6 年月日を選び、[▲][▼] で設定する

7 決定 を押す

●変更元の日付は残ります。不要な場合は、消去してください。
●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。



文字入力については(➜100)

●入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
●プロテクトの設定は、他の機器では解除されることがあります。

お知らせ

●コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。
●上位フォルダに「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」を実行することはできません。

写真(JPEG)を編集する(つづき)

写真単位で編集する

HDD BD-RE RAM SD

基本操作



1 **停止中に、スタート を押す**

2 BD-RE RAM

「BD/DVD　ディスク」を選び、決定を押す

SD

「SD カード」を選び、決定を押す

3 **「写真を見る」を選び、決定を押す**

HDD BD-RE RAM

表示方法を切り換えるには

① [サブ メニュー]を押す

② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定]を押す

SD 「写真一覧」が表示されます。

(➜ 手順 5 へ)

4 **日付またはアルバムを選び、決定を押す**

5 **写真を選び、サブメニュー S を押す**

複数の写真を選択するには

写真を選び、[青] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

6 **項目を選び、決定を押す**(➜右記へ)

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、[決定]を押してください。

例) HDD
写真一覧
日付別表示から

- 写真コピー
  - 既存アルバムにコピー
  - 新規アルバムにコピー
- 写真編集
  - 日付を変更
  - プロテクト設定
  - プロテクト解除
- 写真消去
- 日付別表示へ

項目	説明
既存のアルバムに写真をコピー 既存アルバムにコピー HDD BD-RE RAM	選択した写真を既存のアルバムにコピーします。 **操作方法は(➜88)**
新しいアルバムを作成し写真をコピー 新規アルバムにコピー HDD BD-RE RAM	選択した写真を新しいアルバムにコピーします。 **操作方法は(➜88)**
日付を変更 日付を変更 HDD BD-RE RAM ●写真一覧 日付別表示のときのみ	●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。 ●変更した日付が、新規の日付の場合、新しい日付を作成し、写真を移動します。 **操作方法は(➜88)**
消去 写真消去	**操作方法は(➜88)**
誤消去防止の設定 / 解除 プロテクト設定 / 解除	**操作方法は(➜88)**
プリンターや写真店でプリントする枚数の設定 DPOF プリント設定 SD	カードに残量がない場合は設定できません。 **[◀][▶]で枚数を選び、決定を押す** ● 🖨 が表示されます。 ●設定は他の機器で表示されない場合があります。 ●設定すると、他の機器での設定は解除されます。 **設定を解除するには** 「0枚」に設定する

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

お知らせ

- コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。

写真(JPEG)を取り込む

SD ➜ HDD

取り込んだ SD カードの情報を保持しているため、同じカードから、複数回取り込むと、新たに追加された写真(JPEG)のみを取り込みます。

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ 1 など)

お知らせ

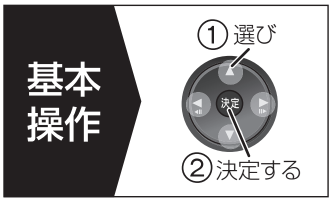
●JPEG 以外の写真は取り込みできません。
●同じ写真をもう一度取り込みたい場合は、「詳細ダビング」(➜92)を行ってください。
●SD カードの情報の最大保持数
・カード枚数:30 枚
・1 枚のカードあたりの写真枚数:12,000枚
上記以上になると古い情報から削除します。
●プリント枚数の設定(DPOF)は取り込みされません。
●HDD の容量や、ファイルやフォルダの数(➜141)が最大数になった場合は、途中で取り込みを中止します。
●取り込み中は予約録画は実行されません。
●録画や再生中に取り込みはできません。

前の画面に戻るには

戻る を押す

取り込みを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

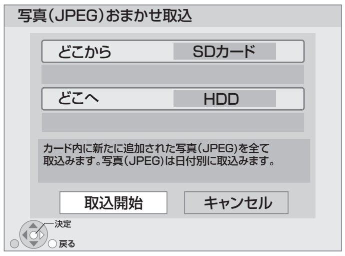


1 停止中に、SD カードを入れる

2 「写真おまかせ取込」を選び、決定 を押す

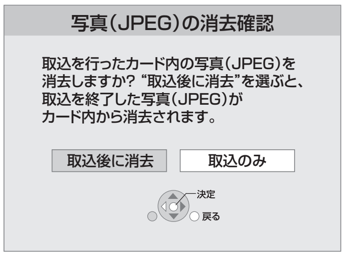


3 「取込開始」を選び、決定 を押す



●カードの誤消去防止設定(プロテクト)を
していた場合 :取り込みを始めます
していない場合:手順 4 へ

4 「取込後に消去」または「取込のみ」を選び、決定 を押す



取込後に消去 :取り込みの終わった写真を SD カードから消去します。(プロテクト設定された写真は消去しません)
取込のみ :写真は消去しません。

●取り込んだ写真は、「写真一覧 日付別表示」に撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は作成された日を使用して分類されます。
●「写真一覧 日付別表示」で、新たに追加された写真のある日付には、NEW を表示します。

写真(JPEG)をダビングする

HDD BD-RE RAM SD
●CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。

準備
●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）
●BD-RE、DVD-RAMまたはSDカードを入れる。

SD
停止中にSDカードを入れると、下記画面が表示されます。
[戻る]を押して、画面を消してください。



●表示される項目はＳＤカードに記録されている内容によって異なります。

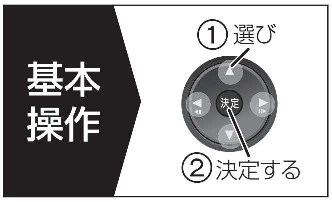
お知らせ
●ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜141)が最大数になった場合は、途中でダビングを中止します。
●(アルバム単位のダビングの場合)ダビング元のアルバム名が入力されていないとき、ダビング先ではアルバム名の番号が変わることがあります。ダビング前にアルバム名を入力することをお勧めします。
(➜88「アルバム名編集」)
●プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
●SD からダビングする場合、写真は撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は、作成された日を使用して分類されます。
●ダビング中は予約録画は実行されません。

前の画面に戻るには
戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには
戻る を３秒以上押す

詳細ダビング

ダビング方向：HDD ➜ BD-RE RAM SD、 BD-RE RAM ➜ HDD SD、
SD ➜ HDD BD-RE RAM

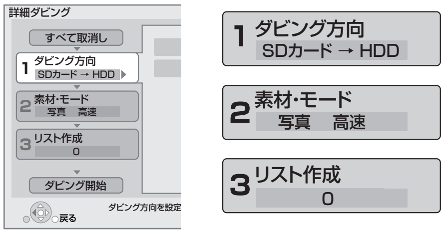


1 停止中に、**を押す**

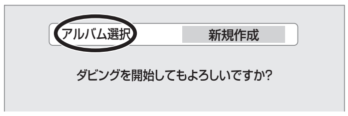
2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定を押す

4 項目を選び、[▶]を押す(➜右ページへ)



5 「ダビング開始」を選び、決定を押す
●HDD ➜ BD-RE RAM、BD-RE RAM ➜ HDD
[写真単位(アルバム)のダビングの場合]
別のアルバムをダビング先に指定できます。



① 「アルバム選択」を選び、[決定]を押す
② アルバムを選び、[決定]を押す

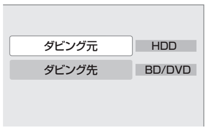
6 「はい」を選び、決定を押す

ダビング先について
●HDD ➜ BD-RE RAM、BD-RE RAM ➜ HDD
・[写真単位(日付)、日付単位のダビングの場合]
ダビング先：写真一覧 日付別表示
・[写真単位(アルバム)、アルバム単位のダビングの場合]
ダビング先：写真一覧 アルバム表示
●SD ➜ HDD BD-RE RAM
ダビング先：写真一覧 日付別表示

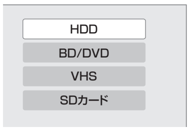
画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「BD/DVD」を選び、写真をダビングするとき

何から何にダビング？

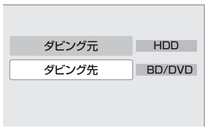
1 ダビング方向



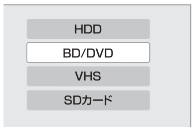
「ダビング元」を選び、決定を押す



ダビング元を選び、決定を押す



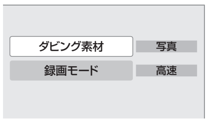
「ダビング先」を選び、決定を押す



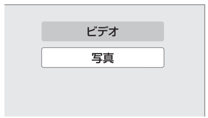
ダビング先を選び、決定を押す

ダビング素材の設定

2 素材・モード



「ダビング素材」を選び、決定を押す

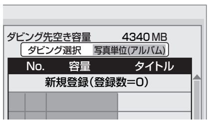


「写真」を選び、決定を押す

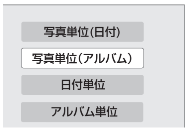
●録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

ダビングする写真を選ぶ

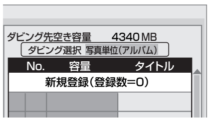
3 リスト作成



HDD BD-RE RAM
「ダビング選択」を選び、決定を押す



HDD BD-RE RAM
ダビングする単位を選び、決定を押す

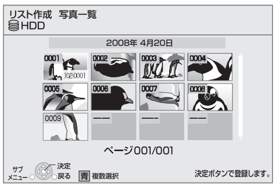


「新規登録」を選び、決定を押す

ダビングする写真、日付、アルバムを登録する
(➜ 下記へ)

●SD からダビングする場合は、「ダビング選択」はできません。写真単位で登録します。

写真単位(日付 / アルバム)で登録するときは



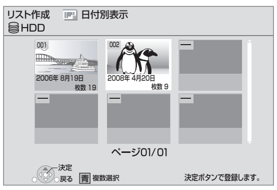
写真を選び、青を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返します。
すべてを選んだあと、決定を押す

HDD BD-RE RAM 別の日付 / アルバムの写真を選ぶには

① **[サブ メニュー]**を押す
② 「日付選択」または「アルバム選択」を選び、**[決定]**を押す
・BD-RE RAM 上位フォルダを切り換えるには(**➜ 下記**)
③ **[▲][▼][◀][▶]**で日付またはアルバムを選び、**[決定]**を押す

HDD BD-RE RAM 日付単位 / アルバム単位で登録するときは



日付またはアルバムを選び、青を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返します。
すべてを選んだあと、決定を押す

●別々の日付やアルバムの写真を同じリストに登録することはできません。
●登録後は、ダビングする単位を切り換えることはできません。

ダビングの便利な機能(➜67)

[◀]を押す(➜92 手順4へ戻る)

上位フォルダを切り換えるには BD-RE RAM(本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ) ●アルバム表示のときのみ	① **[サブ メニュー]を押す** ② **「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す** ③ **[◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す** ●上位フォルダの異なるアルバムを同じリストに登録することはできません。

音楽 CD を再生する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ 1 など)

音楽CDを入れる

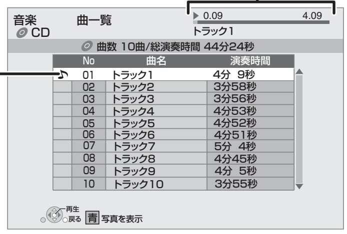
●自動的に再生が始まります。

☞ **別の曲を再生するには**
[▲][▼] で再生したい曲を選び、[決定] を押す

☞ **画面を消すには**
戻る を数回押す(画面を消すと、音楽の再生は停止します)

再生中の曲の経過時間/現在の再生位置/演奏時間

再生中の曲(♪を表示)



お知らせ
●ダビング中は再生できません。
●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜113)が「入」の場合、再生中に、約 10分以上本機の操作を行わなかったときは、写真のスライドショー画面が表示されます。([戻る] を押すと、元の画面に戻ります)

再生中のいろいろな操作

停止	[停止] **を押す**	
一時停止	[一時停止] **を押す**	●もう一度押す、または [▶ **再生**] を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し	[◀◀ サーチ/スロー] **または** [▶▶ サーチ/スロー] **を押す**	●[▶ **再生**] で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
スキップ	**再生中または一時停止中に** [スキップ/頭出し ⏮] **または** [スキップ/頭出し ⏭] **を押す**	●押した回数だけ曲を飛び越します。
リピート **ランダム**	**1** [再生設定] **(ふた内部)を押す** **2 [▲][▼]で「再生」を選び、[▶] を押す** **3 [▲][▼]で「リピート」または「ランダム」を選び、[▶] を押す** **4 [▲][▼]で項目を選ぶ** **リピート**:繰り返し再生の方法を選びます。 ●**切** ●**全曲**:選んだアルバムなどの全曲 ●**1 曲**:選んだ曲のみ **ランダム**:選んだアルバムなどの全曲を、順不同に再生します。 ●**切** ●**入**	
リ. マスター **ナイトサラウンド**	**リ. マスター** デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。また HDMI 端子またはデジタル音声出力端子に接続した AV アンプなどの機器がサンプリング周波数88.2 kHz以上の入力に対応している場合は、復元される高音域がさらに拡張されます。 **ナイトサラウンド** 大音量の音声や小音量の音声などを調節して、夜間など音量を絞った状態でも聞き取りやすいサラウンド音声をお楽しみいただけます。 ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。 ●再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。 **1** [再生設定] **(ふた内部)を押す** **2 [▲][▼]で「音声」を選び、[▶] を押す** **3 [▲][▼]で「音質効果」を選び、[▶] を押す** **4 [▲][▼]で項目を選ぶ** **リ. マスター標準** **リ. マスター強** **ナイトサラウンド** **切** ●「サラウンド標準」、「サラウンド強」は表示されますが働きません。 ●リ. マスターの設定はHDMI出力やデジタル音声出力時には、**初期設定**「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜112)(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります)	

写真のスライドショーの表示

音楽再生中に、[青] を押す

- スライドショーが始まります。
- 写真の表示間隔は一定になり、リピート再生します。

スライドショーを停止するには

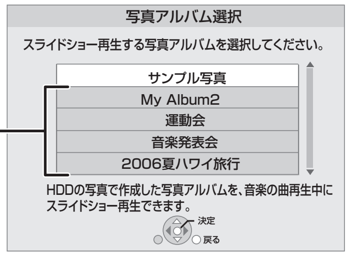
[戻る] を押す
（音楽を停止したときも、停止します）

表示させる写真の変更

本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ内蔵されているサンプル写真または HDD の「アルバム」の写真から選ぶことができます。
「アルバム」はアルバム編集で作成する必要があります。(➜88)

① スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す
② [▲][▼] で「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] でアルバムなどを選び、[決定] を押す

HDD の「アルバム」を表示
- 写真が 1 枚もないアルバムは表示されません。



テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

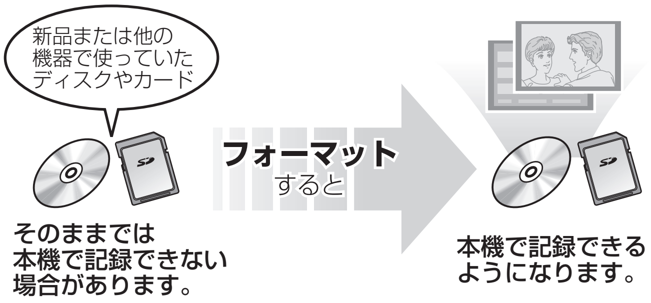
ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ (ビエラ) とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ (ビエラ) の電源を切ると本機の電源も切れます。
ただし、接続したテレビ (ビエラ) がビエラリンク (HDMI)Ver.2 または Ver.3 対応の場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

1 音楽再生中に、[サブメニュー] を押す

2 [▲][▼] で「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定] を押す

- テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。
- テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、テレビから音声が出なくなりますので、操作をする前にあらかじめアンプ側から音声が出るようにしてください。

フォーマットする



DVD の場合：
フォーマットすることによって、ディスクの記録方式を設定できます。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます）

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。
●デジタル放送を記録した DVD を他の機器で再生する場合は、フォーマットする前に **79 ページ**をご覧ください。

ディスクは？	記録方式は？	フォーマットが必要か？	備考
BD-RE BD-R	—	必要	記録方式の設定はありません。 どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	— （ディスクによる）	市販のディスクでフォーマット済みの場合は、フォーマットを行わずに記録できます。 ●フォーマットが必要な場合は、「標準画質で記録（VR 方式）」を選んで、フォーマットしてください。
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録（AVCREC 方式）」
-R -R DL	VR 方式	必要	「標準画質で記録（VR 方式）」
	ビデオ方式	不要	フォーマットせずに記録できます。
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録（AVCREC 方式）」
-RW	VR 方式	必要	「VR 方式」
	ビデオ方式	必要	「ビデオ方式」
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

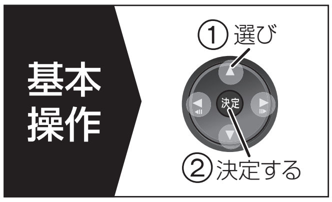
それぞれの記録方式の特徴は？（➜12）

お知らせ

●-R -R DL 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（➜98）を行うと記録方式を変更できません。
●RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●CD-R/RW、記録済みの BD-R、DVD-R、DVD-R DL はフォーマットできません。
●HDD フォーマットは、**初期設定**「HDD のフォーマット」（➜112）で行ってください。

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-R DL** **-RW** **SD**

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ１など)
●ディスクまたはSDカードを入れる。



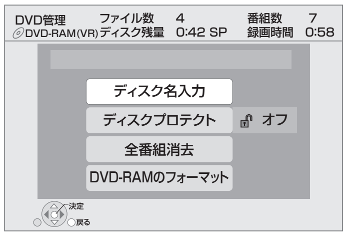
1 停止中に、[スタート]を押す

2「BD/DVD ディスク」または「SD カード」を選び、[決定]を押す

3「BD管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、[決定]を押す

4 フォーマットの項目を選び、[決定]を押す
(➜下記へ)

例) **RAM**



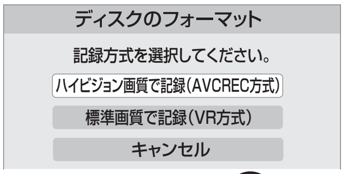
BD-RE
BD-RE のフォーマット

BD-R
●未使用のディスクのみ
BD-R のフォーマット

5「はい」を選び、[決定]を押す

6「実行」を選び、[決定]を押す

DVD-RAM
DVD-RAM のフォーマット

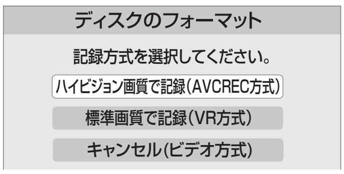


5 記録方式(➜96)を選び、[決定]を押す

6「はい」を選び、[決定]を押す

7「実行」を選び、[決定]を押す

DVD-R
DVD-R DL
●未使用のディスクのみ
DVD-R のフォーマット



5 記録方式(➜96)を選び、[決定]を押す

6「はい」を選び、[決定]を押す

7「実行」を選び、[決定]を押す
●フォーマットせずに記録した場合、記録方式はビデオ方式になります。

DVD-RW
DVD-RW のフォーマット

5 記録方式(➜96)を選び、[決定]を押す

6「実行」を選び、[決定]を押す

SD カード
カードのフォーマット

5「はい」を選び、[決定]を押す

6「実行」を選び、[決定]を押す

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

お知らせ

●フォーマットには通常は数分(**RAM** 最大約70分)かかります。
RAM **-RW(VR)** 2分以上かかる場合のみ[戻る]を押すと中止できます。
●ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がかかったり、できない場合があります。
●**SD**「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」については、49 ページの「お知らせ」をご覧ください。

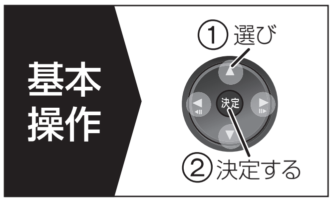
前の画面に戻るには
[戻る]を押す

画面を消すには
[戻る]を数回押す

ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
（ファイナライズしたディスクではできません）

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（ビデオ１など）
●ディスクを入れる。



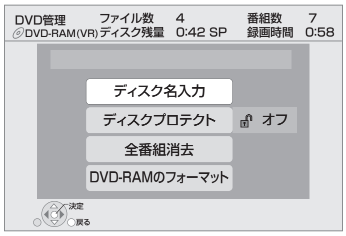
1 停止中に、 スタート を押す

2 「BD/DVD ディスク」を選び、 決定 を押す

3 「BD 管理」または「DVD管理」を選び、 決定 を押す

4 操作したい項目を選び、 決定 を押す
（➔下記へ）

例）RAM



ディスクに名前を付ける

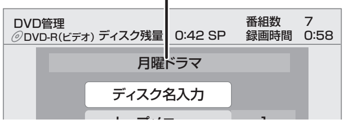
ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

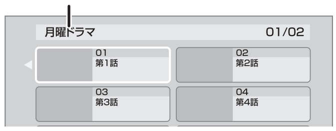
文字入力については（➔100）

● -R -R DL 未使用の場合、ディスク名を入力すると、ビデオ方式になります。
VR方式や AVCREC 方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。（➔96）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R(V) -R DL(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



誤消去防止の設定/解除

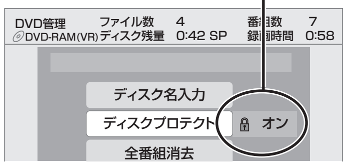
ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

5 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、 決定 を押す

プロテクト設定すると「 オン」が表示



全番組の消去

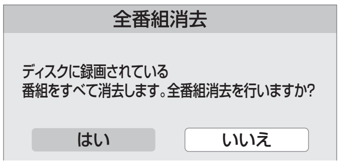
全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)



実行すると元に戻すことはできません。

例）RAM



5 「はい」を選び、 決定 を押す

6 「実行」を選び、 決定 を押す

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、消去できません。
● BD-RE RAM 写真は消去されません。
● BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC)
消去しても残量は増えません。

前の画面に戻るには

戻る を押す

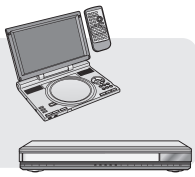
画面を消すには

戻る を数回押す

他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

本機で記録したディスクを他の機器で再生する場合

ビデオ方式 → ファイナライズすると → DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては
他の機器で再生できない場合があります。



VR方式 → ファイナライズすると → 再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

AVCREC方式 → ファイナライズすると → 再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

他機器との互換性　高 ↑ 低

BD-RE RAM ファイナライズは不要です。

98ページ手順１～4のあとに操作します。

メニュー画面の背景の設定

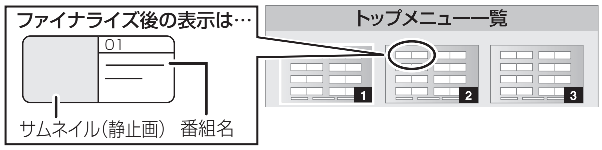
トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

5 お好みの背景を選び、決定を押す

●トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（➔56「サムネイル変更」）



再生の始まりかたの設定

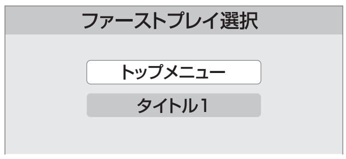
ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

5 「トップメニュー」または「タイトル１」を選び、決定を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル１　　：先頭の番組から再生する



BD/DVD機器で再生できるようにする

他のDVD機器再生（ファイナライズ）

-R -R DL -RW

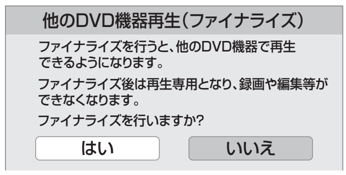
他のBD機器再生（ファイナライズ）

BD-R

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

●ファイナライズは、数分から最大約60分かかります。（実行中は中止できません）
●高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。（最大約4倍）



お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

●再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
・-RW(V) フォーマット（➔96）すると、記録や編集ができます。
ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
・-RW(VR)「ファイナライズ解除」（➔ 下記）を行うと、記録や編集ができます。

お知らせ

●本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。

ファイナライズの解除

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。
●-RW(V) は解除できません。
●本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

前の画面に戻るには
戻る を押す

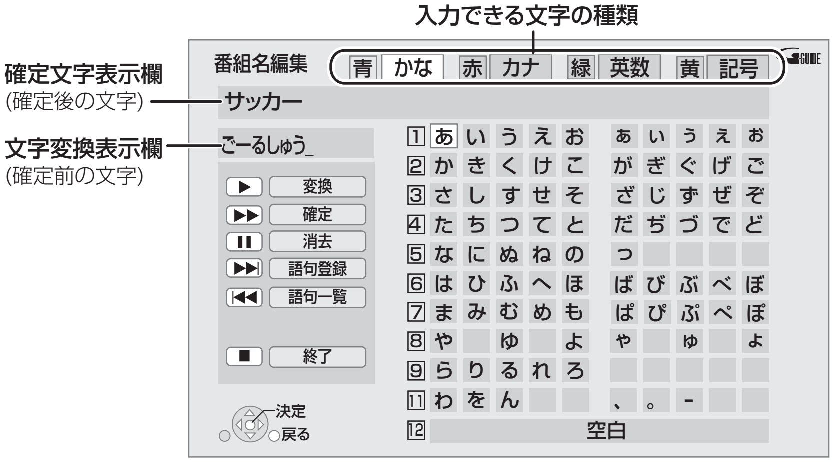
画面を消すには
戻る を数回押す

文字入力

本機では、2 種類の文字入力方法があります。表示された画面に従って文字入力を行ってください。

番組名、ディスク名、写真のアルバム名などを入力するとき

- JIS 第 1 水準の漢字コードのみ入力可能



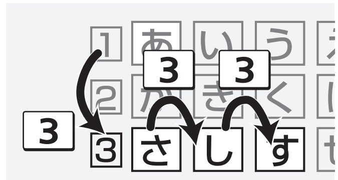
1 [青][赤][緑][黄] で文字の種類を選び、[決定]を押す
- 漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

2 [▲][▼][◄][►]で入力する文字を選び、[決定]を押す
- この手順を繰り返し、文字を入力します。

3 入力が終わったら、[■ 停止]を押す

4 [◄][►]で「保存」を選び、[決定]を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]、[12]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合



1 [3] を押す
- 「さ」行に移動します。

2 [3] を2回押し、[決定] を押す
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する	[▶▶] を押す
ひらがなを漢字変換する	[▶ 再生] を押して [▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す ●[戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
文字を消す	[❚❚ 一時停止] を押す
よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去	**語句を登録する** ① 語句を入力したあと、[▶▶❙] を押す ② [◄][►] で「登録」を選び、[決定] を押す **語句を呼び出す** ① [❙◀◀] を押す ② [▲][▼][◄][►] で語句を選び、[決定] を押す **語句の消去** ① [❙◀◀] を押す ② [▲][▼][◄][►] で語句を選び、[サブ メニュー] を押す ③ [▲][▼] で「語句消去」を選び、[決定] を押す ④ [◄][►] で「消去」を選び、[決定] を押す

入力できる文字数

ディスクなど	種類	英数	その他	ディスクなど	種類	英数	その他
HDD	番組名	64	32	-R(V) -R DL(V) -RW(V)	番組名	44	22
HDD	写真のアルバム名	36	18	-R(V) -R DL(V) -RW(V)	ディスク名	40	20
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名	64	32	BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	番組名※	254	127
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	写真のアルバム名 (RAM(VR) のみ)	36	18	BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	写真のアルバム名 (BD-RE RAM(AVCREC) のみ)	36	18
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	ディスク名	64	32	BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	ディスク名	254	127

※ 予約番組の番組名　英数：64 文字　その他：32 文字

リモコンボタン方式で入力するとき

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードのみ入力可能

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。

1 [1 あ @.]～[12 改行](ふた内部)で文字を入力する

例）「えいが」と入力するとき

[1 あ @.]	▶	[1 あ @.]	[2 か ABC]	[10 記号]
4回押す（え）	1回押す	2回押す（い）	1回押す（か）	1回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(➜下記)

漢字に変換するには
[▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 [決定]を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画 ―カーソル

3 [◀][▶]で「登録」を選び、[決定]を押す

文字の種類を変換する	[緑] を押して文字の種類を選び、[決定]を押す ●[緑] を押すごとに、(かな → カナ → 英数 → 数字)に切り換わります。 ●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
同じボタンで続けて入力する	[▶] でカーソルを右に移動させる 例)「あい」と入力する場合：[1][▶][1][1] の順に押す
文節を分けて変換する	例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合： ① 「えいが」と入力して、[▼]を押す（映画） ② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ（えいが） ③ [▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す（映が）
記号を入力する	① “きごう”と入力する ② [▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す
文字を追加する	[◀][▶] でカーソルを移動させたあと、文字を入力する (カーソルの左に文字が追加されます)
文字を消す	[◀][▶] でカーソルを移動させたあと、[黄]を押す(カーソルの文字が削除されます)

リモコンボタンでの入力文字一覧表

入力モード／ボタン	かな											カナ											英数												数字
[1]	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1	@	.	/	:	~	_	1						1
[2]	か	き	く	け	こ	2						カ	キ	ク	ケ	コ	2						a	b	c	A	B	C	2						2
[3]	さ	し	す	せ	そ	3						サ	シ	ス	セ	ソ	3						d	e	f	D	E	F	3						3
[4]	た	ち	つ	て	と	っ	4					タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	4					g	h	i	G	H	I	4						4
[5]	な	に	ぬ	ね	の	5						ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5						j	k	l	J	K	L	5						5
[6]	は	ひ	ふ	へ	ほ	6						ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6						m	n	o	M	N	O	6						6
[7]	ま	み	む	め	も	7						マ	ミ	ム	メ	モ	7						p	q	r	s	P	Q	R	S	7				7
[8]	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	8					ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	8					t	u	v	T	U	V	8						8
[9]	ら	り	る	れ	ろ	9						ラ	リ	ル	レ	ロ	9						w	x	y	z	W	X	Y	Z	9				9
[10]	、	。	?	!	・	(	)	0				、	。	?	!	・	(	)	0				—	,	;	'	"	?	!	(	)	&	¥	0	0
[11]	わ	を	ん	ゎ	ー	スペース						ワ	ヲ	ン	ヮ	ー	スペース						スペース												#
[12]	改行											改行											改行												*

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。(例:「い」を入力するときは [1] を 2 回押す)
●「英数」と「数字」は半角で入力されます。(英数を全角にしたい場合は [▼] を押してください)
●濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

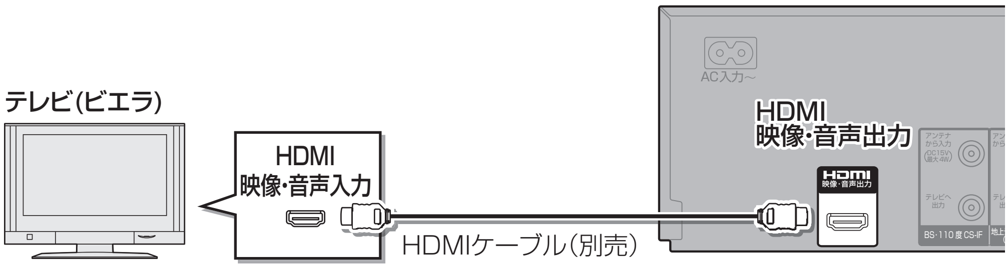
●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは
- 本機と HDMI ケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク (HDMI)Ver.3 に対応しています。
  ビエラリンク (HDMI)Ver.3 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。(2007 年 12 月現在)

接続

本機とビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ(ビエラ)をHDMIケーブルで接続する(➜準備編 4)
- 当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  品番:RP-CDHG10(1.0 m)、RP-CDHG15(1.5 m)、RP-CDHG20(2.0 m)、RP-CDHG30(3.0 m)など



☞ **アンプと接続する場合は**
(➜準備編 11)

設定

① **初期設定「ビエラリンク制御」(➜114)を「入」にする**(お買い上げ時の設定は「入」)
② **初期設定「ビエラリンク録画待機」(➜114)を「入」にする**
- **初期設定**「クイックスタート」**(➜110)**は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行えます。
  (待機時消費電力は増えます)

③ **接続した機器側(テレビなど)で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する**
④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

☞ **ビエラリンク (HDMI) を使わない場合は**
初期設定「ビエラリンク制御」**(➜114)**を「切」にする

ビエラリンク (HDMI) に関する質問

Q (質問)		A (回答)
お使いのテレビやアンプがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは？		機器にビエラリンク (HDMI)のロゴマーク(➜右記)が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。 VIERA Link
テレビ(ビエラ)側から録画(「見ている番組を録画」など)や録画予約、番組キープをしたとき		
	録画モードや録画先は？	●録画(「見ている番組を録画」など): ・本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画します。 ●録画予約 / 番組キープ: ・デジタル放送:HDDに「DR」モードで録画 ・アナログ放送:HDDに「SP」モードで録画 ●録画モードや録画先を変更して予約したい場合は、本機のスタート画面から予約してください。
	録画予約の登録の方法は？	●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。 ●本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。
	録画予約を取り消すときは？	●「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。
	録画ができないときは？	●すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。 ●本機に契約されたB-CASカードが挿入されていないとき。
ビエラリンク(HDMI)が働かなくなった場合は？		●設定を確かめてください。[➜133「ビエラリンク (HDMI) が働かない」]

ビエラリンク (HDMI) のバージョンでの違い

本機と接続したテレビ(ビエラ)のビエラリンク (HDMI) のバージョンによって、できる機能とできない機能があります。

●テレビやアンプのバージョンについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

接続したテレビ / 機能	ビエラリンク (HDMI) に対応	ビエラリンク (HDMI) Ver.2 に対応	ビエラリンク (HDMI) Ver.3 に対応
自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える	○	○	○
自動的に本機の電源を切る	○	○	○
テレビのリモコンで本機の操作	○	○	○
テレビの電源を切って音楽の再生を続ける ●ビエラリンク (HDMI) 対応のアンプと接続時	×	○	○
自動的に適したサウンドにする (オートサウンド連携) ●ビエラリンク (HDMI)Ver.3 対応のアンプと接続時	×	×	○
番組の視聴を一時停止する (番組キープ)	×	×	○
テレビから設置情報を取り込む	×	○	○

ビエラリンク (HDMI) を使う（つづき）

表示マークについて

（本機のリモコン）:本機のリモコンで操作できます。
（テレビのリモコン）:テレビのリモコンで操作できます。

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える

●テレビの電源が待機状態のときのみ

（本機のリモコン）

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

本機電源入時	▶ 再生	予約確認	番組表	録画一覧	Gコード	スタート	ガイド ?
本機電源切時	▶ 再生	予約確認	番組表	録画一覧	Gコード		

自動的に本機の電源を切る

（本機のリモコン）（テレビのリモコン）

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
(ダビング、ファイナライズ、消去、**[録画●]**を押して録画などの実行中は切れません)
ビエラリンク（HDMI）に対応したアンプとHDMIケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。

テレビのリモコンで本機の操作

（テレビのリモコン）

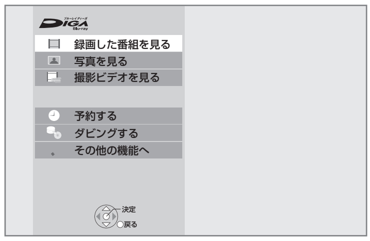
テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

1 テレビのリモコンを使って、ディーガのスタート画面を表示させる

●テレビによって、ディーガの**スタート画面**を表示させる方法や画面は異なります。(「ディーガの操作一覧」を選んで表示させる場合もあります)
●自動的に本機の電源も入ります。

☞ **スタート画面について(➜142)**

スタート画面



2 テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定]を押す

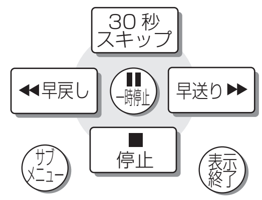
「再生操作パネル」を使って操作する

「再生操作パネル」表示中はテレビのリモコンで早送り･早戻し(サーチ)、停止などの操作ができます。

[サブ メニュー]を押す

●「再生操作パネル」が表示されます。
●**[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]**で操作することができます。

再生操作パネル
例)番組再生時



●音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。

☞ **音楽の再生を止める**

[戻る] を数回押す
テレビのリモコンにディーガの**停止ボタン**がある場合は、ディーガに向けて**停止ボタン**を押して再生を止めることができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

（本機のリモコン）（テレビのリモコン）

☞ **操作方法(➜95)**

☞ **テレビのリモコンで操作できるボタンは？**

[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]と色ボタン
数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用してください。

自動的に適したサウンドにする（オートサウンド連携）

本機のリモコン　テレビのリモコン

ビエラリンク(HDMI)Ver.3 対応のビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

- 以下の場合に働きます。
  - ・デジタル放送の番組を視聴中または再生中（RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を除く）
  - ・BD-V DVD-V CD を再生中
- 他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには

- **初期設定**「オートサウンド連携」(**➜114**)を「入」にする
- 接続したテレビでは以下の設定が必要です。
  - ・テレビの音声がアンプから出るようにする
  - ・サウンドを番組情報に応じて自動的に切り換えるモードにする

  ［操作例：**[サウンド]**を押し、「オート」（自動的に切り換えるモード）にする］

  詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

番組の視聴を一時停止する（番組キープ）

テレビのリモコン

ビエラリンク(HDMI)Ver.3 対応のビエラと接続している場合、視聴中の番組を一時停止して、あとから続きを視聴することができます。

テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

1 視聴を一時停止したいとき

テレビのリモコンを使って、「番組キープ」を実行する

- テレビによって、「番組キープ」を実行させる方法は異なります。

例）
番組キープ を押す ➜

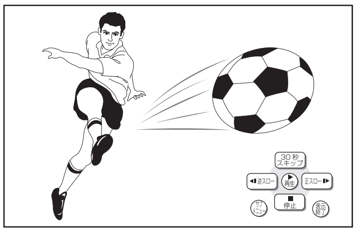
HDD
❚❚
番組キープ●　――「番組キープ●」が表示

- テレビの入力は、HDMI 入力に切り換わります。
- 番組キープ中は、番組を HDD に一時的に記録します。（番組キープ終了後は削除されます）

2 続きを見るとき

「再生操作パネル」表示中に、[決定]（再生）を押す

- 一時停止したところから再生が始まります。
- [▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]で操作することができます。



「再生操作パネル」が表示されていないときは

[サブ メニュー] を押す

番組キープを終了するには

① 「再生操作パネル」表示中に、[▼]（停止）を押す
② [◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- 以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
  - ・予約録画開始時刻になったとき
  - ・番組キープが８時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき
- 本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。
- 本機に放送会社と契約した B-CAS カードが挿入されていない場合、番組キープすることはできません。
- 早送り再生中に、再生位置が現在放送中の場面に追いつくと通常再生に戻ります。
- **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(**➜113**)が「入」の場合、一時停止中に、約１０分以上操作を行わなかったときは、スクリーンセーバーが表示されます。（[戻る] を押すと、元の画面に戻ります）

記載していない機能については、接続した機器（テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

いろいろな情報を見る(メール/情報)

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

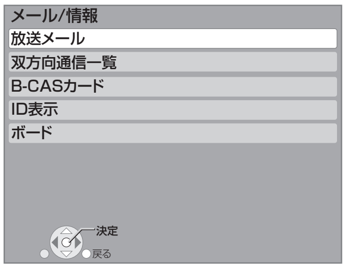
メール/情報の基本操作

1 停止中に、[スタート]を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「メール / 情報」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す



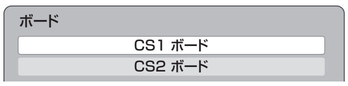
前の画面に戻るには

[戻る]を押す

画面を消すには

[戻る]を数回押す

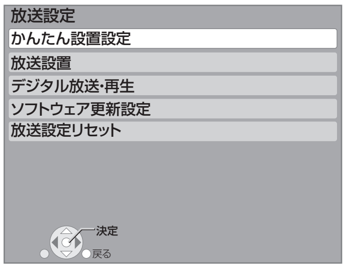
放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。 **[▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す** ●ダウンロード情報が届いたときは、画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。 ※ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。 **ダウンロード予約の設定については(➜準備編 32)** ●ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。 ●メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。 ●メールの送信や返信はできません。
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。
B-CASカード	契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CASカードの番号が必要な場合に使用します。
ID表示	本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。 **その他の情報を見るには** ●[青]: 本機のソフト情報を表示 ●[赤]: データ放送時のルート証明書情報を表示
ボード	110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 **① [▲][▼]で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、[決定]を押す** **② [▲][▼]で確認したい情報を選び、[決定]を押す**



放送設定を変える(放送設定)

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作



1 停止中に、スタート を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [◀][▶]で設定内容を変更する

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

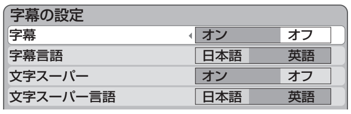
戻る を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
かんたん設置設定	かんたん設置設定(➜準備編 17)	→[決定]を押して、さらに設定します。
放送設置	受信対象設定 使わない放送を操作できないようにします。 ●地上デジタルは設定できません。	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ /BS/CS	▶使う ▶使わない
	チャンネル設定(➜準備編 34～36)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ/地上デジタル/BS/CS1/CS2	
	番組表設定(➜準備編 27)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Gガイド地域設定	▶札幌～沖縄
	Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定(➜準備編 32)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶東北海道～沖縄県
	郵便番号	――― - ――――(郵便番号)
	地域設定削除	▶はい ▶いいえ
	受信設定(➜準備編 28～29)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上デジタル	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アッテネーター	▶オン ▶オフ
	物理チャンネル選択 物理チャンネル(➜準備編 28)を指定してアンテナレベルを確認します。	▶物理チャンネル入力 ―― CH
	衛星	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アンテナ電源	▶オン ▶オフ 「オン」にした場合、テレビ側の衛星アンテナ電源も「入(オン)」にしてください。
	アンテナ出力 本機のBS·110度CSアンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶オン :常に信号を出力します。(通常は「オン」のまま使用してください) ▶オフ :本機の電源「切」時に信号を出力しないため、テレビなどで、BS·110度CSデジタル放送を視聴できません。
	トランスポンダ選択	BS-1～BS-15、CS-2～CS-24
	衛星周波数	――.―――― GHz (放送局からの案内がない限り、変更しないでください)

放送設定を変える(放送設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
放送設置(つづき)	電話設定(➜準備編 33)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶自動　▶プッシュ　▶ダイヤル 20　▶ダイヤル 10
	トーン検出 「回線設定」(➜上記)が「自動」以外のときに設定できます。	▶する　▶しない
	内線設定	ーーーーーーーー(内線番号)
	電話テスト	ーー
	発信者番号通知	▶指定なし　▶通知する　▶通知しない
	電話会社設定	ーーーーーーーー(電話会社番号)
	マイラインプラス 「電話会社設定」(➜上記)を設定したときのみ設定できます。	▶解除する　▶解除しない
	B-CASカードテスト(➜準備編 32)	ーー
デジタル放送・再生	字幕の設定 デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。	→[決定]を押して、さらに設定します。  ●放送に設定した内容が含まれていない場合は設定通りに表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送(字幕)は見られません。
	字幕	▶ オン　▶オフ
	字幕言語	▶日本語　▶英語
	文字スーパー	▶オン　▶オフ
	文字スーパー言語	▶日本語　▶英語

リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(2008年 8月現在)

●地上アナログ放送(➜準備編 36)

●地上デジタル放送(➜準備編 34)

● BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター·チャンネル
11	211	BS11 デジタル
12	222	TwellV

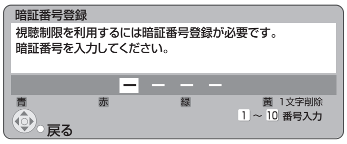
● CS1(スカパー! e2)

番号	チャンネル	放送局名
1	001	e2 メイト
2		
3		
4		
5	055	ショップチャンネル
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

●CS2(スカパー! e2)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	CS 日本番組ガイド
5		
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	インターローカルテレビ
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	SKY·STAGE
12	238	スター·クラシック

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

<table>
<tr><th>メニュー</th><th>設定項目</th><th>設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)</th></tr>
<tr><td rowspan="6">デジタル放送・再生(つづき)</td><td>**制限項目設定**</td><td>→**[決定]**を押して、さらに設定します。


画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号(4けた)を入力する
●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
●初めて入力するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないでください。
●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
お知らせ
●**暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。**</td></tr>
<tr><td>**視聴可能年齢**
●視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
●年齢制限を超える番組は、番組表(Gガイド)などで「･･･」と表示されます。</td><td>▶**無制限**　▶**4才～19才(1才刻み)**</td></tr>
<tr><td>**暗証番号変更**</td><td>●「視聴可能年齢」の設定は残ります。</td></tr>
<tr><td>**暗証番号削除**</td><td>●「視聴可能年齢」の設定は「無制限」に戻ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">**設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。**

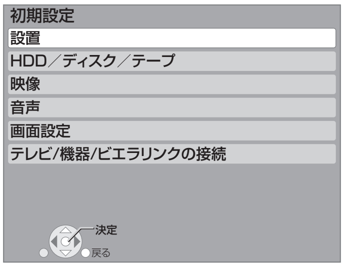

●暗証番号を入力すると、番組が映ります。
●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。</td></tr>
<tr><td>**選局対象**
デジタル放送で**[チャンネル∧,∨]**を押して順送りできるチャンネルを設定できます。</td><td>▶**設定チャンネル**：チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネル
▶**テレビ**：テレビ放送(映像＋音声)
▶**ラジオ**：ラジオ放送(音声)
▶**データ**：データ放送
▶<u>**すべて**</u>：受信できるすべてのチャンネル</td></tr>
<tr><td>ソフトウェア更新設定</td><td>**ダウンロード予約(➜準備編 32)**
デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。</td><td>▶<u>**自動**</u>：電源「切」時に、自動的にダウンロードします。
▶**手動**：情報が届いた場合、メールで知らせます。
(➜106「放送メール」)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">放送設定リセット</td><td>**設定項目リセット**
「アンテナ電源」「アンテナ出力」**(➜107)**と「電話設定」**(➜108)**をお買い上げ時の設定に戻します。</td><td>▶**はい**　▶<u>**いいえ**</u></td></tr>
<tr><td>**個人情報リセット**
時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。
また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、予約内容も消去します。
廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。</td><td>→**[決定]**を3秒以上押して、さらに設定します。
▶**はい**　▶<u>**いいえ**</u>
お知らせ
●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
●HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、**初期設定**「HDDのフォーマット」**(➜112)**を行ってください。</td></tr>
</table>

本機の設定を変える（初期設定）

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 停止中に、スタート を押す



2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、決定 を押す

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2時間 ▶6時間 ▶切 時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード（➜準備編 31）	▶リモコン1 ▶リモコン2 ▶リモコン3
	ワイドモード（➜準備編 22） テレビのS映像入力端子に合わせて出力を設定します。	▶S1 ▶S1/S2 :「S1」または「S2」のとき ▶切 :「S」、またはテレビ側の、ワイドテレビの画面設定の切り換え機能を作動させたくないとき
	時刻合わせ（➜準備編 30）	▶（年/月/日/時/分） ▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「おまかせダビング」などの実行時に、音声で操作ガイダンスを行います。	▶入：本書の（ディーガがしゃべる!）マーク部で働きます。 ▶切
	クイックスタート 電源「切」状態からの起動を高速化します。 （映像端子または S 映像端子接続時） 例：番組表（Gガイド）を約1 秒で表示します。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。 ●「ビエラリンク録画待機」（➜114）：「入」	▶入 ▶切 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。） ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ただし、以下の設定は戻りません。 ・時刻 ・DVD-Video の視聴制限 ・BD-Video の視聴可能年齢	▶する ▶しない 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。（➜121）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
HDD／ディスク／テープ	**再生設定（再生専用ディスク）**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	DVD-Video の視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号（4けた）を入力してください。※	▶ **<u>レベル8 すべて視聴可</u>**：すべての DVD ビデオが視聴可 ▶ **レベル7～1**：制限レベルの記録されているDVDビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ▶ **レベル0 すべて視聴不可**：すべての DVD ビデオが視聴不可 ▶ **ロック解除**　▶ **暗証番号変更**　▶ **レベル変更**　▶ **一時解除**
	BD-Video の視聴可能年齢 BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号（4けた）を入力してください。※	▶ **<u>無制限</u>**：すべての BD ビデオが視聴可 ▶ **254 歳～0 歳**：年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ▶ **ロック解除**　▶ **暗証番号変更**　▶ **視聴可能年齢変更**　▶ **一時解除**
	音声言語 再生時の音声を選びます。	▶ **<u>日本語</u>**　▶ **英語** ▶ **オリジナル**（ディスクの最優先言語で再生） ▶ **その他＊＊＊＊** **＊には [1]～[10] で言語番号（➜133）を入力**
	字幕言語 再生時の字幕言語を選びます。	▶ **<u>オート</u>**： 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶ **日本語**　▶ **英語**　▶ **その他＊＊＊＊** 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ **<u>日本語</u>**　▶ **英語**　▶ **その他＊＊＊＊**
	AVCHD 優先モード BD-RE　BD-R　RAM(AVCREC)　-R(AVCREC)　-R DL(AVCREC) ハイビジョン画質の番組と他機器でダビングしたハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。	▶ **入**：ハイビジョン動画（AVCHD）を再生 ▶ **<u>切</u>**：ハイビジョン画質の番組を再生
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。	▶ **6時間**：4.7 GBディスクに6時間記録 ▶ **<u>8時間</u>**：4.7 GBディスクに8時間記録
	高速ダビング用録画 -R(V)　-R DL(V)　-RW(V) 高速ダビングできるようになります。ただし制限があります。**（➜ 右記）** 「切」にすると、右記の制限はかかりませんが、上記ディスクへの高速ダビングはできません。 ●以下の場合に有効 ・地上アナログ放送や外部入力から記録 ・ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングするとき ・VHS からダビングするとき	▶ **<u>入</u>**：高速ダビング対応にする ●記録される番組は以下の設定に従い記録されます。 ・画面サイズ：「ビデオ方式の記録アスペクト」**（➜下記）** ・二重放送の音声：「二重放送音声記録」**（➜113）** ●アナログ放送受信中の音声は切り換えできません。 ・「二重放送音声記録」**（➜113）**で設定した音声が出力されます。 ▶ **切**
	ビデオ方式の記録アスペクト 記録時のアスペクトの設定をします。 以下の記録時に有効 ● -R(V)　-R DL(V)　-RW(V) への記録時 ●「高速ダビング用録画」**（➜上記）**が有効なとき	▶ **<u>オート</u>**：番組の記録開始時のアスペクトに従って記録します。 ▶ **4:3** ▶ **16:9** ●録画モード「EP」、「FR（EPモード相当の画質）」での記録時は、設定にかかわらず4:3で記録されます。 ●VHSからのダビングでは、「オート」に設定していると、4:3で記録されます。16:9映像は、「16:9」に設定することをお勧めします。
	DVDの高速ダビング速度 高速モードでのダビング速度を設定します。 （高速記録対応ディスクの場合など）	▶ **<u>最高速モード</u>**　▶ **高速モード**　▶ **静音モード** 「最高速モード」「高速モード」「静音モード」の順でダビング時の動作音は小さくなりますが、ダビングの所要時間は長くなります。
	自動チャプター デジタル放送録画時にCMなどで自動的にチャプターを作成する設定をします。	▶ **<u>入</u>**　▶ **切** ●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

※　暗証番号は共通です。**暗証番号は忘れないでください。**

本機の設定を変える(初期設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
HDD/ディスク/テープ(つづき)	**HDD設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDD 管理	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。
	全番組消去 番組をすべて消去します。	▶はい →[決定]を押して、さらに「実行」を選びます。 ▶いいえ
	HDD のフォーマット HDD の初期化を行います。	▶はい →[決定]を押して、さらに「実行」を選びます。 ▶いいえ
	VHS設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	テープの長さ ●D-VHSカセットのときは、どの設定にしてもテープ残量が正しく表示されません。	▶－120 :T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)のカセットや、それより短いカセット ▶－160 :T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)のカセット ▶180 :T180(180分)のカセットや、それより長いカセット
映像	**スチルモード** 一時停止中の画像の表示方法が選べます。	▶オート ▶フィールド:動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき ▶フレーム :「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 部分消去した部分などの再生する状態が選べます。 (DRモードの番組やAVCHDの動画には、この設定は無効)	▶入:なめらかに再生(早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。) ▶切:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	HDノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。 「D端子出力解像度」(➜114)が「D3」「D4」または「HDMI出力解像度」(➜114)が「480p」以外のときに、ハイビジョン信号に対して有効	▶入 ▶切
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶オート(Dolby TrueHD の音声のみ有効。コンテンツ意図に従う) ▶入(Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に有効) ▶切
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD DTS/DTS-HD AAC 出力信号 (Dolby Digital, Dolby Digital Plus, Dolby TrueHD, DTS Digital Surround, DTS-HD High Resolution Audio, DTS-HD Master Audio) を、接続機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream :接続機器がそれぞれの音声をデコードできるとき ▶PCM :接続機器がそれぞれの音声をデコードできないとき それぞれの音声をデコードできるかどうかは、接続した機器の説明書をご覧ください。 ●HDMI端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。(例:テレビと HDMI 端子で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2 ch に制限されます) ●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。 **デジタル出力される音声と接続・設定の関係(➜115)**
	BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む BD-V) BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入/切を設定します。	▶入:サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。 上記で「Bitstream」を選ぶと、副音声を含む BD ビデオ再生時は、Dolby Digital または DTS の Bitstream に変換します。 ▶切:オリジナルの音声方式を出力するとき

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
音声(つづき)	**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。	▶**入**:96 kHzまたは88.2 kHzに非対応の機器に接続 ▶**切**:96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器に接続 以下の場合、設定にかかわらず48 kHzまたは44.1 kHz に変換されます。 ・「BD ビデオ副音声・操作音」(➜112)が「入」のとき BD-V ・176.4 kHz 以上の信号 BD-V ・著作権保護処理がされているディスク
	ダウンミックス マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックス(➜137)の方法を切り換えることができます。 ●「デジタル出力」(➜112)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。	▶**ノーマル**:バーチャルサラウンド(ドルビープロロジックなど)に対応していない機器(テレビなど)に接続 ▶**ドルビーサラウンド**: バーチャルサラウンド(ドルビープロロジックなど)に対応している機器に接続 以下の場合は、設定にかかわらず「ノーマル」で出力されます。 ・AVCHD 再生時 ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時
	二重放送音声記録 以下の場合、両音声を記録できません。記録する音声を選びます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録 ●「高速ダビング用録画」(➜111)が有効なとき ●「XP時の記録音声モード」(➜下記)を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録	▶**主音声** ▶**副音声**
	XP時の記録音声モード 録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。	▶Dolby Digital ▶LPCM: ・画質は少し下がります。 ・「XP」以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜上記)であらかじめ選んでください。
	外部入力の音声 外部入力(L1)からの録画時、音声の種別を選びます。	▶**ステレオ** ▶**二重音声**:二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。(「高速ダビング用録画」(➜111)が「入」のときは、選んだ音声のみ記録)
画面設定	**画面表示動作〔オート〕** 操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切
	地上アナログ時のブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いとき、画面背景を表示しないようにします。 カセットの未記録部分再生時にも有効です。	▶入 ▶切
	テレビ画面の焼き付き低減機能 通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。 「入」に設定すると、以下のような動作を行います。 ●10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。 ●黒帯部分を明るくします。 [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」(➜114)が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」(➜114)が「480p」以外のとき]	▶入 ▶切
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶**常時 明**　▶**常時 暗** ▶**オート**:再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・電源「切」時の消費電力の節電になります。 **(電源「切」時の消費電力➜140)**
	SD カード LED 制御 SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。	▶**常時点灯** ▶**常時消灯** ▶**カード入点灯**:電源「入」時に、SD カードを入れると点灯します。

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
テレビ／機器／ビエラリンクの接続	**ビエラリンク設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	ビエラリンク制御 ビエラリンク (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子と接続時、連動操作の設定をします。	▶入 ▶切：ビエラリンク (HDMI) を使わないとき
	ビエラリンク録画待機 ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。 ●「ビエラリンク制御」(➜上記)が「入」時に有効	▶入 ▶切 「入」に設定すると、「クイックスタート」(➜110)は自動的に「入」になります。
	オートサウンド連携 ビエラリンク (HDMI)Ver. 3 に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えるかどうかの設定をします。	▶入 ▶切
	TVアスペクト 接続したテレビに合わせて設定します。	▶4:3　：4:3 標準テレビ ▶16:9　：ワイドテレビ ▶16:9フル：ワイドテレビで、左右の黒帯をなくして表示
	HDMI接続	→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDMI映像優先モード	▶入 ▶切：アンプなどの機器とHDMI端子と接続し、テレビとD端子と接続するとき（アンプと接続する前に設定してください）
	HDMI出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の[停止■]と[再生 ▶]を5秒以上押したままにしてください。「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。	▶オート　：1080i、480pの順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶480p ▶1080i ▶720p　：720p の映像以外は、1080i で出力されます。 アンプと接続する場合、アンプが設定した解像度に非対応のときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビをHDMI端子と接続し、アンプとはHDMI以外の端子と接続してください。
	HDMI RGB出力レンジ RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効	▶スタンダード ▶エンハンス　：映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI音声出力	▶入 ▶切：テレビとHDMI端子と接続し、HDMI非対応のアンプなどとデジタル音声出力端子と接続するとき
	D端子出力解像度（➜準備編 22）	▶D1　▶D2　▶D3　▶D4 ●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080iで出力されます。 ●設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の[停止 ■]と[再生 ▶]を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。
	TVアスペクト(4:3)の設定 4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。 **DVD-Videoの16:9 映像**	▶パン & スキャン：左右の切れた映像で再生（パン & スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生） ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生
	録画ディスクの16:9 映像	▶スルー　：録画された映像のままで再生 ▶パン & スキャン：左右の切れた映像で再生 ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生 HDD DR モードの番組は、レターボックスで再生します。

デジタル出力される音声と接続・設定の関係 [表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 端子</th><th colspan="4">デジタル音声出力端子</th></tr>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream ※1</th><th colspan="2">PCM ※3</th><th colspan="2">Bitstream</th><th colspan="2">PCM</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</th><th>入※2</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX ※5</td><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX ※6</td><td rowspan="7">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2">5.1ch</td><td colspan="2">Dolby Digital
Dolby Digital EX ※6</td><td colspan="2" rowspan="7">ダウンミックス 2 ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="2">5.1ch ※2</td><td rowspan="2">7.1ch</td><td colspan="2" rowspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>Dolby TrueHD</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES ※5</td><td>DTS Digital Surround
DTS-ES ※6</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch ※4</td><td colspan="2">DTS Digital Surround
DTS-ES ※6</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td rowspan="2">DTS Digital Surround</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch ※4</td><td colspan="2" rowspan="2">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td>ダウンミックス 5.1ch PCM</td><td>ダウンミックス 5.1ch ※2</td><td>7.1ch</td><td colspan="2">ダウンミックス2 ch PCM</td></tr>
</table>

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM(例:テレビなど) で出力します。
※ 2 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。
※ 3 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。
※ 4 BD-V 接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に拡張して出力します。
※ 5 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。
※ 6 BD-V **初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ※	**映画や音楽など、ハイビジョン画質・最大 7.1ch 音声に対応する市販ソフト** ●デジタル出力される音声については(➜115) ●本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。 ●本機では BONUSVIEW™ 対応のディスクを再生できます。(➜49)	「A」または「A」を含むもの 例)
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。	「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) ●番号は国により違います。
CD	●**音楽や音声が記録された市販ソフト**(CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) ●**写真(JPEG)が記録された CD-R や CD-RW**	
+R +R DL(片面2層) +RW	**他の DVD レコーダーで録画されたディスク** ●録画した機器でファイナライズ(➜137)を行ったディスクのみ再生できます。	
他機器で記録されたハイビジョン動画(AVCHD)のディスク	**以下のディスクが再生できます。** ●**BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW** ●BD-RE、BD-R、DVD-RAM 以外は、録画した機器でファイナライズ(➜137)を行ったディスクのみ再生できます。 ●**ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクについて** 本機では、再生のみできます。再生前に、**初期設定**「AVCHD 優先モード」(➜111)を「入」にしてください。	

※ ● ソフトのすべての機能をお楽しみいただくために、SD カードを必要とする場合があります。
● BD-J アプリケーション(➜138)が実行されている場合、本機の操作が遅くなる場合があります。故障ではありません。
● 2 枚組の BD-V を再生している場合、1 枚目の再生が終わっても、再生画面が表示され続けることがあります。

記録状態によって再生できない場合があります。

●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

8 cm ディスクについて

本機では、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW の 8 cm ディスクに記録や編集はできません。
再生や HDD またはカセットへのダビングのみ可能です。

「RAM 2」マークのついた DVD-RAM ディスク(6X 以上の 高速記録対応)**について**

本機では、記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジ付きの DVD-RAM(TYPE1)　●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜137)されていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
●PAL方式で記録されたディスク
●リージョンコード**「A」を含まない**BDビデオ
●リージョン番号**「2」「ALL」以外**のDVDビデオ
●BD-RE(Ver.1.0)
●HD DVD　●DVD-ROM　●CD-ROM　●CDV　●DVDオーディオ
●CD-G　●Photo-CD　●CVD　●SVCD　● ビデオCD
●SACD　●MV-Disc　●PD　●DVD-RW(片面 2 層)　など

SD カードについて

本機で使えるカードは？	**SD メモリーカード**（8 MB ～ 2 GB） **SDHC メモリーカード**（4 GB ～ 32 GB） **miniSD メモリーカード** **microSD メモリーカード** **microSDHC メモリーカード** ●本書では上記カードのことを「SDカード」と記載しています。 ●miniSDカード、microSDカード、microSDHC カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。	
何ができるか？	**動画** MPEG2 AVCHD	●当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビングできます。**(➔71)** SD カードから MPEG2 動画を直接再生することはできません。 ●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）の再生や HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) への取り込みができます。**(➔84)**
	写真 JPEG	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生**(➔85)**やダビング**(➔92)**ができます。

使用可能なSDカードについて

●4 GB以上のメモリーカードは、SDHCロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
●使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/bd/
●SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。**(➔97)**
●本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。
●**本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。**

■カードを廃棄／譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、カードの内容を誤って消去することを防げます。

書き込み禁止スイッチ



同時操作について

番組の録画中・ダビング中にできる操作

（○：できる　×：できない）

	HDD の再生	ディスクの再生	VHS の再生	SD カードの再生	ダビング・AVCHD の取り込み	編集	写真の再生・取り込み
DR モードで HDD に録画中	○	○	○	○※3	×	○	×
HG、HX、HE、HL モードで HDD に録画中	○	○※1	○	×	×	○	×
XP、SP、LP、EP、FR モードで HDD に録画中	○	○※1	○※2	×	×	○	×
BD ディスクに予約録画中	○	×	○※2	○※3	×	○※4	×
DVD ディスクに予約録画中	○	×	○※2	×	×	○※4	×
おまかせダビング中	×	×	×	×	×	×	×
1 倍速でダビング中	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	×	×	×	×	○※4	×

●「外部入力（L1）取込」中は同時操作はできません。

※1 DR モード以外で録画中は、市販の映画などが記録された BD ビデオや AVCHD のディスクは再生できません。

※2 アナログ放送録画中または外部入力から録画中は再生できません。

※3 DR モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真は再生できません）

※4 ディスクの編集はできません。

他の操作を実行中の予約録画の動作

（○：実行する　×：実行しない）

他の操作	予約録画の実行	他の操作	予約録画の実行
録画中	○※1	外部入力（L1）取込中	○※1
再生中（番組・写真）	○※2	AVCHD 取込中	×
番組の編集の処理を実行中	○	写真おまかせ取込中	×
写真の編集の処理を実行中	×	写真のダビング中	×
おまかせダビング中	×	フォーマット中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	ファイナライズ中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	番組キープ中	○※1
番組を 1 倍速でダビング中	×		

※1 実行中の操作は終了します。

※2 ディスク再生中に、ディスクへの予約録画が始まったときや、BD ビデオや AVCHD ディスクを再生中に DR モード以外の予約録画が始まると、再生は終了します。

●各操作の実行前の画面に予約録画に関するメッセージが表示されますので、ご確認ください。

●予約録画が実行されなかった場合、それぞれの操作終了時点から予約録画が始まります。

●Ir システムでの連動予約の場合、他の操作を実行中に予約録画は実行されないときがあります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。

受信できるテレビ放送について

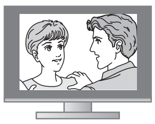
B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。

放送の種類 本書での表示	特徴	本機で利用できるサービス（用語については➜137）
地上デジタル 地上デジタル	UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。 高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。（2008年8月現在） **本機では、ワンセグ放送（携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送）は受信できません。**	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
BSデジタル BS デジタル	放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。 ●本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただけるBSデジタル放送をお楽しみいただけます。	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
110度CS デジタル CS デジタル	通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。 ●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。 「スカパー! e2」には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。 **お問い合わせ先** 「スカパー! e2」カスタマーセンター **0570-08-1212**（ナビダイヤル）（携帯電話･PHSの方は、**045-276-7777**） 受付時間　10:00～20:00（年中無休） 「スカパー! e2」公式ホームページ　**http://www.e2sptv.jp/**	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
地上アナログ 地上アナログ	従来からのVHF/UHF放送のことです。（2008年 8 月現在） 地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。 地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。 本機では、地上アナログ放送の電波のすきまで送られてくる文字放送（字幕）は、ご覧いただけません。	テレビ番組ガイド（EPG） ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。（**➜準備編 26**）

BSアナログ放送のWOWOWはBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー!」は「スカパー! e2」として110度CS デジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されていた場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。（放送内容は異なりますので、再契約をされる場合は内容をご確認ください）

デジタル放送には、3種類の放送があります。

テレビ放送



従来からのテレビ放送です。

ラジオ放送

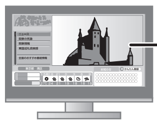
本機では記録できません



音楽など音声を主とした放送です。

データ放送

本機では記録できません



お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。（天気予報やニュースなど）

●ラジオ放送は、現在実施されていません。（2008年 8 月現在）

こんな表示が出たら

	表示文字（数字は例）	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	D	●番組データなど放送情報を受信中です。 ●録画モード変換の処理中です。	— —
	TEL	●電話回線使用中です。	—
	61PCT	●高速ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。(例:61 パーセント)	—
	A 1	●現在選んでいる地上アナログ放送のチャンネルです。(例: 1 チャンネル)	—
	BS 101	●現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。(例:101 チャンネル)	—
	B-CAS OUT	●B-CASカードが正しく挿入されていません。正しく挿入してください。	—
	C1 001	●現在選んでいる CS1 放送のチャンネルです。(例:001 チャンネル)	—
	C2 100	●現在選んでいる CS2 放送のチャンネルです。(例:100 チャンネル)	—
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。(例:011 チャンネル)	—
	DL 1/5	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 （1/5などはダウンロードの進行状況です）	—
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	HDMI ONLY	● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ディスクによっては、著作権保護の規定により、アナログでの出力を禁止している場合があります。その場合は、HDMI 端子のみ映像出力が可能です。	—
	L1	●現在、外部入力が選ばれています。(例:L1)	—
	NoFINALIZE	● -R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) (未ファイナライズのディスクのみ) HDD の録画や再生中などに、**[開/閉⏏]**を押したときに表示されます。ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。	—
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)**(➜準備編 裏表紙)**の作業が終了したときに、表示されることがあります。**[開/閉⏏]** を押してクリーナーを取り出してください。	— —
	NoREC	●以下の場合、**[録画●]** を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・外部入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中	—
	PHOTO	●写真一覧表示中です。	—
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。“BYE” が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」以外の予約が 64 件登録されています。不要な予約を消してください。	32
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。	—

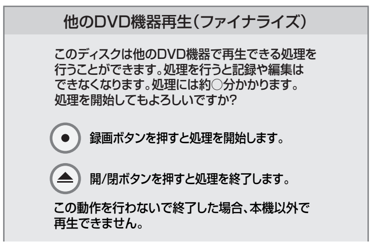
	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	U11	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	55
本体表示窓	U30 2 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	—
本体表示窓	U50	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。	—
本体表示窓	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	—
本体表示窓	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	—
本体表示窓	U72 U73	●HDMI接続時に異常が発生しました。 ・接続機器がHDMIに対応していません。 ・HDMIケーブルが破損しています。 ・HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。	—
本体表示窓	U76	●HDMI端子と接続した機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護された BD-RE BD-R BD-V DVD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) は再生できません。	—
本体表示窓	U77	●お使いの BD-RE BD-R BD-V DVD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) は著作権情報が不正なため映像は出力されません。	—
本体表示窓	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	—
本体表示窓	F99	●本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
本体表示窓	F00 H00 (数字の 00は例です)	●異常が発生しました。("F"または"H"以降の数字は、本機の状態によって変わります) 電源を一度、切 / 入してください。	—
本体表示窓	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	96
本体表示窓	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。	10、12、116
本体表示窓	VIDEO	●録画一覧表示中です。	—

上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記に紹介している操作をしても表示が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口(➜147)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

ディスクの取り出し時 -R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) (未ファイナライズのディスクのみ)

停止中に、[開/閉▲]を押して記録済みディスクを取り出そうとすると、ファイナライズの誘導画面を表示します。ファイナライズを行うと、他のDVD機器で再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。



☞ファイナライズを行う場合
[録画●]を押す
●ファイナライズが実行されます。

☞ファイナライズを行わない場合
[開/閉▲]を押す
●ディスクトレイが開きます。

HDD の録画や再生中などは、ファイナライズを行わずにディスクトレイが開きます。本体表示窓には、下記の表示が出ます。

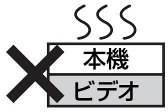
NoFINALIZE

● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜99)

すべての表示を記載しているわけではありません。記載がない内容の確認・ご質問はお客様ご相談センターまでお問い合わせください。(➜146)

取り扱いについて

■録画内容の補償に関する免責事項について
何らかの不具合により、正常に録画･編集ができなかった場合の内容の補償、録画･編集した内容(データ)の損失、および直接･間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合(HDD 以外の修理を行った場合も)においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の設置場所	設置場所にはお気をつけください。故障の原因になることがあります。 ●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。 ●温度変化が起きやすい場所に設置しない。 ●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。 また、たばこの煙なども故障の原因になります。  	
	つゆつきについて	冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。 ●「つゆつき」が発生しやすい状況 ･急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど) ･湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき ･梅雨の時期 ●「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2～3時間)、**電源を切ったまま放置してください。** 
本機の移動	① 電源を切る(本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ) ② 電源プラグをコンセントから抜く ③ HDDの回転が完全に止まってから(3分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす (電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)	
お手入れ	**本体** 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。 ●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。 ●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。 ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。 **録画/再生用レンズ** 長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画･再生ができなくなることがあります。 使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)**(➜準備編 裏表紙)**でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。 ●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。 **ビデオヘッド** 品質の悪いカセットを使うと、ヘッドが汚れ、正常な再生ができなくなることがあります。再生映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)**(➜準備編 裏表紙)**でクリーニングしてください。 ●湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)	
本機の温度上昇について	本機を使用中は温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。 本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。 ●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	
本機を廃棄/譲渡するとき	本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)が記録されています。 廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、**放送設定**「個人情報リセット」を実行し、記録された情報を消去してください。**(➜109)** ●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。	

本機が操作を受けつけなくなったときは…	●各種安全装置が働いていることがあります。 ① **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を切る** ●切れない場合は、約 3 秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む) ② **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

HDD（ハードディスク）

HDD は振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です
設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDD は一時的な保管場所です
HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…
HDD 内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD 全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

本機から HDD の動作音が聞こえますが故障ではありません	HDD の品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。 ●電源切 / 入時 ●番組表（G ガイド）データを受信中 ●オンエアーダウンロード中 ●予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の、本機全体の自動再起動時 ●録画モード変換時 ●**初期設定**「ビエラリンク録画待機」（➜114）の「入」時

音のエチケット

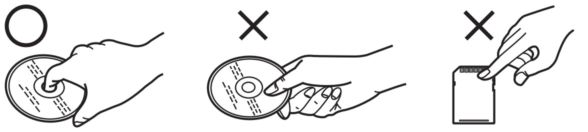
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。


音のエチケット
シンボルマーク

取り扱いについて（つづき）

ディスク カード カセット

持ちかた

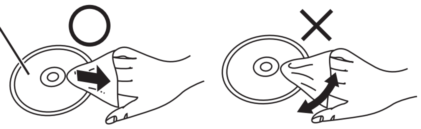


信号面や
端子面には
手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面
（光っている面）
内側から外へ

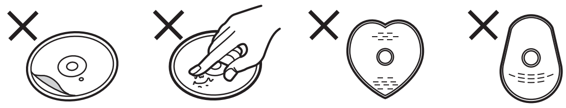


レコードクリーナーや
シンナー、ベンジン、アルコールでふかない

破損や機器の故障防止のために

次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ･シールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ･印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ･傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ･以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク



- **カード**
  - ･カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- **カセット**
  - ･品質の悪いカセットは使わない。
    - 水などの液体やほこり、カビなどが付いている
    - テープがたるんでいたり、波打っていたりクシャクシャになっている
    - テープをセロハンテープでつなぐなど、加工している
  - ･新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う。（テープどうしがはり付いていることがあります。ほぐしてからお使いになることをお勧めします。）
  - ･使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしない

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気･電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後はケースに収めてください。
（カセットは立てて保管してください）

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜147)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音
（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切/入時の音。
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り・早戻し（VHS 巻き戻し）時の映像の乱れ
- BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害

本機が操作を受けつけなくなったときは…	●各種安全装置が働いていることがあります。 ① **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る** ●切れない場合は、約３秒間押し続けると強制的に切れます。（または、電源コードをコンセントから抜き、約１分後再びコンセントに差し込む） ② **本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源が入らない**	●電源コードがコンセントから外れていませんか。 ●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、**初期設定**「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。 ●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の**[電源⏻/I]**を押し、電源を入れてください。	― ― ―
電源	**自動的に電源が切れた**	●**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2時間」または「6 時間」になっていませんか。 ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の**[電源⏻/I]**を押し、電源を入れてください。 ●ビエラリンク(HDMI)をお使いのときは、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。ビエラリンク（HDMI)を使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「切」にしてください。	110 ― 114
電源	**自動的に電源が入る**	●ビエラリンク (HDMI)をお使いのときは、テレビの番組表から予約が登録されると、本機の電源が自動的に入ります。ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「切」にしてください。	114
表示	**表示が出ない** **表示が暗い**	●**初期設定**「本体表示窓の明るさ」で明るさを変えてください。 「オート」の場合は、電源「切」時は本体表示窓は消灯します。	113
表示	**“0：00”が点滅している**	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。 時刻を合わせてください。 デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。	準備編 30
表示	**“録画”が点滅している**	●以下の場合に点滅します。 ・予約録画の開始時刻の約 3 分前から開始時刻までの間 ・デジタル放送録画時、アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき ・録画や予約録画時に B-CAS カードが抜けているとき ・予約録画時に、HDD の残量がないとき	―
表示	**残量表示が使用した量と違う**	●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード「DR」で録画した場合は特にばらつきが大きくなります。 ● -R -R DL 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。	― ―
表示	**残量表示が画面によって異なる**	●DR モード選択時の残量は、番組表や予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbpsまたは24 Mbpsの転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。	―
表示	**VHSのテープカウンターが動かない**	●テープの未記録部分では、秒表示の部分が右図のようになります。 -- -- 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、表示されます。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	―

☞ **診断コードについて**

本機では、機器の状態を 16 けたの数字で表示することができます。
お問い合わせのときに、お聞きすることがあります。その場合、下記操作を行って 16 けたの数字を表示してください。

① **[スタート]**を押す
② **[▲][▼]**で「その他の機能へ」を選び、**[決定]**を押す
③ **[▲][▼]**で「診断コード」を選び、**[決定]**を押す

例）


16 けたの数字をお伝えください。

故障かな!?（つづき）

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
テレビ画面や映像	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった	●分配器を使っていませんか。市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●アンテナ線が劣化していませんか。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。 ・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき ・**放送設定**「アンテナ電源」を「オン」にしているとき ●アンテナ線とHDMIケーブルなどの距離を離してください。 ●**放送設定**「アンテナ出力」が「オフ」の場合、本機の電源「切」時にBS・110度CSアンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送を視聴できません。通常は「オン」のまま使用してください。	― ― 準備編 19 107 ― 107
	映像が出ない 映像が乱れる	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ非対応テレビとD端子で接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしていませんか。本体の**[停止 ■]**と**[再生 ▶]**を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●HDMI端子の接続状態に合わせて、**初期設定**「HDMI映像優先モード」を設定してください。 ・HDMI端子でテレビと接続：「入」 ・D端子でテレビと接続し、HDMI端子でアンプなどと接続：「切」 ●HDMIケーブルによっては、接続の向きが決められているものがあります。向きを逆にして接続してみてください。 ●接続したテレビに複数のHDMI入力端子がある場合、他のHDMI入力端子に接続してみてください。 ●テレビのハイビジョン方式（MUSE）の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ●コンポーネント（色差）ビデオ入力端子が1080iの信号のみに対応しているテレビの場合、D端子ピンケーブルで接続すると、DVDビデオとVHSの映像を正常に再生できません。映像（またはS映像）・音声コードで接続してください。 ●**初期設定**「D端子出力解像度」を「D3」「D4」に設定した場合、DVDビデオを再生すると、はじめの数秒間黒い画面が表示されます。 ●HDCP(不正コピー防止技術)に対応したDVIデジタル入力端子付の機器（パソコンのディスプレイなど）にDVI/HDMI変換ケーブルを使用して接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません） ●テレビによっては、再生やダビング開始などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	準備編 4～16 ― 114 ― ― ― ― 114 ― ― ―
	表示していた画面が消える	●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。	113
	横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	●**初期設定**の以下の設定を確認してください。 ・「TVアスペクト」 ・「ワイドモード」 ・「TVアスペクト（4：3）の設定」 ●テレビ側の画面モードなどの設定を確認してください。	114 110 114 ―
	記録した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●4：3映像で記録された可能性があります。 **初期設定**「TVアスペクト」を「16：9フル」に設定すれば、16：9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●4:3のテレビにD端子またはHDMI端子で接続し、16：9映像を出力する場合、縦に引き伸ばされます。テレビのアスペクト設定で調整してください。また、調整ができない場合、**初期設定**「D端子出力解像度 」を「D2」、「HDMI出力解像度」を「480p」に設定してください。	114 114
	テレビの左右に黒帯が表示される	●**初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」にするか、「画面モード切換」で「サイドカット」を選んでください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	16、114
	映像の左右の端が切れる、または色が薄い	●表示領域の広いテレビは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	―
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「HDオプティマイザー」を「切」にしてください。	51
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	―
	ハイビジョン映像で出力されない	●ディスクによっては著作権保護のため、D端子からの出力が480pに制限される場合があります。	―
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**「画面表示動作〔オート〕」が「入」になっていますか。	113
	ブルーバック（青い画面）にならない	●**初期設定**「地上アナログ時のブルーバック」が「入」になっていますか。	113

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作	**テレビが操作できない** **リモコンが働かない**	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。  表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	準備編 31 準備編 3 — —
	操作できない	●「HDD」、「BD」、「SD」または「VHS」を間違って選んでいませんか。 ●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部できない操作があります。 ●本体表示窓に“U59”点灯時は本体内部温度が高くなっています。“U59”が消えるまで待ってください。 ●本体表示窓に“DL”が表示された場合は、ダウンロードの実行中です。ダウンロードが終了するまでお待ちください。	— — — —
デジタル放送	**BS・110度CSデジタル放送が受信できない** **映像や音声が出ない、または映りが悪くなった**	●BS・110度CSデジタル放送対応アンテナを使用していますか。従来のBSアンテナでは BSデジタル放送を受信できない場合があります。 ●BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナ線や分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。 ●アンテナ線やアンテナプラグが劣化またはショートしていませんか。 ●**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。 ●BS・110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。このような場合、放送によっては降雨対応放送に切り換わることがありますが、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 ●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。	— — — 準備編 29 — —
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていますか。 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できません。 ●地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを使用していますか。 現在の地上アナログ放送用UHFアンテナが、視聴地域の特定チャンネルに対応していない場合や、受信方向が異なる場合は、アンテナの増設が必要です。 ●**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。レベルが低い場合は、「アッテネーター」の設定を変更すると、受信できる場合があります。 ●集合住宅の共聴システムや CATV の場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約のCATV会社にお問い合わせください。	— — 準備編 28 —
	字幕や文字スーパーが出ない	●字幕や文字スーパーのある番組の場合、**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」にしてください。	108
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 ●契約したB-CASカードを挿入してください。	— —
本体	**本機が熱い**	●本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。 移動やお手入れなどをするときは、電源コードを抜いて3分以上待ってから移動させてください。本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
本体(つづき)	ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。 電源「切」状態で、本体の[停止■]と[チャンネル∧]を同時に約5秒以上押すと、ディスクトレイが開きます。(ディスクトレイが開かない場合は、本体の[電源⏻/I]を3秒以上押したあと、再度同様の操作を行ってください) ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	—
	ディスクのトレイが開くのに時間がかかる	●チャプターマークを作成、削除した場合、取り出し時にディスクの管理情報を更新するため、時間がかかります。	—
	起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●以下の場合、時間がかかります。 ・RAM 以外のディスクが入っているとき ・時計が設定されていないときや、停電直後または電源コードを差した直後 ・D端子やHDMI端子と接続しているとき	110 —
音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●[音声]を押して、正しい音声を選んでください。 ●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクや二重放送の番組を再生する場合、**再生設定**「音声」メニューの「音質効果」を「切」にしてください。 ●デジタル音声出力端子またはHDMI端子から音声出力時、**初期設定**「デジタル出力」を「Bitstream」にしていると、リ．マスターなどの音質効果が働きません。設定を「PCM」にしてください。(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります) ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ●HDMI 端子の接続状態に合わせて、**初期設定**「HDMI音声出力」を設定してください。 ・HDMI 端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」 ・HDMI 端子でテレビと接続し、デジタル音声出力端子で接続したアンプなどから音声を出力:「切」 ●HDMI 端子で接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。 ●HDMI 端子で接続し、**初期設定**「BD ビデオ副音声·操作音」を「入」にしている場合、副音声を含む BD-V では、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDの音声はドルビーデジタルの音声で、DTS-HDの音声はDTSの音声で48 kHzに変換されて出力されます。オリジナルの音声で出力する場合は、「切」にしてください。	112 — 51 112 — 114 — 112
	片方のスピーカーからしか音声が出ない	●**初期設定**「ダウンミックス」を「ノーマル」にしてください。	113
	音声が切り換えられない	●**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合、地上アナログ放送や外部入力から記録した番組は音声の切り換えができません。 ●ディスクや設定により記録される音声には制限があるため、再生時に切り換えができなくなる場合があります。 ●デジタル音声出力端子またはHDMI端子でアンプと接続していませんか。**初期設定**「デジタル出力」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。	111 40 112 —
	VHS再生時にステレオ音声がブツブツと聞こえる	●トラッキングがずれている。 ●再生中のテープに傷などが付いている。	55 —
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクなどを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
ディスク	記録できない	●ディスクをフォーマットしていますか。 ●ファイナライズ後のディスクは記録できません。 ●誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください) ●カートリッジ付きの BD-RE は、本機では記録できません。 ● -R -R DL 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を約30回程度繰り返すと、記録や編集ができなくなることがあります。 ●本機以外のDVDレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。 ●録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズをクリーニングしてください。	96 — 98 — — — — 122

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画	録画できない	●ディスクやカセットは [録画●] を押しても、録画できません。	—
予約録画	予約録画ができない	●以下の動作中、予約録画は実行されません。 ・1倍速ダビング、おまかせダビング、ファイナライズを含むダビング ・フォーマット、ソフトウェアのダウンロードなど中断できない動作 ●[予約確認]を押して、予約内容を確認してください。 ・「重複」が表示された予約は、番組の一部またはすべてが録画できません。 ・「予約実行切」が表示された予約は、「予約実行入」にしてください。 ●時刻が合っていないと、正しく予約録画されません。 本体表示窓に"0 : 00"が点滅しているときは、時刻を合わせてください。 ●VHS には予約録画できません。	118 32 準備編 30 —
	ディスクに予約録画ができない	●以下の場合、ディスクに予約録画できません。 ・カートリッジ付きの BD-RE ・未フォーマットのディスク ・ -R(V) -R DL(V) -RW(V) のディスク ・ RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) に録画モード「HG」「HX」「HE」「HL」で予約 ・ RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) に録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で予約 ・CPRM 非対応の DVD にデジタル放送を予約 ・誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク ・ディスクへの予約がすでにある(ディスクへの予約は 1 番組のみ)	—
	BS・110 度 CS デジタル放送の予約録画ができない	●BS・110度CSデジタルアンテナに電源が供給されていますか。電源が供給されていない場合、予約録画は実行されません。個別にBS・110度CSデジタルアンテナを設置している場合、**放送設定**「受信設定」の「アンテナ電源」を「オン」に設定していると、アンテナに電源が供給されます。また分配器を使って本機とテレビにアンテナを接続している場合は、テレビと本機のどちらからでも電源を供給できるように全端子電流通過型の分配器を使用してください。	107、 準備編 6
	番組追従機能が働かない	●G コード® 予約や時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。 ●アナログ放送では、予約登録後に放送時間が変更になると正しく働きません。	— — — —
	Gコード予約ができない	●ガイドチャンネルが正しく設定されていますか。 ガイドチャンネルが複数のチャンネルに設定されている場合は、不要なほうを削除してください。	準備編 36
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日・毎週予約のときは予約内容が残ります。 ●予約が正しく終了しなかった場合は、「一部未実行」などのマークが翌々日の午前4時まで表示されます。予約を取り消す操作で取り消すこともできます。	— 32
	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画中に停電になったり、電源コードが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。 フォーマット(HDD BD-RE RAM -RW)するか、新しいディスクを使ってください。(当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません) ●「自動更新」を「入」にして予約録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、録画します。	— 33

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD／ディスク再生	再生できない	●カートリッジ付きの BD-RE は再生できません。	—
	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●他のブルーレイディスクレコーダーやパソコンなどで録画したコピー制限のある番組は、本機のHDDへダビングしても、著作権保護のため再生できません。 ● RAM(VR) EP（8時間）モードで記録した場合、他の機器で再生できないことがあります。この場合は、EP（6時間）モードで記録してください。	— 111
	再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。 ●録画モードの異なる番組や、アスペクト比（映像の横縦比）、解像度（480p など）の異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。	— —
	番組の先頭から再生が始まらない	●続き再生メモリー機能が働いています。番組の先頭から見たい場合は、[I◀◀] を数回押して番組の先頭に戻ってください。	—
	映像や音声が一瞬止まる	●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ● -R DL 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	— —
	BD ビデオや DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されている場合、**初期設定**「 DVD-Video の視聴制限」や「BD-Video の視聴可能年齢」を変更してください。	111
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●**再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 41
	市販ディスクの字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。	50
	録画した番組の字幕が出ない	●DR モードの番組は、**再生設定**「信号切換」の「字幕」を「オン」にしてください。 ●録画モード「DR」以外で録画する場合、「字幕」を「オン」にして記録しないと、字幕情報は記録されません。	50 17、28
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。	—
	BD ビデオや DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。**[開/閉▲]** を押してトレイが開いている状態で BD ドライブを選び、本体の **[再生 ▶]** と **[録画●]** を同時に5秒以上押すと戻ります。（本体表示窓に“INIT”が表示）	—
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●DR モードの番組や外部入力から録画した番組では働きません。 ●以下のように働きます。 ・ HDD ：1番組あたり499回まで ・ BD-RE BD-R ：1番組あたり49回/ ディスク1枚あたり499 回まで ・ RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ：1番組あたり49回/　ディスク1枚あたり49回まで	50 — —
	早見再生の映像がなめらかに再生されない	●DR、HG、HX、HE、HLモードの番組や RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) BD-V AVCHD の場合、映像がなめらかに再生されないときがあります。	—
	スロー再生が戻り方向に働かない コマ戻しが正しく働かない	● BD-V AVCHD では、スロー再生は戻り方向には働きません。 ● BD-V AVCHD コマ戻しはできません。	— —
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。（ HDD は解除されません） ・ディスクやSDカードを取り出す ・ CD SD 電源を切る	—
	再生した番組の先頭が見られない	●ビエラリンク (HDMI) の機能により、テレビの電源が「切」状態で、本機のリモコンの **[▶再生]** を押して再生を始めた場合、テレビ画面が表示されるまで、見られません。[I◀◀] を押して番組の先頭に戻ってください。	—
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です。インターレース出力にすれば問題なく再生できます。**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にしてください。HDMIケーブルでテレビと接続している時は、以下の手順で設定してください。 ① HDMI端子以外の映像端子で接続する ② **初期設定**「HDMI映像優先モード」を「切」にする ③ **初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にする	114 — 114 114

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
VHS再生	再生できない	●他のテレビ方式（PAL、SECAMなど）で録画されたカセットは再生できません。 ●アナログ放送録画中または外部入力から録画中は、VHSの再生はできません。 ● S-VHS-C 、VHS-C カセットの始端と終端が再生できない場合があります。	— — —
	VHSの再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —
	再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	55 —
	再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードで記録したカセットは、画面にノイズが出る場合があります。 ●テレビとHDMIケーブルで接続した場合、映像の周囲にノイズ状のものが見えることがあります。テレビ側で画面サイズを調整してください。 テレビ側で画面サイズの調整ができない場合は、**初期設定**「HDMI出力解像度」を「480p」に設定すると、ノイズ状のものを見えなくできます。ただし、VHS以外の映像を高画質で再生するときには、設定を元に戻してください。	— — 114
ダビング	ダビングできない	●以下の場合、RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。 ・録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で録画した番組 ・VHS からダビング ●HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V)、またはVHSからDVDへのダビング時、以下の場合ダビングできません。HDDの不要な番組を消去してください。 ・HDDの残量が少ないとき（使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要な場合があります） ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が499を超えるとき ●市販やレンタルのBDソフトはダビングできません。 ●市販やレンタルのDVDソフトやビデオソフトの多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像はダビングできません。 ●カセットに記録したデジタル放送の番組は、ダビングできません。 ●外部入力（「L1」）で接続した機器からHDDに記録されたコピー制限のある番組は、著作権保護の規定により、BD-RE BD-R にダビングできません。CPRM対応の RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。 ●管理情報が含まれるなどの理由により、ダビング先に記録される容量がダビングする番組の合計より少し大きくなり、ダビングできない場合があります。	— — — — — — —
	ダビングした番組が消えた	● 表示のある番組は、ディスクにダビングすると、HDDから消去されます。	—
	高速モードでダビングできない	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) **初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」の状態で、HDDに録画した場合は、高速ダビングできません。 ●録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」以外で録画した番組は、BD-RE BD-R に高速ダビングできません。 ●録画モード「DR」で録画した番組は、DVDに高速ダビングできません。 ●録画モード「HG」「HX」「HE」「HL」で録画した番組は、RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW には高速ダビングできません。	111 — — —
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っていませんか。 高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。	— —
	ダビング後の音声レベルがHDD/ディスクとVHSで合っていない	●会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、カセットにダビングしたときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
他機器との連携	外部機器からダビングできない	●正しく接続していますか。 ●**[入力切換]**（リモコン下部）で外部機器を接続した外部入力チャンネル「L1」などを選んでいますか。	80～82 —
	外部機器からダビングすると、黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けていることが考えられます。接続した機器をテレビから離してください。	—
	CATV から予約録画ができない	●本機と CATV の設定が正しいか確認してください。 ●「時間指定予約」の場合、「放送種別」を接続した端子に合わせてください。 ●外部入力（「L1」）で接続した CATV からコピー制限のある番組を予約録画する場合、著作権保護の規定により、BD-RE BD-R に録画できません。	82～83 — —
	ダビングしたディスクが他の機器で再生できない	●ディスクや記録方式によって、他の機器で再生できない場合があります。	11、79、99
HDD／ディスク編集	番組を消去しても残量が増えない	●BD-R -R -R DL 消去しても増えません。 ●-RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません。	— —
	編集できない	●HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して残量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みのディスクは編集できません。	59 —
	部分消去の開始点や終了点が設定できない	●開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。	—
	プレイリストが作成できない	●本機ではプレイリストの作成はできません。	—
番組表（Gガイド）	番組表（Gガイド）が表示されない 8日分表示されない	●本機を初めてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いていた場合は、番組表（G ガイド）が表示できていません。 ●本機は、地上アナログ放送の番組表（Gガイド）であっても、衛星アンテナを接続し、BSデジタル放送が受信できる必要があります。 ●お住まいの地域の受信状態に問題がある場合（電波状態が弱い場合など）は、データが取得できません。ブースター使用で改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	— — —
	地上アナログ放送で、映像が受信できるのに番組表（Gガイド）に表示されない放送局がある	●放送局名が正しく設定されていない場合は、表示されません。正しい放送局名を設定してください。 ●**放送設定**「Gガイド地域設定」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表（G ガイド）に表示されません。	準備編 36 準備編 27
	番組表（Gガイド）に“予”が表示されない	●Gコード® 予約や時間指定予約の場合は、予約した番組の放送時間が、番組表の放送時間を含んでいるときのみ表示されます。	—
写真	写真一覧画面を表示できない	●番組を録画中やダビング中のときはできません。	—
	写真一覧画面で写真が表示されない	●日付別表示とアルバム表示とを間違っていませんか。**[サブ メニュー]**を押して、切り換えてください。 ●パソコンなどで編集した写真は再生できない場合があります。	— —
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。	117
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。（カードの内容が壊れている場合もあります）本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～2 GBまでのSDカードと4 GB～32 GBのSDHCカードが使用できます。	— 138 — —
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 96

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ビエラリンク(HDMI)	ビエラリンク(HDMI)が働かない	●本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に “HDMI” が表示されない場合は、HDMIケーブルの接続を確認してください。 ●**初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク(HDMI)が動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 **1 HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ(ビエラ)の電源を入れ直す** **2 テレビ(ビエラ)のビエラリンク(HDMI)を制御する設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する(詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください)** **3 テレビ(ビエラ)の入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、ビエラリンク(HDMI)が動作するか確認する**	準備編 4、 準備編 11 114 — —
	オートサウンド連携が働かない	●**初期設定**「オートサウンド連携」が「入」になっていますか。 ●接続した機器の電源を入れる順番によっては、正しく働かない場合があります。その場合、テレビ(ビエラ)の入力を HDMI 入力以外に切り換えたあと、再び本機を接続した HDMI 入力に切り換えてください。	114 —
	録画や番組キープの実行に時間がかかる	●**初期設定**「ビエラリンク録画待機」が「切」になっている場合、数十秒かかります。「入」に設定してください。	114
その他	SDカードのMPEG2動画が再生できない	●SDカードから直接再生できません。HDDなどにダビングしてから再生してください。	71
	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器(パソコン対応用も含む)または電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善される場合があります。 詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	—
	ソフトウェアのダウンロードができない	●ダウンロードは、本機の電源を「切」にした状態で行われます。	—
	ソフトウェアのダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。設定をやり直してください。	準備編 21
	放送局や G ガイドのロゴが表示されない 広告が表示されない	●お好みチャンネルでは、放送が受信できない場合やお買い上げの設定直後は表示されません。 ●番組表では、受信状態によって表示されません。	— —

言語番号一覧

アイスランド	7383	オランダ	7876	ジャワ	7487	ドイツ	6869	ベンガル(バングラ)	6678
アイマラ	6589	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アイルランド	7165	カシミール	7583	スペイン	6983	日本語	7465	ポーランド	8076
アゼルバイジャン	6590	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アッサム	6583	ガリチア	7176	スロベニア	8376	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アファル	6565	韓国(朝鮮)語	7579	スワヒリ	8387	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アフリカーンス	6570	カンナダ	7578	スンダ	8385	ハンガリー	7285	マダガスカル	7771
アブハジア	6566	カンボジア	7577	ズールー	9085	バシキール	6665	マライ(マレー)	7783
アムハラ	6577	キルギス	7589	セルビア	8382	バスク	6985	マラッタ	7782
アラビア	6582	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	パシュト	8083	マラヤーラム	7776
アルバニア	8381	クルド	7585	ソマリ	8379	パンジャブ	8065	マルタ	7784
アルメニア	7289	クロアチア	7282	タイ	8472	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
イタリア	7384	グアラニー	7178	タガログ	8476	ビハール	6672	モンゴル	7778
イディッシュ	7473	グジャラト	7185	タジク	8471	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タタール	8484	フィジー	7074	ラオ	7679
インドネシア	7378	グルジア	7565	タミル	8465	フィンランド	7073	ラテン	7665
ウェールズ	6789	ケチュア	8185	チェコ	6783	フェロー	7079	ラトビア(レット)	7686
ウォロフ	8779	ゲール(スコットランド)	7168	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウクライナ	8575	コーサ	8872	中国語	9072	フリジア	7089	リンガラ	7678
ウズベク	8590	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	ブータン	6890	ルーマニア	8279
ウルドゥー	8582	サモア	8377	テルグ	8469	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
ヴォラピュック	8679	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルターニュ	6682	ロシア	8285
英語	6978	ショナ	8378	トウイ	8487	ヘブライ	7387		
エストニア	6984	シンド	8368	トルクメン	8475	ベトナム	8673		
エスペラント	6979	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベロルシア(白ロシア)	6669		
オーリヤ	7982			トンガ	8479				

表示マーク一覧

- 本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

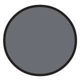
番組内容画面

テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
データ	データ放送の番組
＋d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
＋d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
信号	映像や音声などの信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
アナログ X出力	アナログ（映像端子、S1/S2映像端子、D端子）出力しない番組（音声も出力されません）
ラジオ	ラジオ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 （デジタルハイビジョン放送－ 1080i、720p） （デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i）
主＋副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
字幕	字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
20 才~	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は4～20才まであります）
コピー制限	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
有料	有料放送の番組（放送会社との契約が必要です）

録画一覧、写真一覧、曲一覧画面

	HDDにダビング中の番組またはデータが壊れているなど、再生できない番組
	書き込み禁止（プロテクト）設定した番組や写真
	録画中の番組
10（数字は10～2）	本機で録画したコピー制限のある番組 数字はディスクへダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
1（赤）	本機で録画したコピー制限のある番組 ディスクへダビングすると HDD の番組は消去されます。
×	HDD にダビングできない番組
新	「新番組おまかせ録画」で録画された番組
	HDD に代替録画された番組
未	新しく録画してまだ見ていない番組
NEW	「写真おまかせ取込」で取り込んでまだ見ていない写真
	録画禁止信号により録画できなかった番組 （デジタル放送など）
まとめ	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	プリント枚数（DPOF）が設定された写真
	再生中の曲

予約一覧画面

マーク	説明
可	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
重複	予約時間が重なっている番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
不可	HDDの残量が不足していて録画できない番組
コピー×中断	録画禁止信号により録画が中断された番組（デジタル放送など）
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
代替	予約時にディスクが未挿入などで、HDDに代替録画される番組
月/日迄	毎週予約時の、録画可能な日付（最大 1ヵ月先）。（他の番組の録画や消去など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります）
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
お知らせ	番組表（Gガイド）を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示
探して毎回★	テレビ（ビエラ）側から「探して毎回予約」で予約した番組
	録画中の番組

マーク	説明
検索中	時間変更追従を実行中（時間確認中）
時間指定	Gコード®予約または時間指定予約で予約した番組
番組予約	番組表（Gガイド）を使って予約した番組
シリーズ終了	毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
毎週 毎日 月~土 月~金	毎日・毎週予約の番組
曜日指定	曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示
毎週更新 毎日更新 月~土更新 月~金更新	毎日・毎週予約で自動更新をする番組（前回録画した内容に上書きして録画します）

表示マーク一覧(つづき)

ダビング画面

マーク	内容
	-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速でダビングできる番組
!	静止画を含むもの (HDD に静止画部分はダビングされません)
HD	録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」で録画された番組
まとめ	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
10 (数字は10~2)	本機で録画したコピー制限のある番組 数字はディスクへダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
1 (赤)	本機で録画したコピー制限のある番組 ディスクへダビングすると HDD の番組は消去されます。
	ダビングすると移動する番組 (詳細ダビング時)
×	HDD にダビングできない番組

その他の画面

マーク	内容
4 才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組 暗証番号を入力すると視聴可
	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)(➜106)
予	番組表(G ガイド)を使って予約された番組の番組表(G ガイド)上での表示
	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール(既読メール)
新	「新番組おまかせ録画」で予約された番組の番組表(G ガイド)上での表示

用語解説

ア アンテナレベル
アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、アンテナを接続したケーブルの長さなどによって影響を受けます。

サ サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

字幕放送
テレビ番組の音声を文字で表示する放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

双方向サービス
視聴者が自宅にいながら、クイズ番組に参加したり、買い物をすることができます。電話回線の接続が必要です。

タ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差が小さくなり、小音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

ダウンミックス
デジタル放送やディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオなどをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されます。

ダビング 10
従来、デジタル放送のほとんどの番組にかけられていた「1回だけ録画可能」のコピー制限を緩和するもので、本機は「ダビング10」に対応しています。HDDに録画した番組は、ディスクに 10 回までダビング(コピー9 回 + 移動 1 回)ができ、10 回目のダビングで消去(移動)されます。(ディスクに録画した場合は、「1 回だけ録画可能」となり従来どおりダビングできません)
すべてのデジタル放送の番組が「ダビング 10」対応になるわけではありません。

データ放送
お客様のお住まいの地域の天気予報などの情報を選んで画面に表示させることができる放送です。また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送や電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどが行われます。

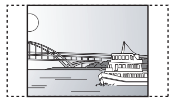
デコーダー
DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

デジタルハイビジョン
デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送(SD)とデジタルハイビジョン放送(HD)があります。ハイビジョンの有効走査線数は現行テレビ放送の480本の倍以上の1080本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

ドライブ
本機では、ハードディスク(HDD)、ディスク(BD)、SDカード(SD)、カセット(VHS)のことをいいます。
データの読み書きを行います。

ハ パン & スキャン/レターボックス
BD ビデオ、DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が 16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン & スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。



ファイナライズ
番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています)

フォーマット
記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。
フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

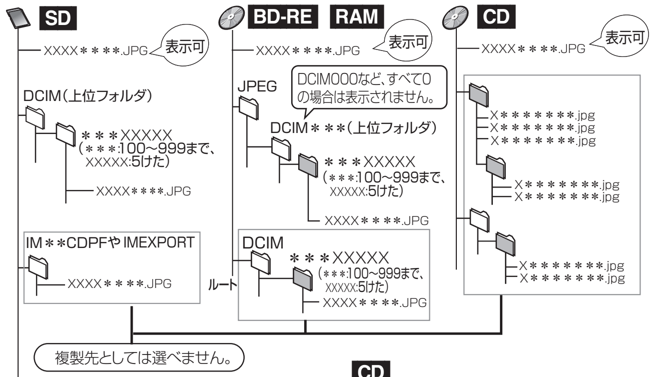
用語解説（つづき）

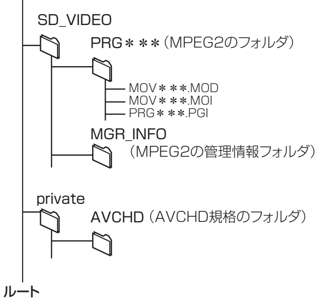
● **フォルダ**

ハードディスクやSDカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真（JPEG）やMPEG2などの保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例

：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字





CD
最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。

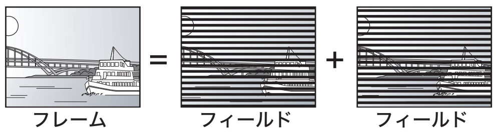
SD
全フォルダ内のJPEGファイルを表示します。

BD-RE **RAM**
ルート上のファイルは「上位フォルダ選択」で選べます。

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。

● **フレーム/フィールド**

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

● **プログレッシブ (p)/インターレース (i)**

インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の2回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

マ **マルチビュー放送**

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

A **AAC（Advanced Audio Coding）**
（エーエーシー　アドバンスド　オーディオ　コーディング）

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

● **AVCHD**（エーブイシーエイチディー）

高精細なハイビジョン映像を 8 cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

B **BD - J**（ビーディー　ジェイ）

BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

● **Bitstream**（ビットストリーム）

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

● **BONUSVIEW™**（ボーナスビュー）

BDビデオの新しい再生機能で、ディスクに記録された本編以外の副映像などを楽しむことができます。

C **CPRM**（シーピーアールエム）
（Content Protection for Recordable Media）
（コンテント　プロテクション　フォー　レコーダブル　メディア）

デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRM に対応した機器とディスクに記録できます。

D **D映像端子**

コンポーネント（色差）ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

● **Dolby Digital**（ドルビー　デジタル）

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2 ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

● **Dolby Digital Plus**（ドルビー　デジタル　プラス）

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※ 本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応しているAVアンプに「Bitstream」で出力することもできます。

● **Dolby TrueHD**（ドルビー　トゥルーエイチディー）

DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※ 本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応しているAVアンプに「Bitstream」で出力することもできます。

● **DPOF（Digital Print Order Format）**
（ディーポフ　デジタル　プリント　オーダー　フォーマット）

デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

DTS（Digital Theater Systems）

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD

映画館で採用されている DTS をさらに高音質 / 高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでもDTSとして再生できます。BD規格では最大7.1chまで対応しています。

※ 本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応しているAVアンプに「Bitstream」で出力することもできます。

Ⓔ EPG（Electronic Program Guide）

テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表（Gガイド）を使って予約録画などができます。

Ⓗ HDD（ハードディスクドライブ）

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。表面に磁気体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

Ⓘ Ir システム

セットトップボックスなどから予約録画などの信号を、録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。

Ⓙ JPEG（Joint Photographic Experts Group）

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。

デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

Ⓛ LPCM（リニア PCM）

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

LTH（Low to High）

有機色素系媒体を用いて記録するブルーレイディスクの新規格です。

本機では記録や再生ができます。また、記録した LTH type の BD-R を他の機器で再生する場合、LTH type に対応していないと再生できないときがあります。

Ⓜ MPEG2、MPEG-4 AVC / H.264

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MPEG2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264 はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

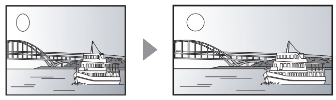
Ⓟ PCM（Pulse Code Modulation）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Ⓢ S映像出力

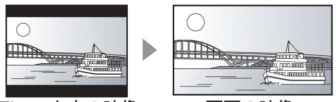
映像信号をC（色信号）とY（輝度信号）に分離してテレビに伝えます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

- **S1映像信号**
  映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。



ディスク内の映像　▶　画面の映像

- **S2映像信号**
  S1の機能に加え、レターボックス（上下に黒帯が入っている映像）のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。



ディスク内の映像　▶　画面の映像

SQPB（S-VHS Quasi Playback）

S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

Ⓥ VBR（Variable Bit Rate）

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

① 1080i、720p、480p、480i

映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。

有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i=飛び越し走査）は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p= 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。

また、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数にあたる 1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力　動作時:約 33 W
待機時(クイックスタート「切」):
時刻表示点灯時・約 0.9 W
時刻表示消灯時・約 0.6 W
待機時(クイックスタート「入」):
時刻表示点灯時・約 6.6 W
時刻表示消灯時・約 6.5 W

・地上デジタルアッテネーター:「オン」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源:「オフ」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力:「オフ」

本体

寸法	幅 430 mm×高さ 93 mm×奥行 335 mm (突起部含まず) 幅 430 mm×高さ 93 mm×奥行 345 mm (突起部含む)
本体質量	約 6.5 kg
許容周囲温度	5 ℃〜40 ℃
許容相対湿度	35%〜80%RH (結露なきこと)
時計	クォーツ制御、24時間、デジタル表示
プログラム数	1ヵ月　64プログラム

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、有効走査線数 480本、60フィールド デジタルハイビジョン: 地上デジタル放送方式(日本)、衛星デジタル放送方式(日本)
アンテナ受信入力	**地上アナログ入力** 90 MHz 〜 770 MHz　75 Ω (VHF:1〜12 CH、UHF:13〜62 CH、CATV:C13〜C63 CH) **地上デジタル入力** 90 MHz 〜 770 MHz　75 Ω (VHF:1〜12 CH、UHF:13〜62 CH、CATV:C13〜C63 CH) ワンセグ放送は受信できません。 **BS・110度CSデジタル -IF 入力** 1032 MHz〜2071 MHz (IF入力周波数)75 Ω 電源供給　:DC 15 V、最大4 W

入出力端子(映像・音声を除く)

SDメモリーカードスロット	1系統
電話回線(モジュラー)端子	1系統[V.22bis(2400 bps、着呼機能なし)]

リージョンコード	DVD　:#2 BD　:Region A

VHS部

録画方式	VHS規格
テープ速度	標準:33.35 mm/秒　3倍:11.12 mm/秒
使用カセット	VHSビデオカセット
録画時間	最大9時間(T-180使用、3倍モード)
早送り・巻き戻し時間	約60秒(T-120使用時)

映像

記録圧縮方式(HDD/BD/DVDのみ)	MPEG2(Hybrid VBR) MPEG-4 AVC/H.264
映像入力	**入力端子**　:1系統(ピンジャック) **入力レベル**　:1.0 Vp-p　75 Ω
S映像入力	**入力端子**　:1 系統 **Y入力レベル**　:1.0 Vp-p　75 Ω **C入力レベル**　:0.286 Vp-p　75 Ω
映像出力	**出力端子**　:1系統(ピンジャック) **出力レベル**　:1.0 Vp-p　75 Ω
S映像出力	**出力端子**　:1系統 **Y出力レベル**　:1.0 Vp-p　75 Ω **C出力レベル**　:0.286 Vp-p　75 Ω
D端子映像出力(D1/D2/D3/D4端子)	**出力端子**　:1系統 (480i/480p/1080i/720p) **Y出力レベル**　:1.0 Vp-p　75 Ω **CB/PB出力レベル**:0.7 Vp-p　75 Ω **CR/PR出力レベル**:0.7 Vp-p　75 Ω
HDMI 映像・音声出力	**出力端子**　:1系統(19ピン typeA端子) HDMI [本機はビエラリンク (HDMI)Ver.3 に対応しています] (480p/1080i/720p)

音声

記録・再生圧縮方式(HDD/BD/DVDのみ)	●**Dolby Digital**: (XP、SP、LP、EP、FR モード)　2ch記録 ●**リニアPCM**(XPモードのみ切り換え可): 2ch記録 ●**MPEG2 AAC** (DR、HG、HX、HE、HLモード・デジタル放送記録時): 最大 5.1ch 記録
アナログ入力	**入力端子**　:2ch入力 1系統(ピンジャック) **基準入力**　:309 mVrms **入力レベル(HDD/BD/DVD のみ)**: FS:2 Vrms(1 kHz、0 dB) 入力インピーダンス:22 kΩ
アナログ出力	**出力端子**　:2ch出力 2 系統(ピンジャック) (D端子用音声出力×1を含む) **基準出力**　:309 mVrms **出力レベル(HDD/BD/DVD のみ)**: FS:2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス:1 kΩ 負荷インピーダンス:10 kΩ
チャンネル数	**記録**:2ch、(デジタル放送記録時:最大5.1ch) **再生**:2ch HDMI 出力:最大 7.1ch 光デジタル出力:最大 5.1ch (Bitstream)
トラック数(VHS のみ)	ハイファイ:2トラック　ノーマル:1トラック
デジタル出力	**光デジタル音声出力端子**:1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG2 AAC対応) **HDMI 映像・音声出力端子**:1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG2 AAC対応) (Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio 対応、対応アンプに接続時のみ Bitstream 出力可能)

HDD/BD部

内蔵HDD容量	320 GB
記録可能なディスク※1	●BD-RE(SL:片面 1 層 /DL:片面 2 層) 1-2X SPEED(Ver.2.1 準拠) (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-R(SL:片面 1 層 /DL:片面 2 層) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 1-6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 1-2X SPEED LTH type[(Ver.1.2 準拠)(SL: 片面 1 層のみ)] ●DVD-RAM※2: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R(DL): 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) 2-8X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●DVD-RW: 1X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 2-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 2-6X SPEED(Ver.1.2 準拠)
記録方式	●BD-RE: Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠 ●BD-R: Blu-ray Disc Recordable Format 準拠 ●DVD-RAM: DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面 2 層): DVDビデオ規格準拠、DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCREC 規格準拠 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠、DVDビデオレコーディング規格準拠

再生可能なディスク	●BD-RE SL(SL: 片面 1 層): 2X SPEED(Ver.2.1 準拠) 25 GB (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-RE DL(DL: 片面 2 層): 2X SPEED(Ver.2.1 準拠) 50 GB (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-R SL(SL: 片面 1 層): 2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 25 GB 4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 25 GB 2X SPEED LTH type(Ver.1.2 準拠)25 GB 6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 25 GB ●BD-R DL(DL: 片面 2 層): 2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 50 GB 4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 50 GB 6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 50 GB ●BD-Video ●DVD-RAM※2: DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCHD 規格準拠、AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠※3、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※3、AVCREC 規格準拠※3 ●DVD-RW DVDビデオ規格準拠※3、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※3 ●+R、+R DL(片面2層)、+RW: DVDビデオ規格準拠※3、AVCHD規格準拠※3 ●DVD-Video:DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW: CD-DA、JPEG フォーマット記録ディスク

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※4※5※6※7

SDカード機能/静止画(JPEG)

対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※8
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 (DCF 準拠) ●DPOF対応
画素数	34×34〜8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※9	約2秒(1010万画素、JPEG)

SDカード機能/動画(MPEG2)

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠 ●SD(SD VIDEO規格)からHDD またはビデオレコーディング規格のDVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW への変換転送後に再生可能

SDカード機能/動画(MPEG-4 AVC/H.264)

ファイル形式	AVCHD規格準拠

写真(JPEG)

再生可能なメディア	HDD、BD-RE、DVD-RAM、CD-R/CD-RW、SD カード
ファイル方式	JPEG ベースライン方式 (DCF 準拠) ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
画素数	34×34〜8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
フォルダ数	CD-R/CD-RW :ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ HDD、BD-RE、DVD-RAM、SD カード :上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
ファイル数	CD-R/CD-RW :ディスク上の最大 999 ファイル HDD、BD-RE :最大 9999 ファイル DVD-RAM、SD カード :最大 3000 ファイル
Motion JPEG	非対応
CD(JPEG)	●ISO9660 level1 と 2(拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応 ●マルチセッション対応 ●パケットライト方式非対応

HDD BD-RE RAM SD DCF 準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。

DCF:Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

※1 8 cmブルーレイディスク、DVDディスクへは記録できません。
※2 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※3 他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。
※4 使用可能容量は少なくなることがあります。
※5 SDHCメモリーカードを含む。(Class非対応)
※6 miniSDカードを含む。(miniSDアダプター装着時)
※7 microSDカードを含む。(microSDアダプター装着時)
※8 ロングファイル名非対応。
※9 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

スタートボタンについて

スタート画面から本機の各機能の操作を行うことができます。
● ディスクの種類、記録状態によって、選択できる項目は異なります。

スタート を押す

- 録画した番組を見る — HDD (➜41)
- 写真を見る — HDD (➜85)
- 撮影ビデオを見る — HDD (➜41)
- 予約する — (➜22)
- ダビングする — (➜64)
- その他の機能へ
  - 予約確認 — (➜32)
  - 新番組おまかせ録画 — (➜34)
  - 詳細ダビング — (➜68〜71、74〜75、92〜93)
  - ぴったり録画 — (➜21、80〜81)
  - 放送設定 — (➜107〜109)
  - 初期設定 — (➜110〜114)
  - メール/情報 — (➜106)
  - 診断コード — (➜125)
- BD/DVD ディスク
  - BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW 挿入時
    例) RAM(VR)
    DVD-RAM(VR)
    - 録画した番組を見る — (➜41)
    - プレイリストを見る — (➜48)
    - 写真を見る — (➜85)
    - DVD管理 — (➜96〜99)※

    ※ BD挿入時は「BD管理」表示
  - AVCHD 挿入時
    例)DVD-RAM
    DVD-RAM(AVCHD)
    - 撮影ビデオを見る — (➜42)
    - 撮影ビデオを取込 — (➜84)
  - BD-V DVD-V 挿入時
    DVD-Video
    - トップメニュー — (➜41)
    - メニュー — DVD-V (➜41)
- SD カード
  - SD 挿入時
    SDカード
    - 写真を見る — (➜85)
    - 撮影ビデオを見る — (➜42)
    - 撮影ビデオを取込 — (➜84)
    - 写真おまかせ取込 — (➜91)
    - カード管理 — (➜97)
- VHS
  - VHS 挿入時
    VHS
    - テープを再生する — (➜52)
    - ダビングする — (➜73)

決定
戻る

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⊘	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

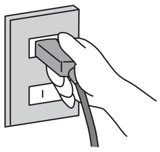
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

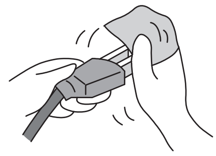
電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

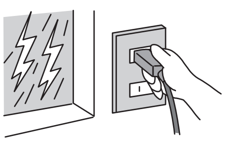


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

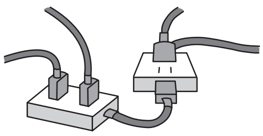
雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止



感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）（つづき）

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

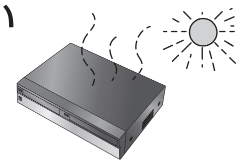
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

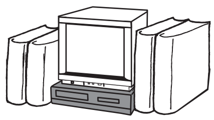
異常に温度が高くなるところに置かない



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

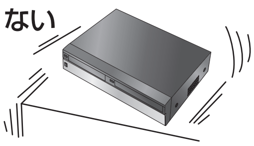
- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

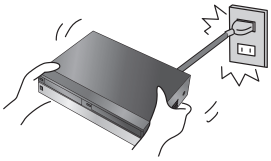
強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

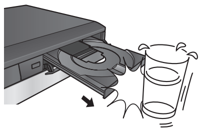
指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

機器の前にものを置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間　８年

当社は、このブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな!?」（➜125～133）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

HDD の初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDD は大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
HDD の初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	ブルーレイディスクレコーダー	お買い上げ日	年　月　日
品　　番	DMR-BR630V	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

使いかたのお問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。（➜125）

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

地域	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0608

さくいん

英数字

あ 行

か 行

さ 行

ページ

た 行

ページ

な 行

ページ

さくいん(つづき)

は 行 ページ

ま 行 ページ

や 行 ページ

ら 行 ページ

著作権など

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
●Gガイド、G-GUIDE、Gガイドロゴ、Gコード、G-CODE、および Gコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
Gガイド、および Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380;5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
DTS は、DTS, Inc. の登録商標です。
DTS のロゴ、シンボルマーク、DTS-HD、及び、DTS-HD Master Audio Essential は、DTS, Inc. の商標です。
著作権 1996-2008 DTS, Inc.
不許複製。
●SDHCロゴは商標です。
●Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
●Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
●HDAVI Control™ は商標です。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
●"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●"BONUSVIEW"は Blu-ray Disc Association の商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[スタート]ボタンを押し、"その他の機能へ"→"メール／情報"→"ID表示"→"ソフト情報表示"をご参照ください。
●メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
●本機は 2008 年 8 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
●この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利確保のため権利者に支払われることが定められています。
私的録画補償金のお問い合わせ先
〒 107-0052
東京都港区赤坂 5 丁目 4 番 6 号
赤坂三辻ビル 2F
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107（代）
FAX 03-5570-2560
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

CLUB Panasonic ご愛用者登録について

当社の会員サイト『CLUB Panasonic』にて本商品のご愛用者登録を行っていただきますと、サポート情報の提供のほか、おトクな優待特典、イベント、サービス、おすすめの商品などをタイムリーにご案内いたします。

【登録方法】（※メールアドレスが必要です）

（1）http://club.panasonic.co.jp/ にアクセスします。

（2）画面の指示に従って商品情報登録および会員登録をします。

(a)『CLUB Panasonic』への会員登録がはじめての方

「ご愛用者登録＋新規会員登録」のボタンをクリックし、画面の指示に従って、商品情報登録および会員登録をします。ご登録される商品の品番を選択後、申し込みフォームに必要事項を記入して、本商品の情報登録、会員登録をしてください。

(b)『CLUB Panasonic』への会員登録がお済みの方

「ご愛用者登録」のボタンをクリックし、画面の指示に従って、商品情報登録をします。
ご登録される商品の品番を選択後、すでにお持ちのログイン ID、パスワードを入力し、申し込みフォームに必要事項を記入して、本商品の情報登録をしてください。

（3）皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

－このマークがある場合は－



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！



こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- テープやディスクをいためた
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎（　　）　－
	品番	DMR-BR630V		
	B-CAS カード番号	B-CAS カード番号を記入してください。 お問い合わせのときに必要な場合があります。		

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9240-1S
F0808TN1098